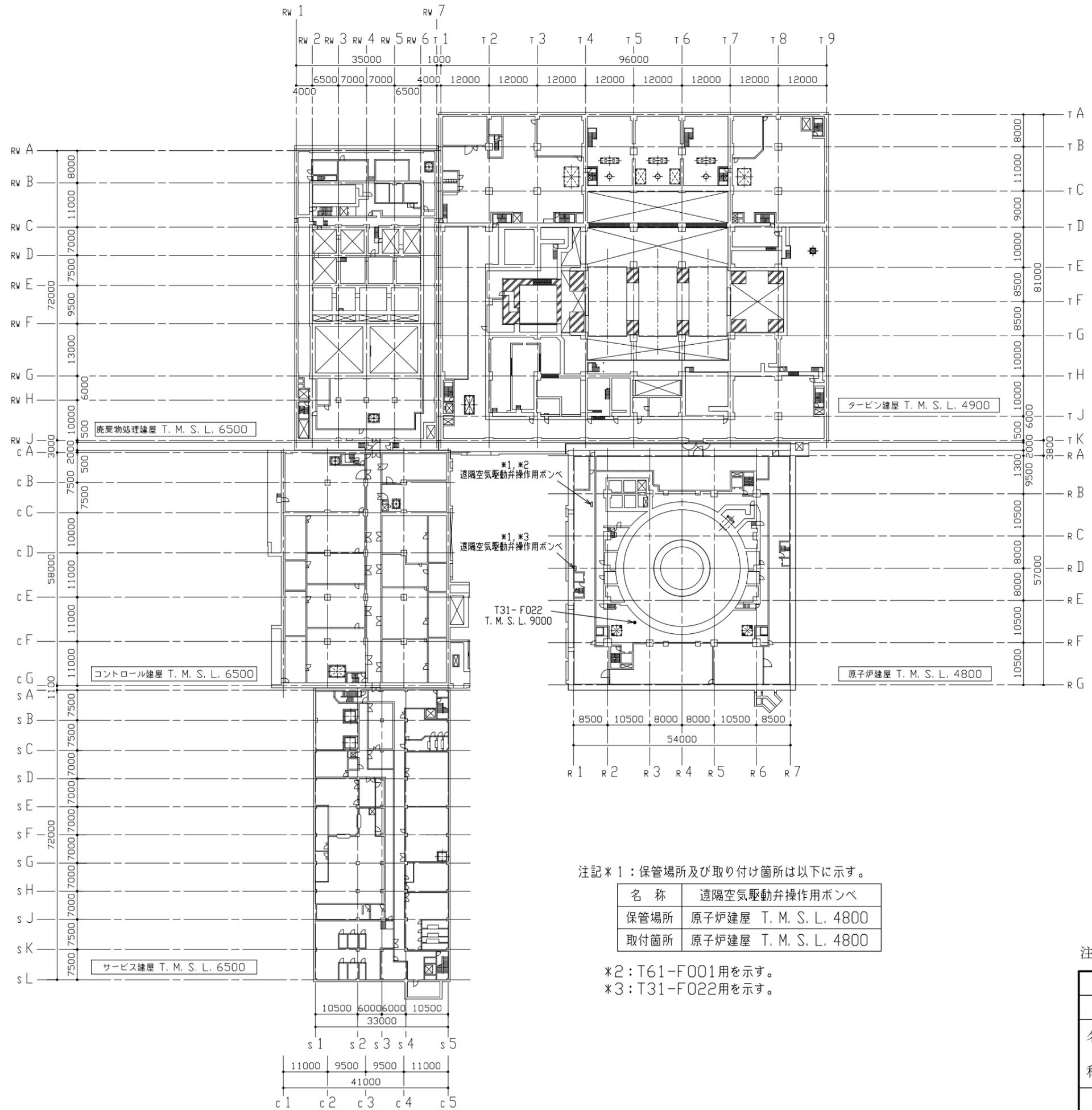


8.3.7 圧力逃がし装置

8.3.7.1 格納容器圧力逃がし装置

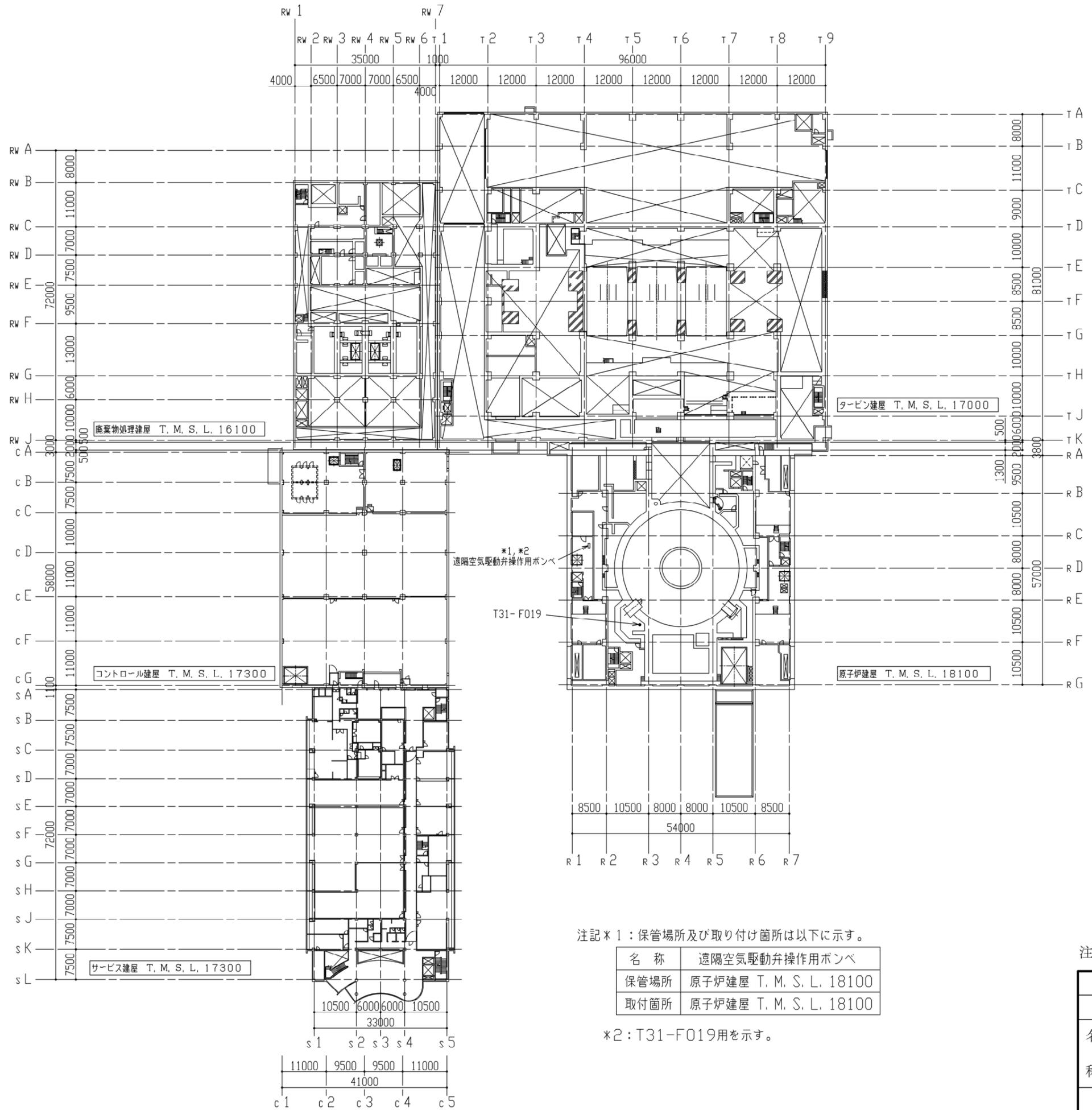


名称	遠隔空気駆動弁操作用ポンペ
保管場所	原子炉建屋 T. M. S. L. 4800
取付箇所	原子炉建屋 T. M. S. L. 4800

*2：T61-F001用を示す。
*3：T31-F022用を示す。

注：寸法はmmを示す。

第8-3-7-1-1-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置(格納容器圧力逃がし装置)に係る機器の配置を明示した図面(その1)
東京電力ホールディングス株式会社	
RYS	3531



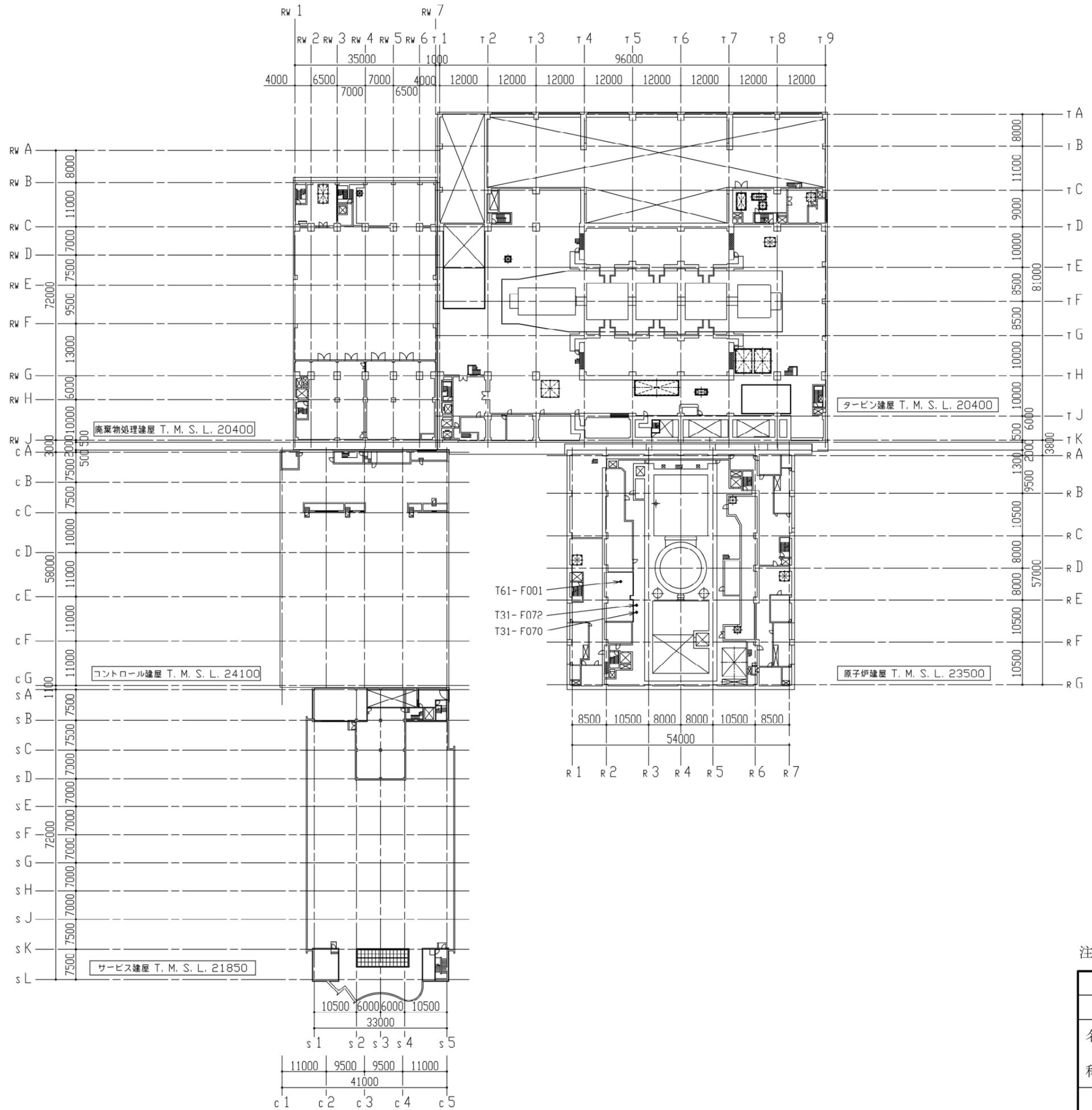
注記*1：保管場所及び取り付け箇所は以下に示す。

名称	遠隔空気駆動弁操作ポンペ
保管場所	原子炉建屋 T. M. S. L. 18100
取付箇所	原子炉建屋 T. M. S. L. 18100

*2：T31-F019用を示す。

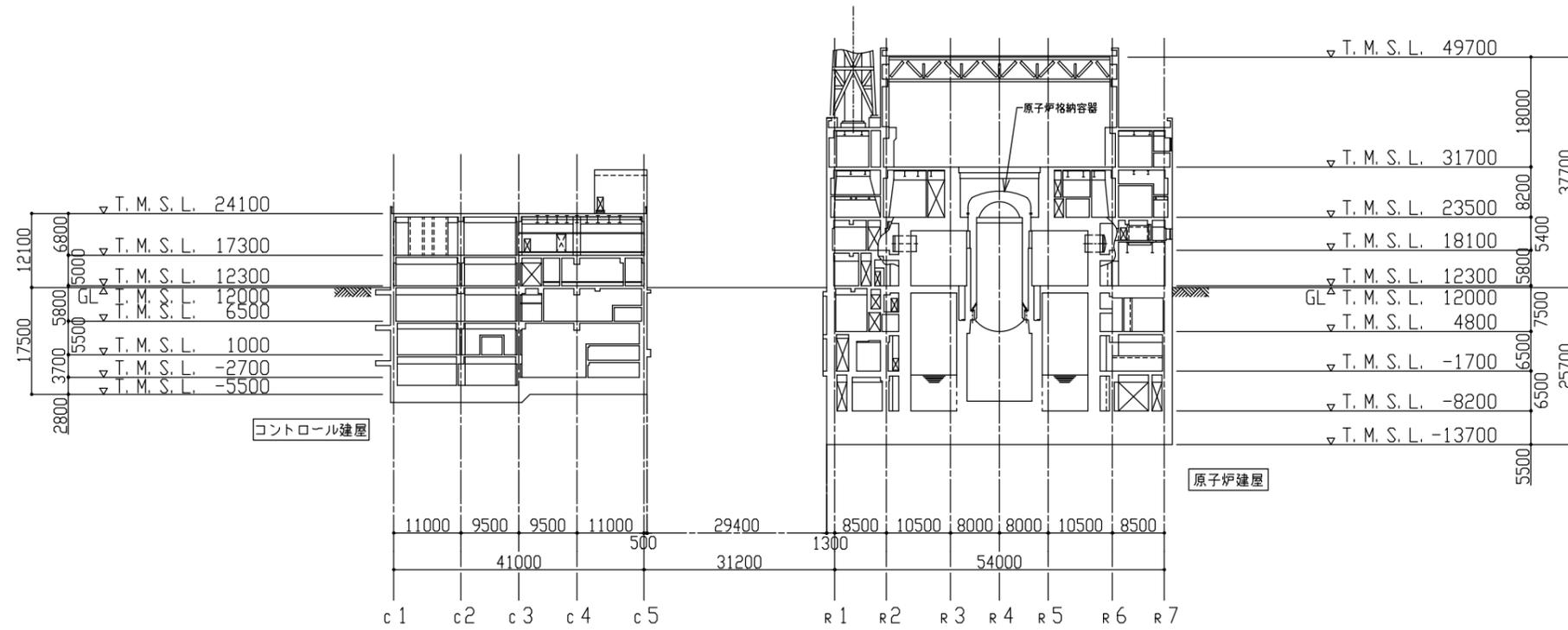
注：寸法はmmを示す。

第8-3-7-1-1-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置(格納容器圧力逃がし装置)に係る機器の配置を明示した図面(その2)
東京電力ホールディングス株式会社	

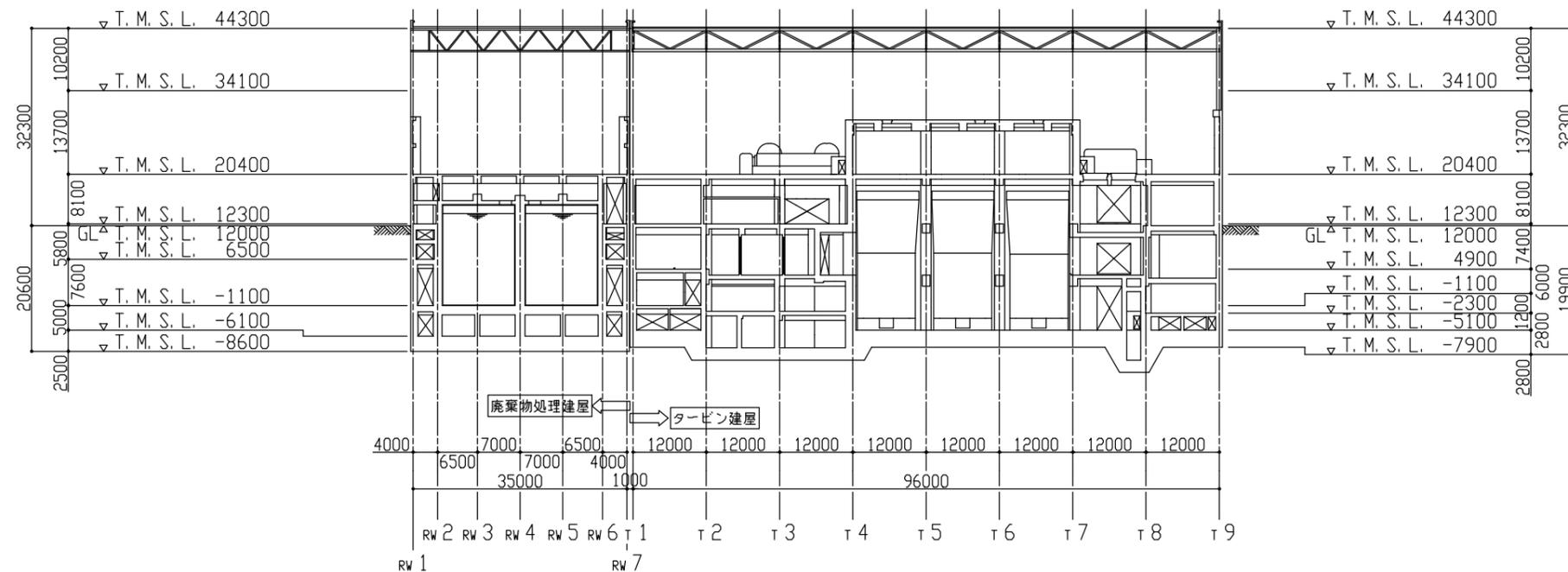


注：寸法はmmを示す。

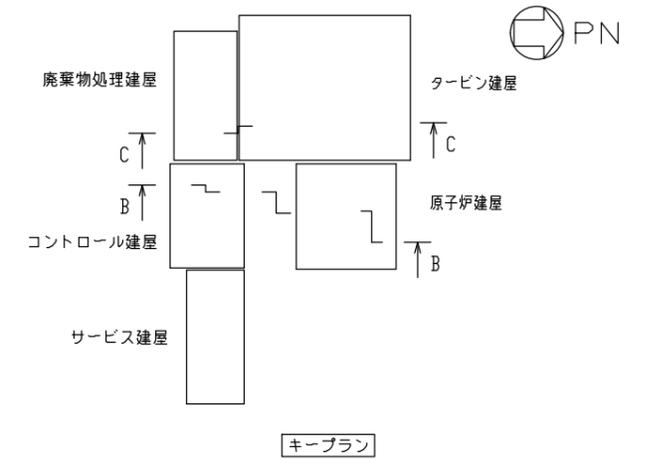
第8-3-7-1-1-3図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置(格納容器圧力逃がし装置)に係る機器の配置を明示した図面(その3)
称	
東京電力ホールディングス株式会社	



B-B断面図

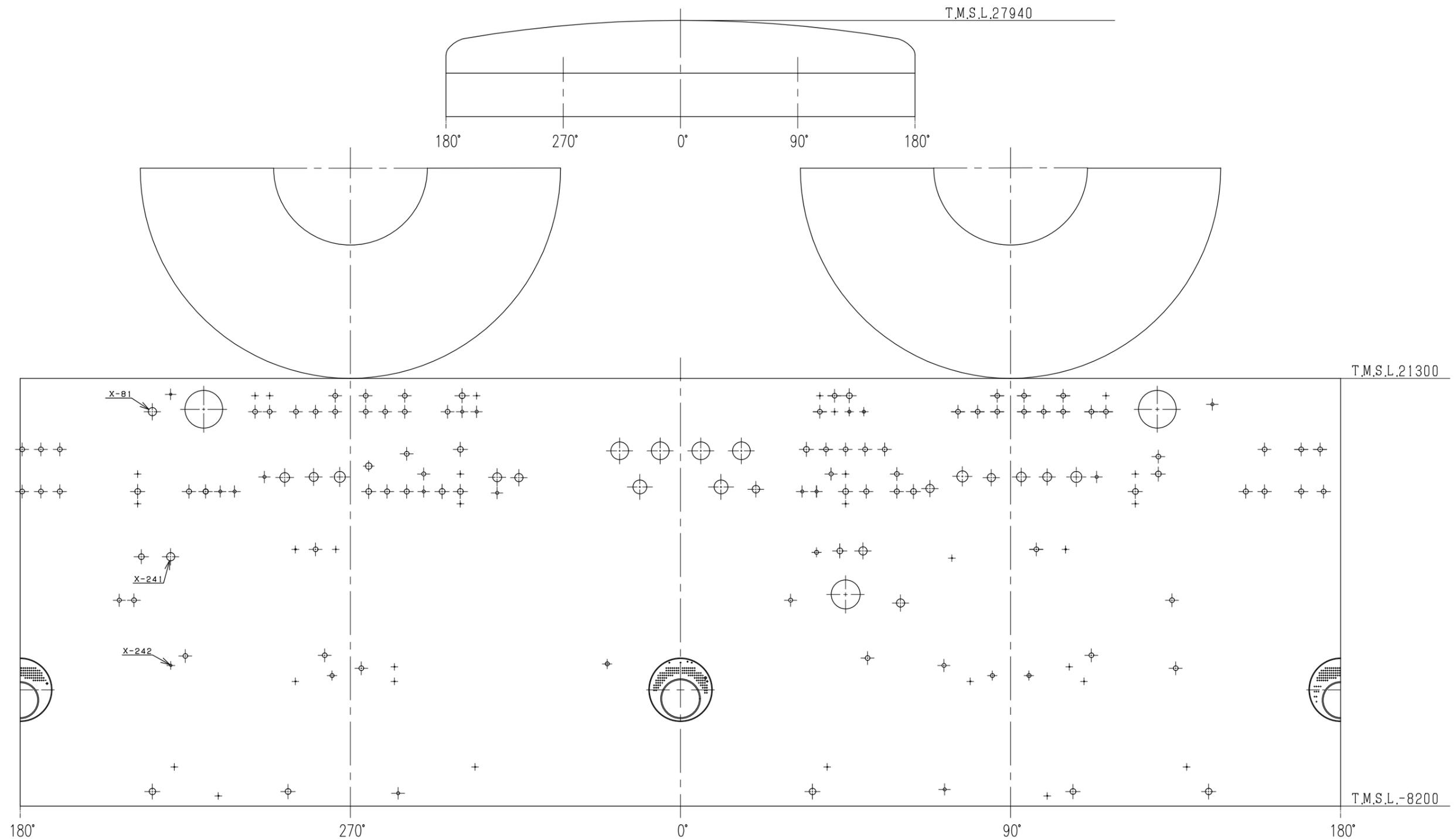


C-C断面図



注：寸法はmmを示す。

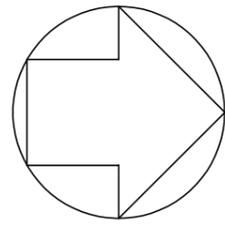
第8-3-7-1-1-4図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その4）
東京電力ホールディングス株式会社	



原子炉格納容器 内側展開図

注：寸法はmmを示す。

第8-3-7-1-1-5図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その5）
東京電力ホールディングス株式会社	



PN

R 1

R 2

8500

R E

10500

R F

屋外T.M.S.L. 38600

R E

10500

ラプチャーディスク
(よう素フィルタ出口側)

屋外T.M.S.L. 38200

屋外T.M.S.L. 49700

屋外T.M.S.L. 49700

R F

原子炉建屋

A

ラプチャーディスク
(よう素フィルタ出口側)

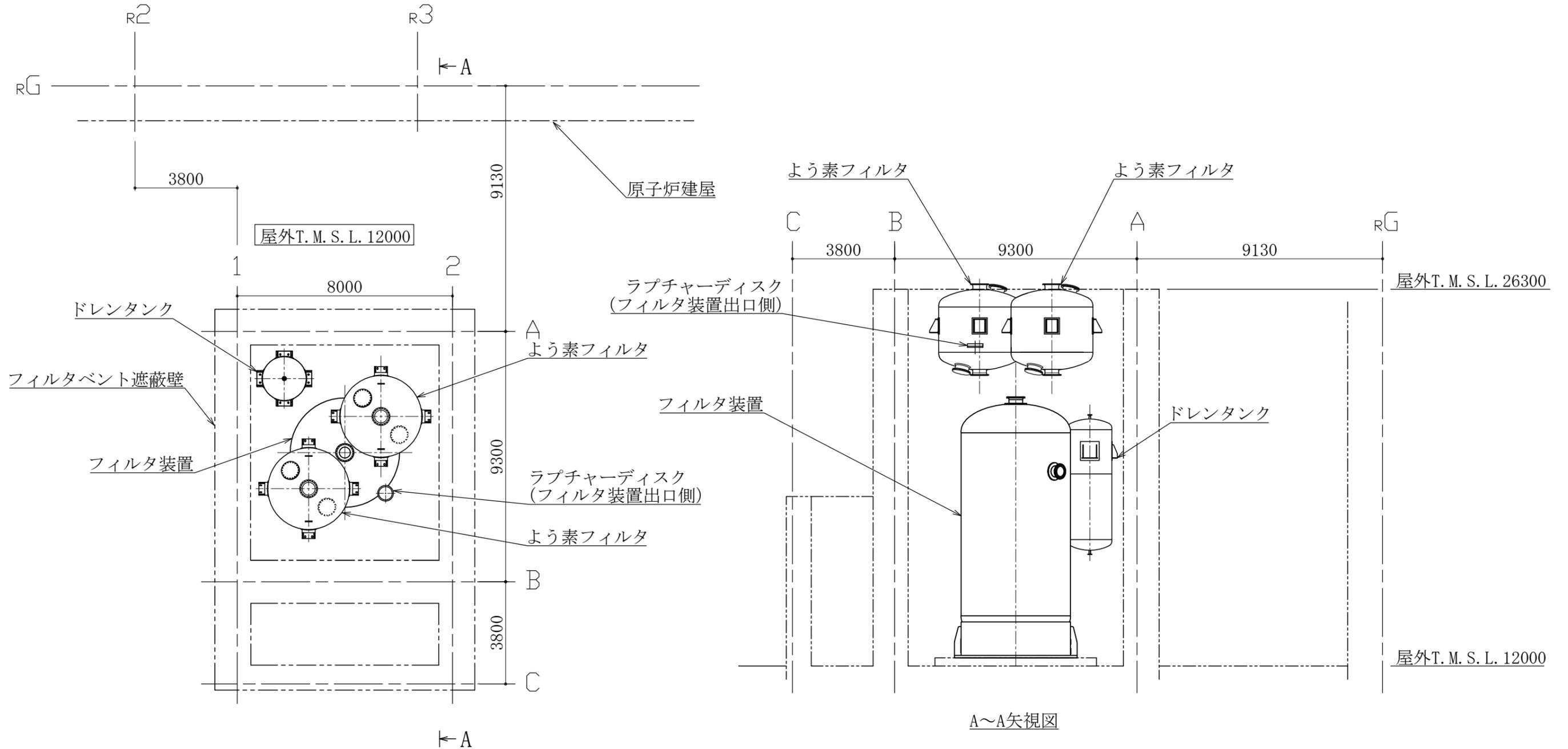
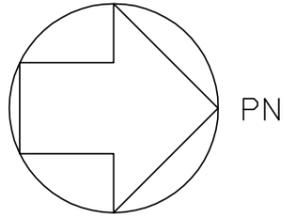
屋外T.M.S.L. 38200

A~A矢視図

注：寸法はmmを示す。

屋外

第8-3-7-1-1-6図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置)に係る機器の 配置を明示した図面(その6)
東京電力ホールディングス株式会社	

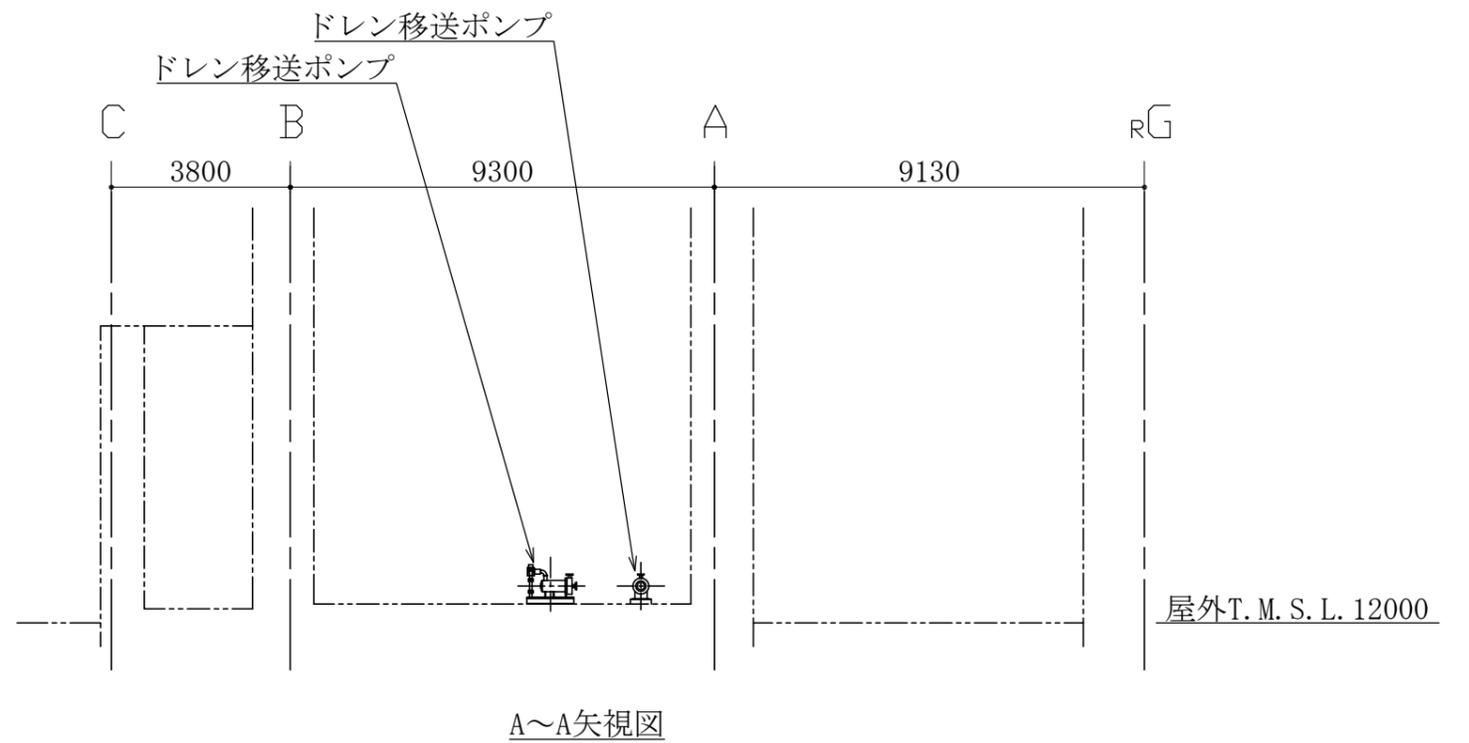
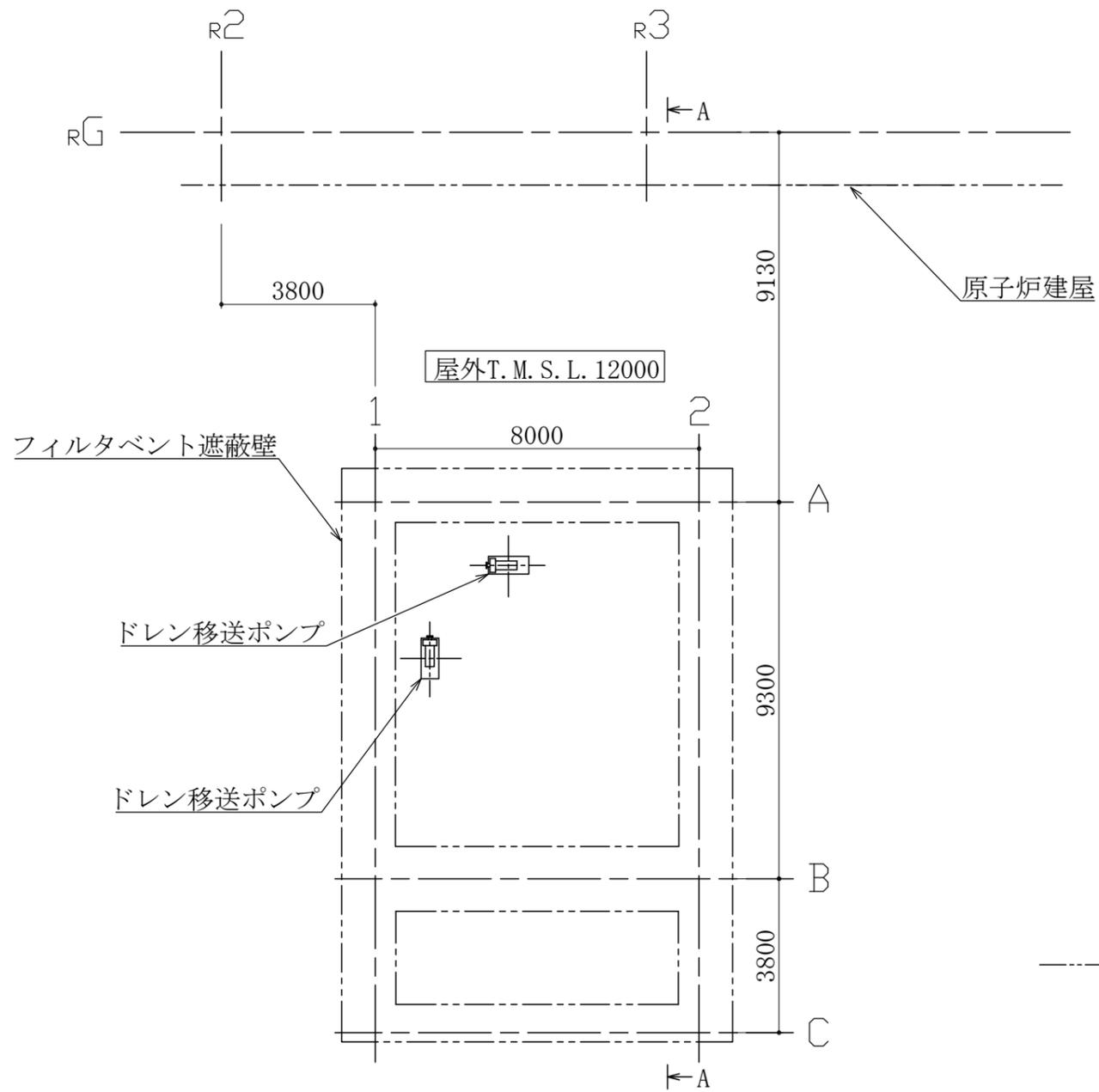
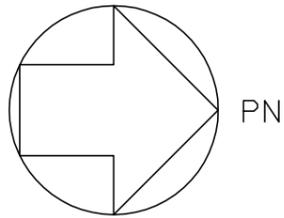


A~A矢視図

屋外

第8-3-7-1-1-7図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その7）
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	1817

注：寸法はmmを示す。



A~A矢視図

屋外

第8-3-7-1-1-8図

柏崎刈羽原子力発電所第6号機

名称 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る機器の配置を明示した図面（その8）

東京電力ホールディングス株式会社

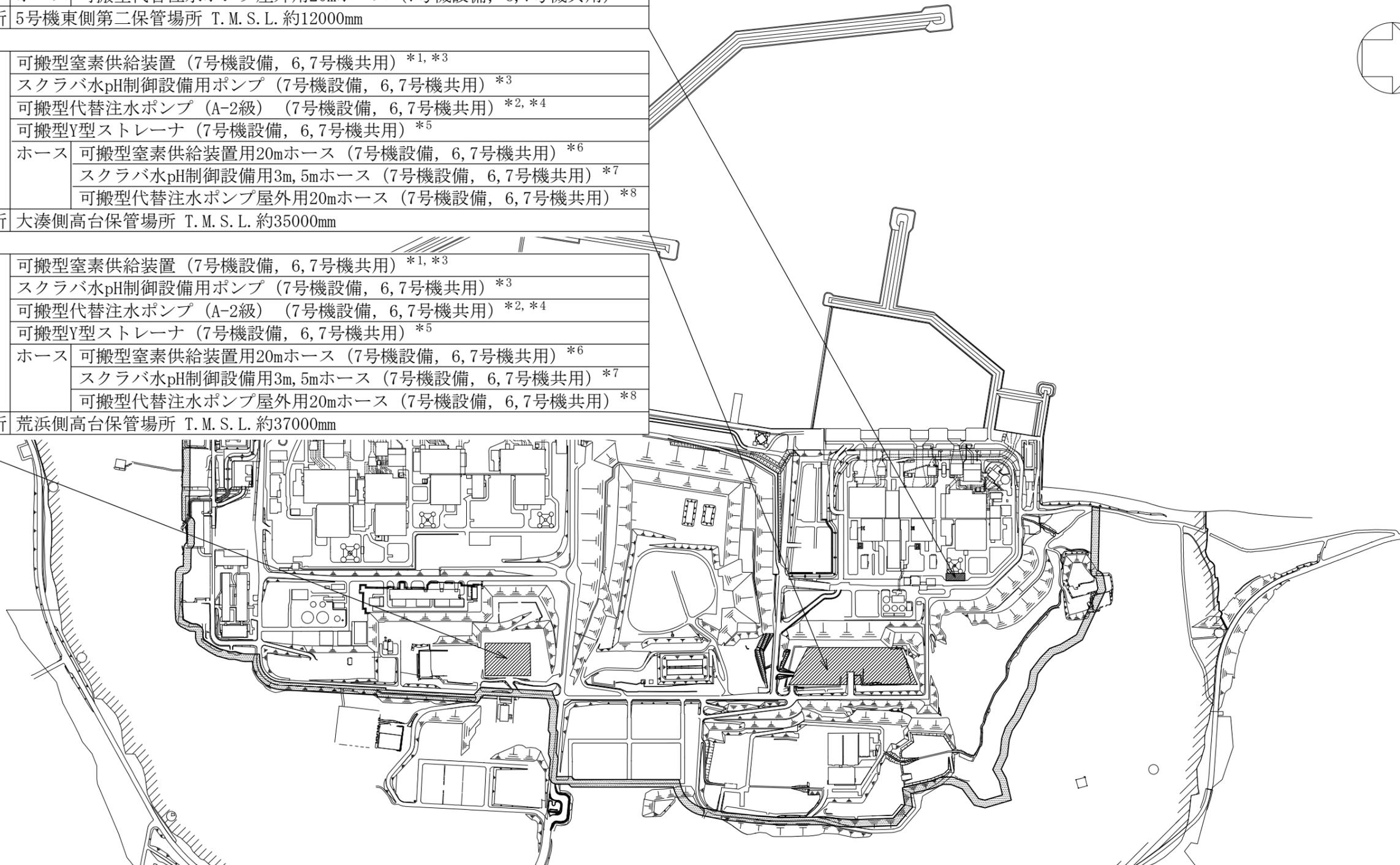
注：寸法はmmを示す。



名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2, *4
	可搬型Y型ストレーナ (7号機設備, 6, 7号機共用) *5
	ホース 可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *8
保管場所	5号機東側第二保管場所 T. M. S. L. 約12000mm

名称	可搬型窒素供給装置 (7号機設備, 6, 7号機共用) *1, *3
	スクラバ水pH制御設備用ポンプ (7号機設備, 6, 7号機共用) *3
	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2, *4
	可搬型Y型ストレーナ (7号機設備, 6, 7号機共用) *5
	ホース 可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *6
	スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *7
	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *8
保管場所	大湊側高台保管場所 T. M. S. L. 約35000mm

名称	可搬型窒素供給装置 (7号機設備, 6, 7号機共用) *1, *3
	スクラバ水pH制御設備用ポンプ (7号機設備, 6, 7号機共用) *3
	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2, *4
	可搬型Y型ストレーナ (7号機設備, 6, 7号機共用) *5
	ホース 可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *6
	スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *7
	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) *8
保管場所	荒浜側高台保管場所 T. M. S. L. 約37000mm



- 注記*1 : 下記設備は、可搬型窒素供給装置の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。
 可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備 (7号機設備, 6, 7号機共用)
- *2 : 下記設備は、可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。
 可搬型代替注水ポンプ (A-2級) 燃料タンク (7号機設備, 6, 7号機共用)
- *3 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ1個ずつ保管するとともに、予備1個を保管場所2箇所のうちいずれかに保管する。
- *4 : 予備を含めた17個を荒浜側高台保管場所、大湊側高台保管場所及び5号機東側第二保管場所のうち荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ6個、5号機東側第二保管場所に5個を保管する。
- *5 : 予備を含めた9個を荒浜側高台保管場所、大湊側高台保管場所及び5号機東側第二保管場所のうち荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ2個、5号機東側第二保管場所に5個を保管する。
- *6 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ6本ずつ保管するとともに、予備1本を保管場所2箇所のうちいずれかに保管する。
- *7 : 荒浜側高台保管場所及び大湊側高台保管場所にそれぞれ5本ずつ保管するとともに、予備2本を保管場所2箇所のうちいずれかに保管する。
- *8 : 予備を含めた1097本を荒浜側高台保管場所、大湊側高台保管場所及び5号機東側第二保管場所のうち荒浜側高台保管場所に468本、大湊側高台保管場所に469本及び5号機東側第二保管場所に160本を保管する。

▨ : 保管場所

第8-3-7-1-1-9図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置) に係る機器の配置を明示した図面 (その9)
東京電力ホールディングス株式会社	

名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2	ホース	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約15000mm 弥彦通り及び佐渡通り交差点付近		屋外 T.M.S.L. 約15000mm 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)



名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2
	可搬型Y型ストレーナ (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 6号機建屋付近

名称	ホース	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース*1 (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)

名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2	ホース	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約49000mm 淡水貯水池付近		屋外 T.M.S.L. 約49000mm 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)

名称	可搬型窒素供給装置 (7号機設備, 6, 7号機共用) *3	ホース	可搬型窒素供給装置用20mホース*1 (7号機設備, 6, 7号機共用)	スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース*1 (7号機設備, 6, 7号機共用)
	スクラバ水pH制御設備用ポンプ (7号機設備, 6, 7号機共用)			
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 6号機建屋付近	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 可搬型窒素供給装置	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 水酸化ナトリウム水溶液～スクラバ水pH制御設備用ポンプ	

※本図は、6, 7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため、6号機側への取付箇所を示す。

注記*1 : 可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) のフィルタ装置補給用接続口,
スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) のフィルタ装置補給用接続口及び
可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) の窒素パーズライン接続口の取付箇所は第8-3-7-1-1-12図参照。

----- : 取付箇所

*2 : 下記設備は、可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。

可搬型代替注水ポンプ (A-2級) 燃料タンク (7号機設備, 6, 7号機共用)

*3 : 下記設備は、可搬型窒素供給装置の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。

可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備 (7号機設備, 6, 7号機共用)

第8-3-7-1-1-10図

柏崎刈羽原子力発電所第6号機

名称 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置) に係る機器の配置を明示した図面 (その10)

東京電力ホールディングス株式会社

名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2	ホース	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約15000mm 弥彦通り及び佐渡通り交差点付近		屋外 T.M.S.L. 約15000mm 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)



名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2
	可搬型Y型ストレーナ (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 7号機建屋付近

名称	ホース	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース*1 (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm	可搬型代替注水ポンプ (A-2級)

名称	可搬型代替注水ポンプ (A-2級) (7号機設備, 6, 7号機共用) *2	ホース	可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約49000mm 淡水貯水池付近		屋外 T.M.S.L. 約49000mm 可搬型代替注水ポンプ (A-2級)

名称	可搬型窒素供給装置 (7号機設備, 6, 7号機共用) *3	ホース	可搬型窒素供給装置用20mホース*1 (7号機設備, 6, 7号機共用)	スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース*1 (7号機設備, 6, 7号機共用)
	スクラバ水pH制御設備用ポンプ (7号機設備, 6, 7号機共用)			
取付箇所	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 7号機建屋付近	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 可搬型窒素供給装置	屋外 T.M.S.L. 約12000mm 水酸化ナトリウム水溶液～スクラバ水pH制御設備用ポンプ	

※本図は、6, 7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため、7号機側への取付箇所を示す。

注記*1 : 可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) のフィルタ装置補給用接続口,
スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) のフィルタ装置補給用接続口及び
可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) の窒素パーズライン接続口の取付箇所は第8-3-7-1-1-13図参照。

*2 : 下記設備は、可搬型代替注水ポンプ (A-2級) の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。
可搬型代替注水ポンプ (A-2級) 燃料タンク (7号機設備, 6, 7号機共用)

*3 : 下記設備は、可搬型窒素供給装置の附属機器である。附属機器は「機器本体」と同一の取付箇所である。
可搬型窒素供給装置用可搬型電源設備 (7号機設備, 6, 7号機共用)

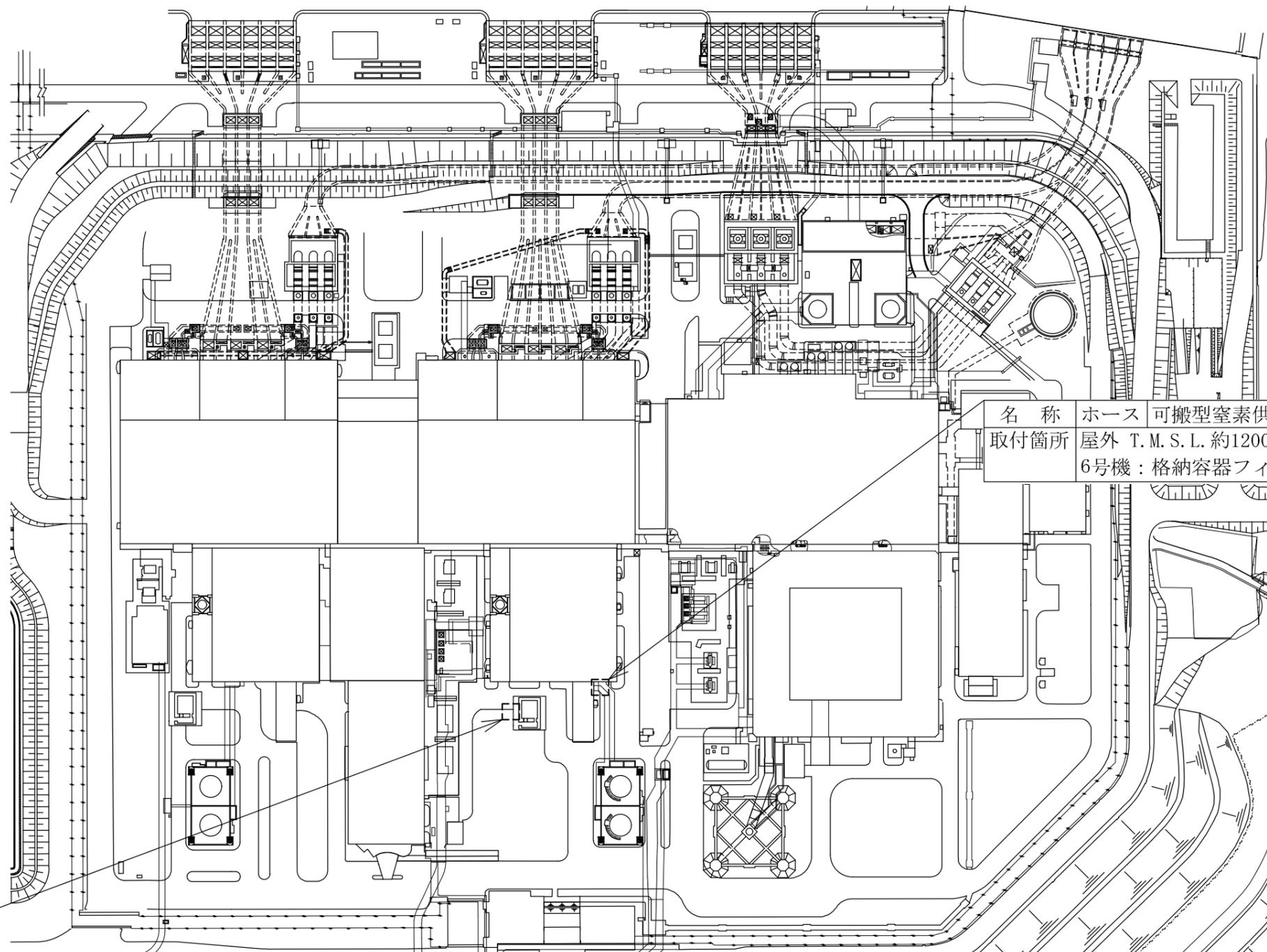
----- : 取付箇所

第8-3-7-1-1-11図

柏崎刈羽原子力発電所第6号機

名称 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置) に係る機器の配置を明示した図面 (その11)

東京電力ホールディングス株式会社



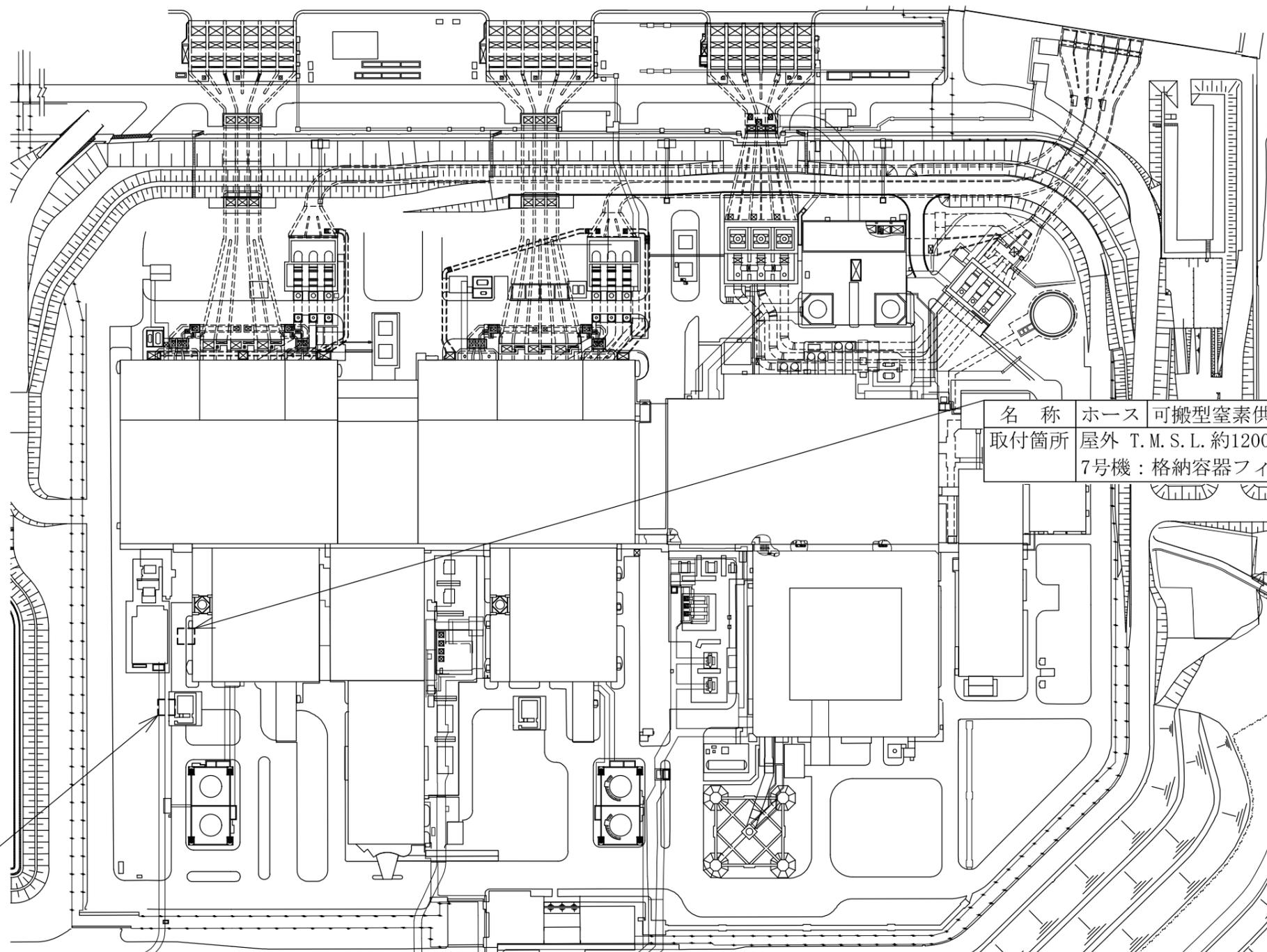
名 称	ホース 可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外 T. M. S. L. 約12000mm 6号機: 格納容器フィルタベント窒素パージライン接続口

名 称	ホース スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) 可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)	可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外T. M. S. L. 約12000mm 6号機: フィルタ装置補給用接続口	屋外T. M. S. L. 約12000mm 6号機: ドレン移送ライン窒素パージライン接続口

第8-3-7-1-1-12図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名 称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置) に係る機器の配置を明示した図面 (その12)
東京電力ホールディングス株式会社	

□ : 取付箇所

※本図は、6, 7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため、6号機側への取付箇所を示す。



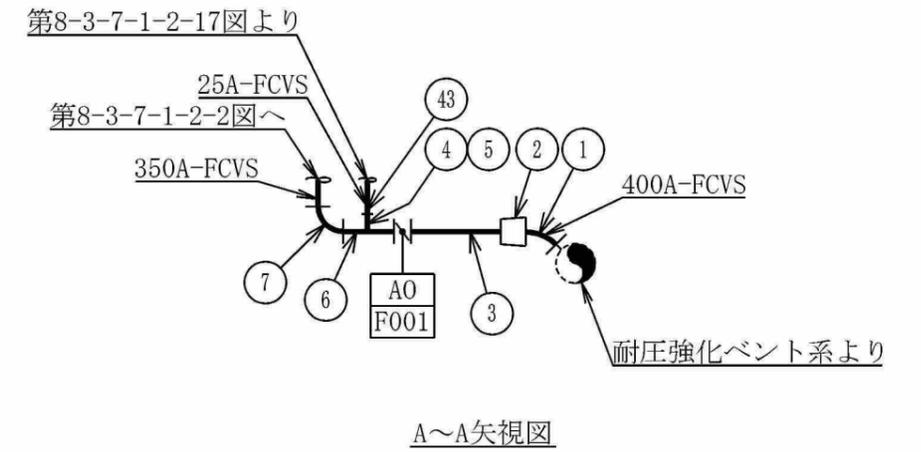
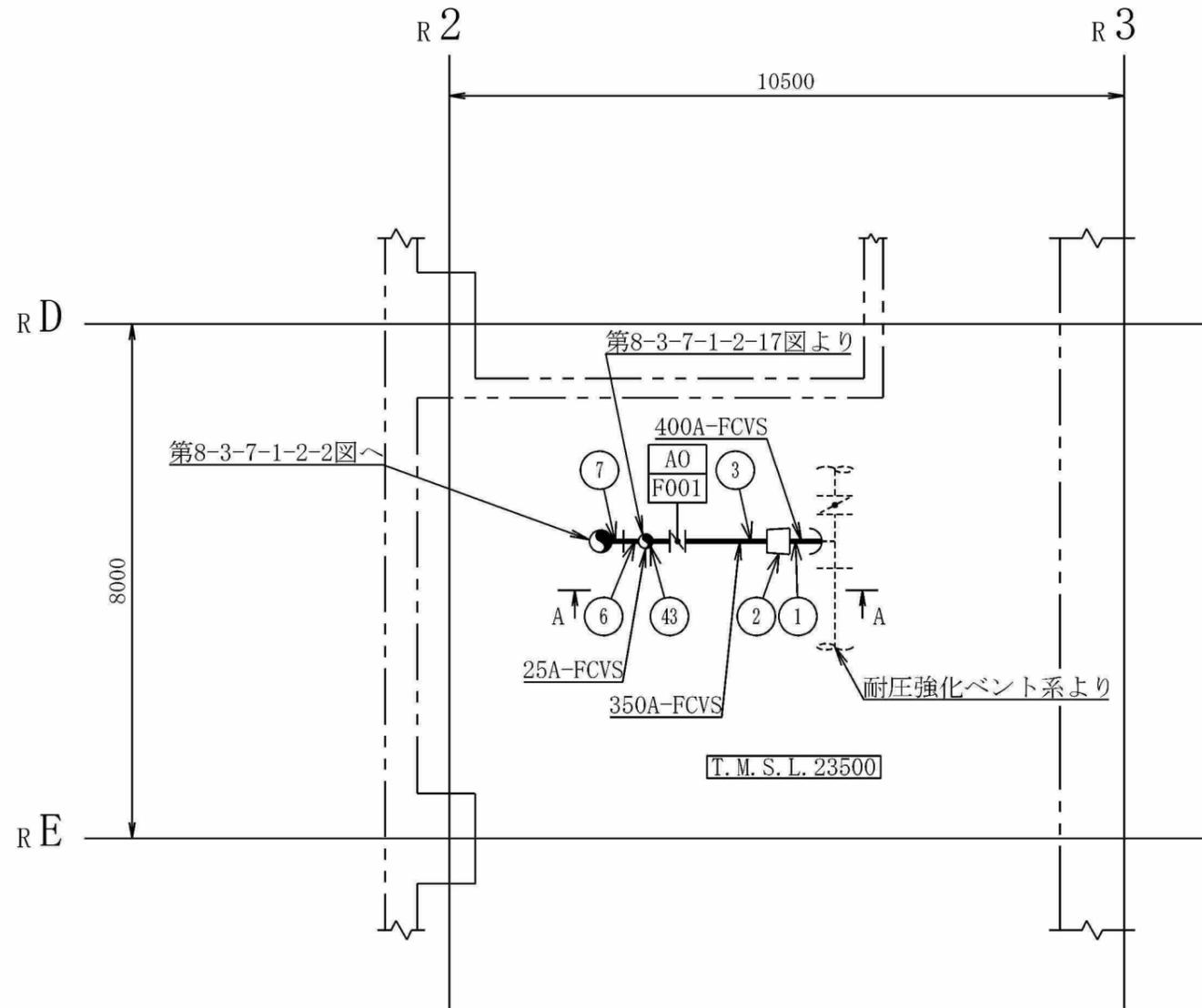
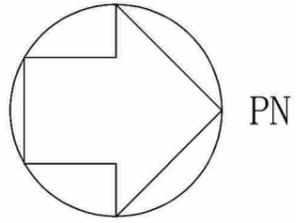
名 称	ホース	可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外	T. M. S. L. 約12000mm 7号機: 格納容器フィルタベント窒素パージライン接続口

名 称	ホース	スクラバ水pH制御設備用3m, 5mホース (7号機設備, 6, 7号機共用) 可搬型代替注水ポンプ屋外用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)	可搬型窒素供給装置用20mホース (7号機設備, 6, 7号機共用)
取付箇所	屋外	T. M. S. L. 約12000mm 7号機: フィルタ装置補給用接続口	屋外 T. M. S. L. 約12000mm 7号機: ドレン移送ライン窒素パージライン接続口

第8-3-7-1-1-13図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名 称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置) に係る機器の配置を明示した図面 (その13)
東京電力ホールディングス株式会社	

□ : 取付箇所

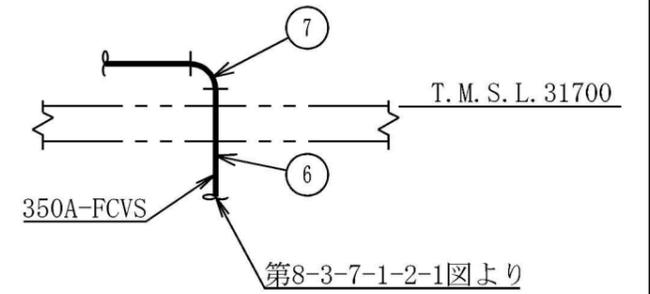
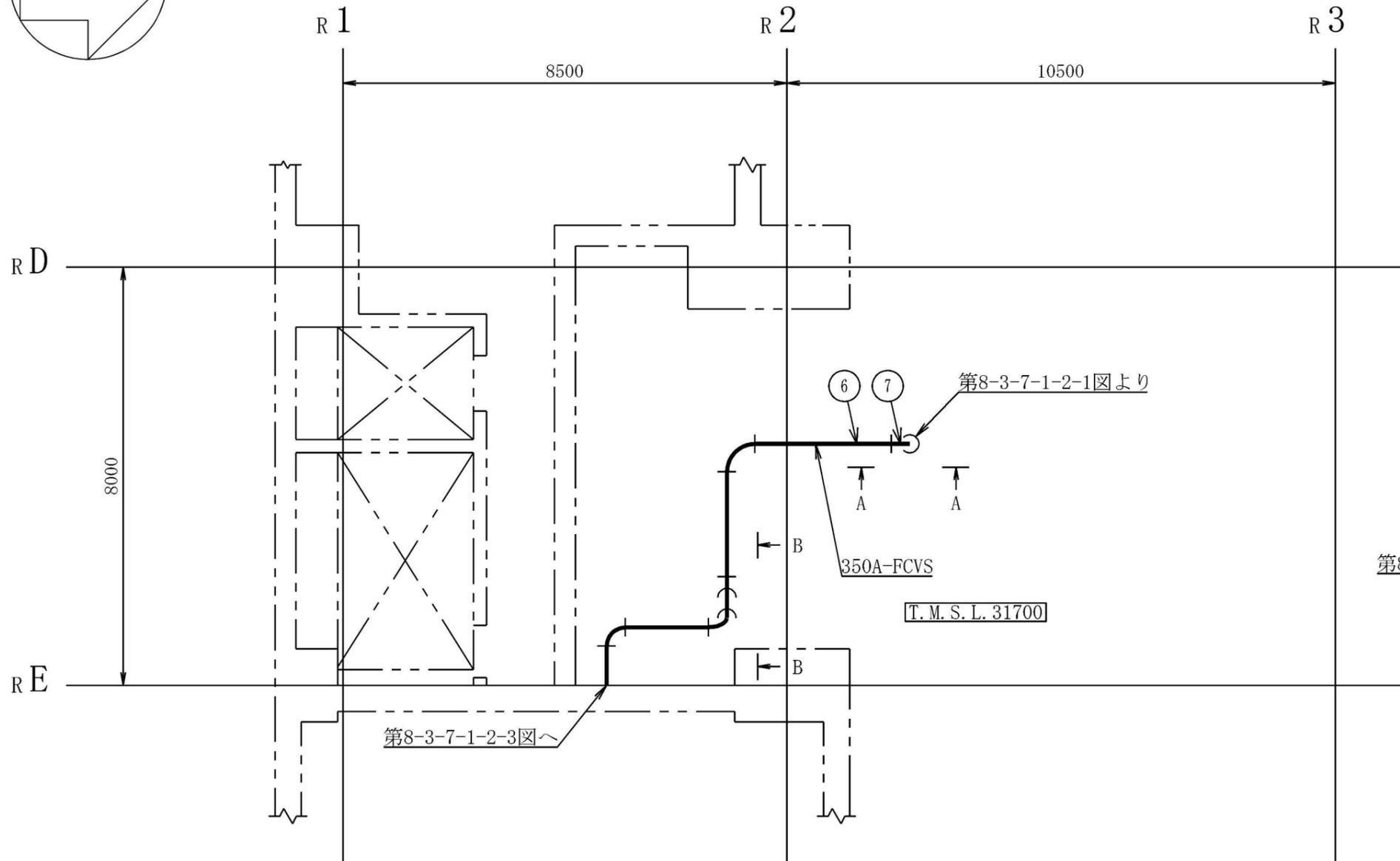
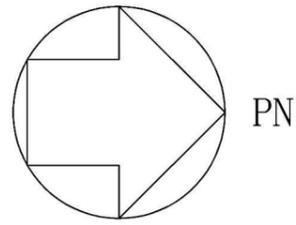
※本図は, 6, 7号機共用設備の取付箇所における関係性を示すため, 7号機側への取付箇所を示す。



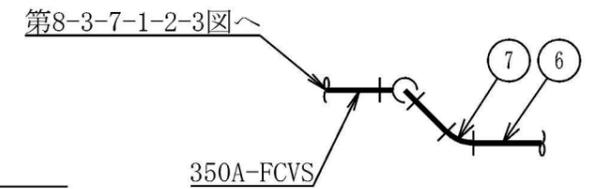
注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

第8-3-7-1-2-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その1）
東京電力ホールディングス株式会社	



A~A矢視図

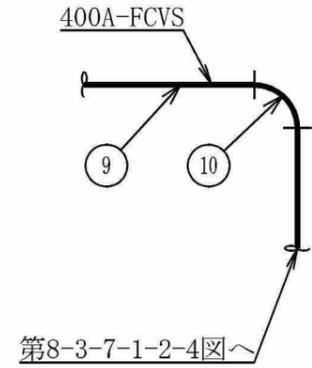
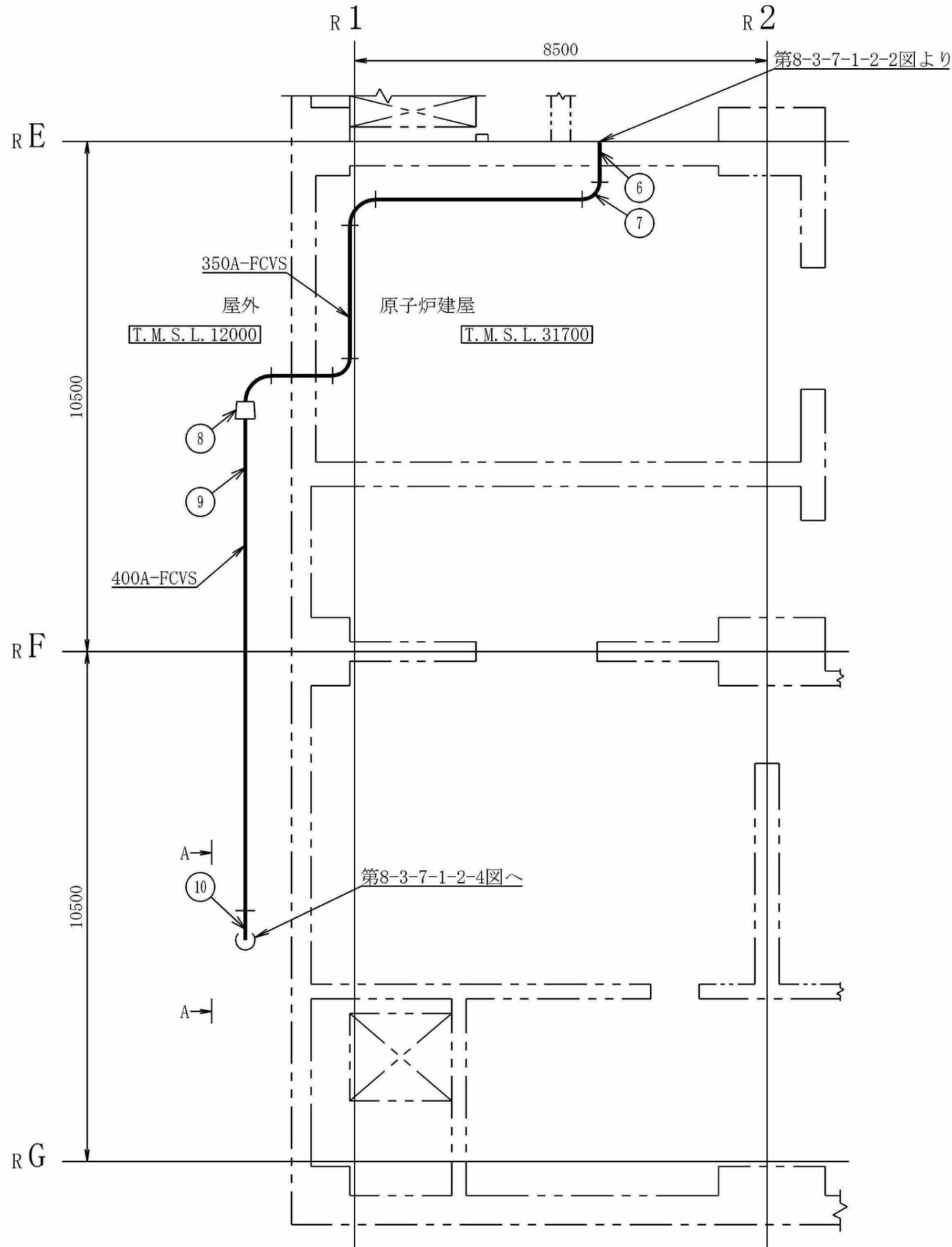
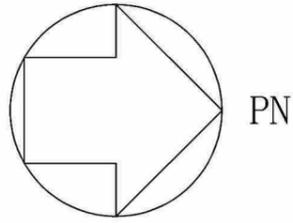


B~B矢視図

注1：寸法はmmを示す。
注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

第8-3-7-1-2-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その2）
東京電力ホールディングス株式会社	

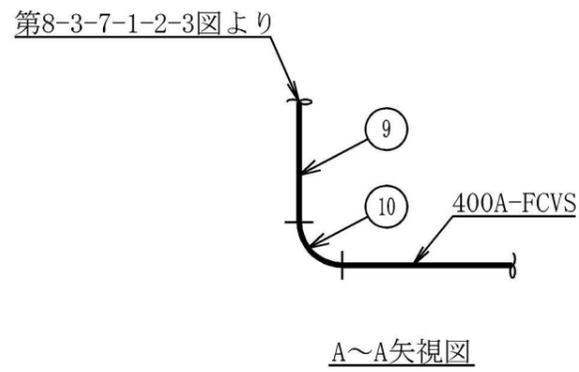
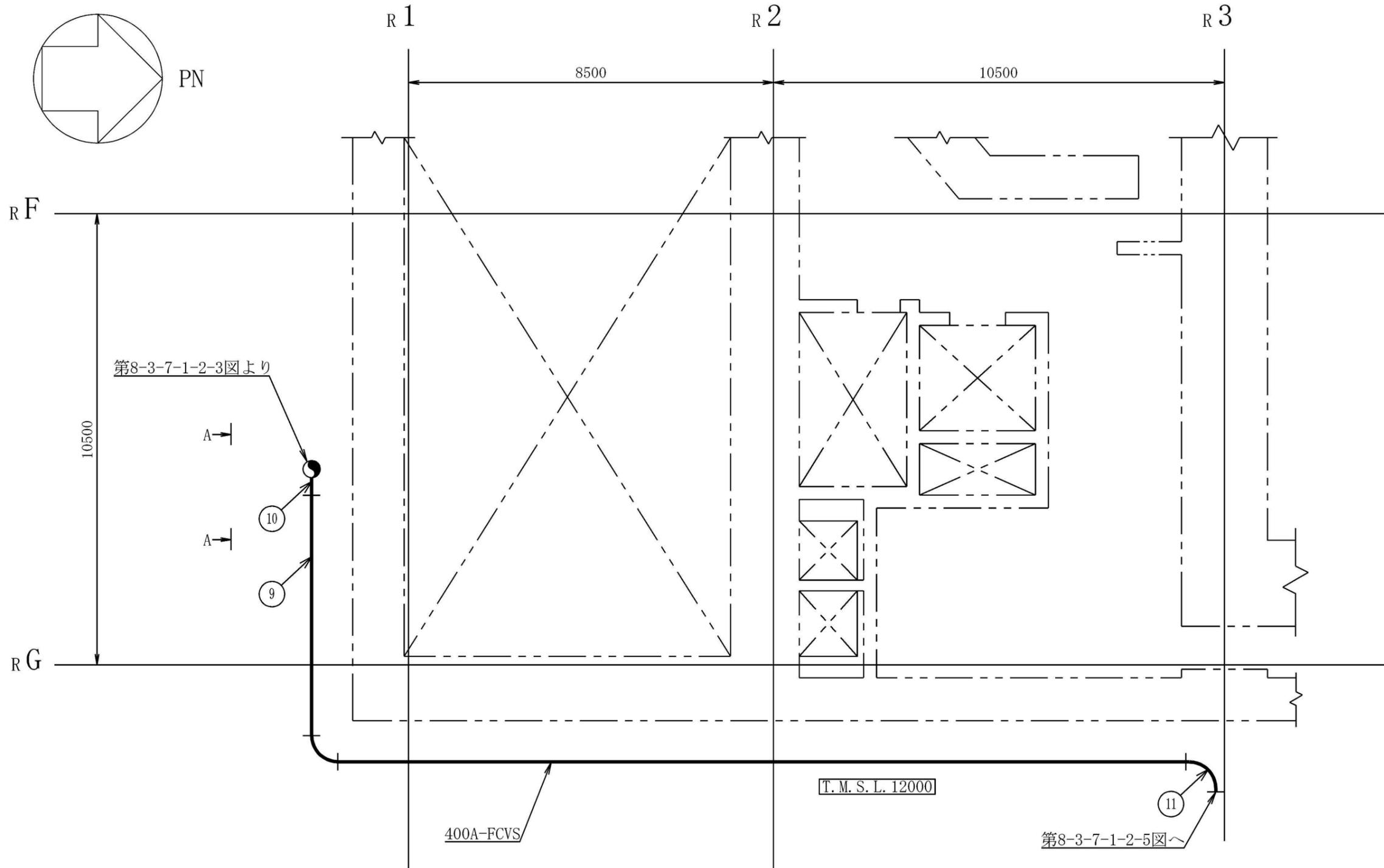


A~A矢視図

注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

屋外
 原子炉建屋

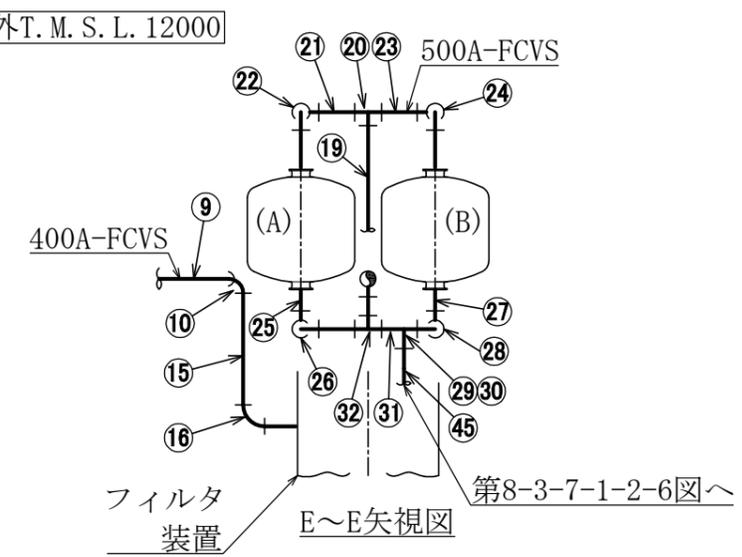
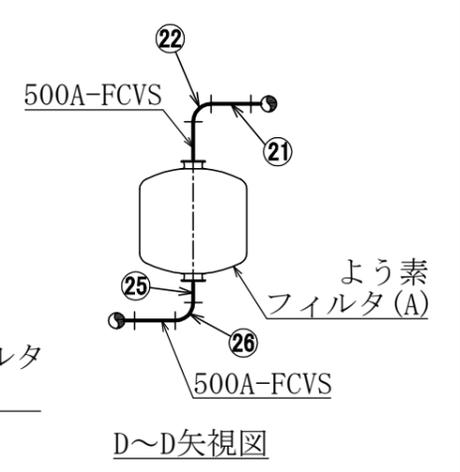
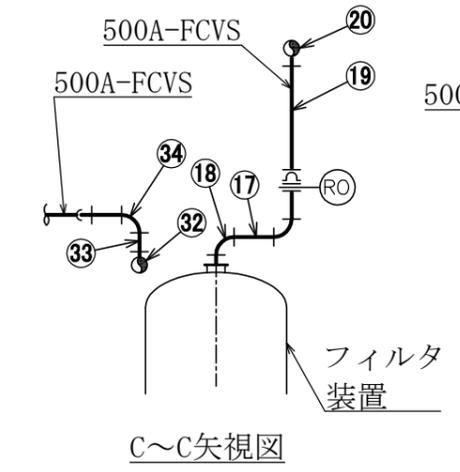
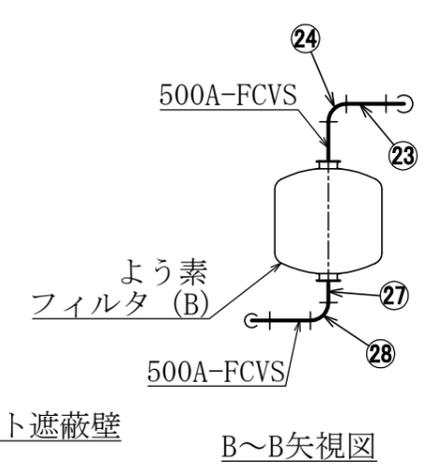
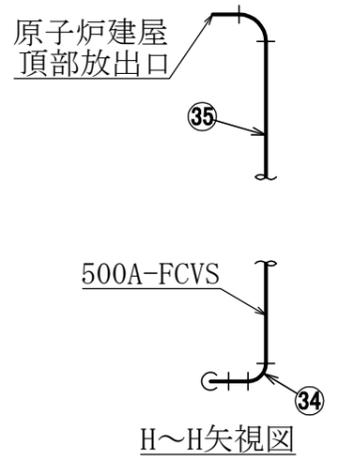
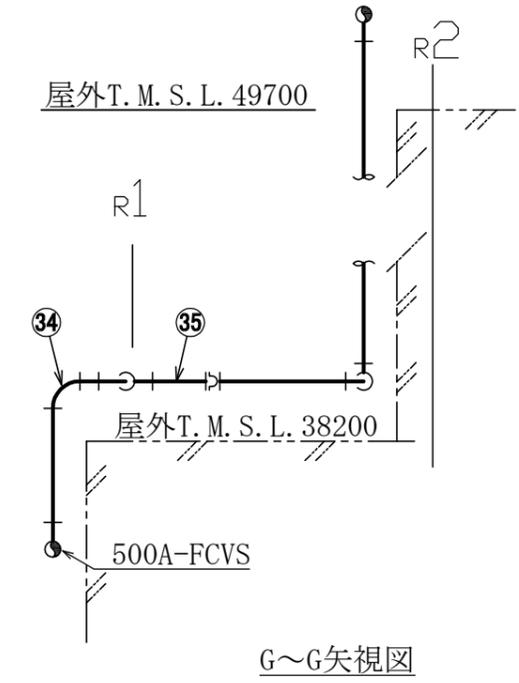
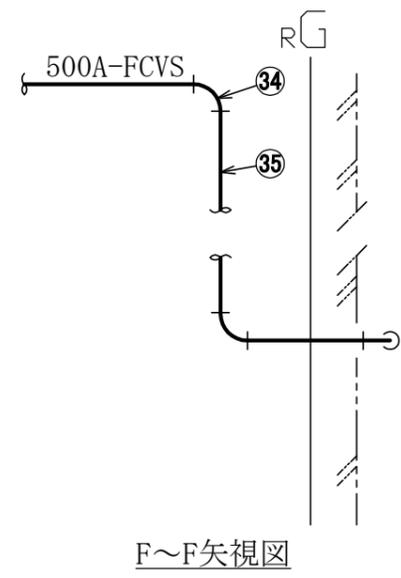
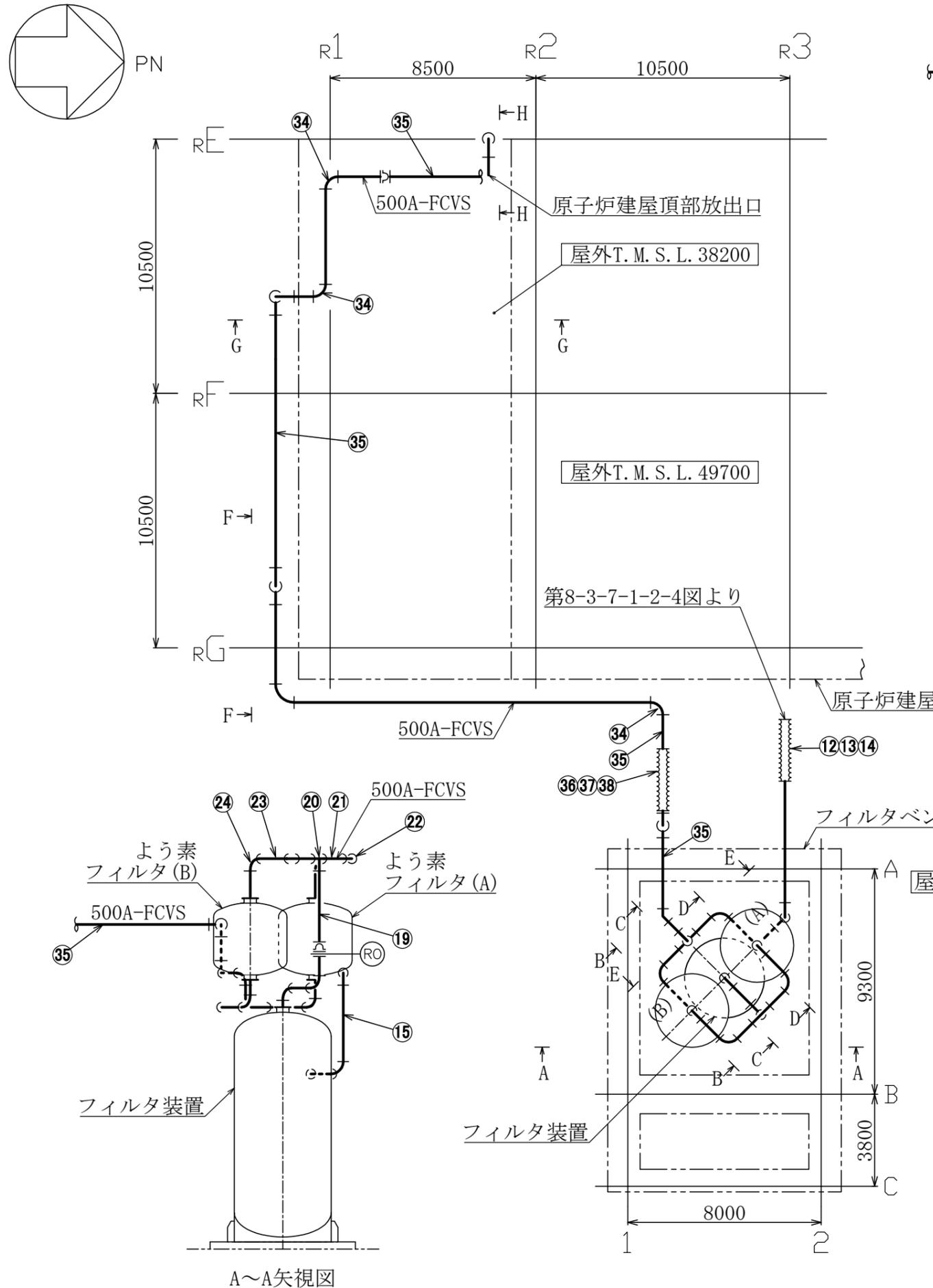
第8-3-7-1-2-3図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その3）
東京電力ホールディングス株式会社	



注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

屋外

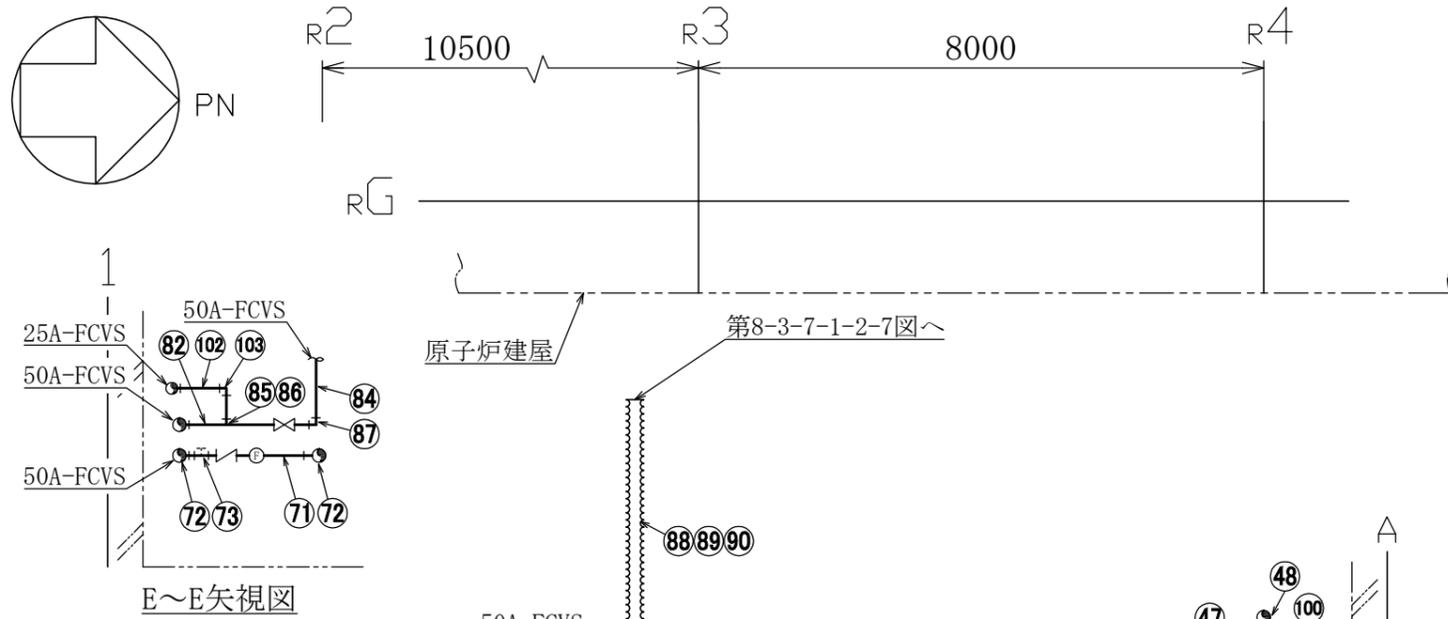
第8-3-7-1-2-4図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その4）
東京電力ホールディングス株式会社	



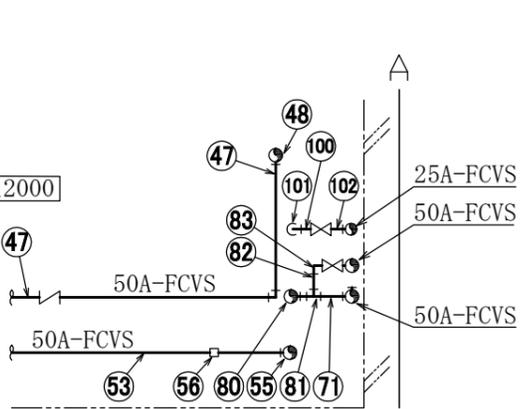
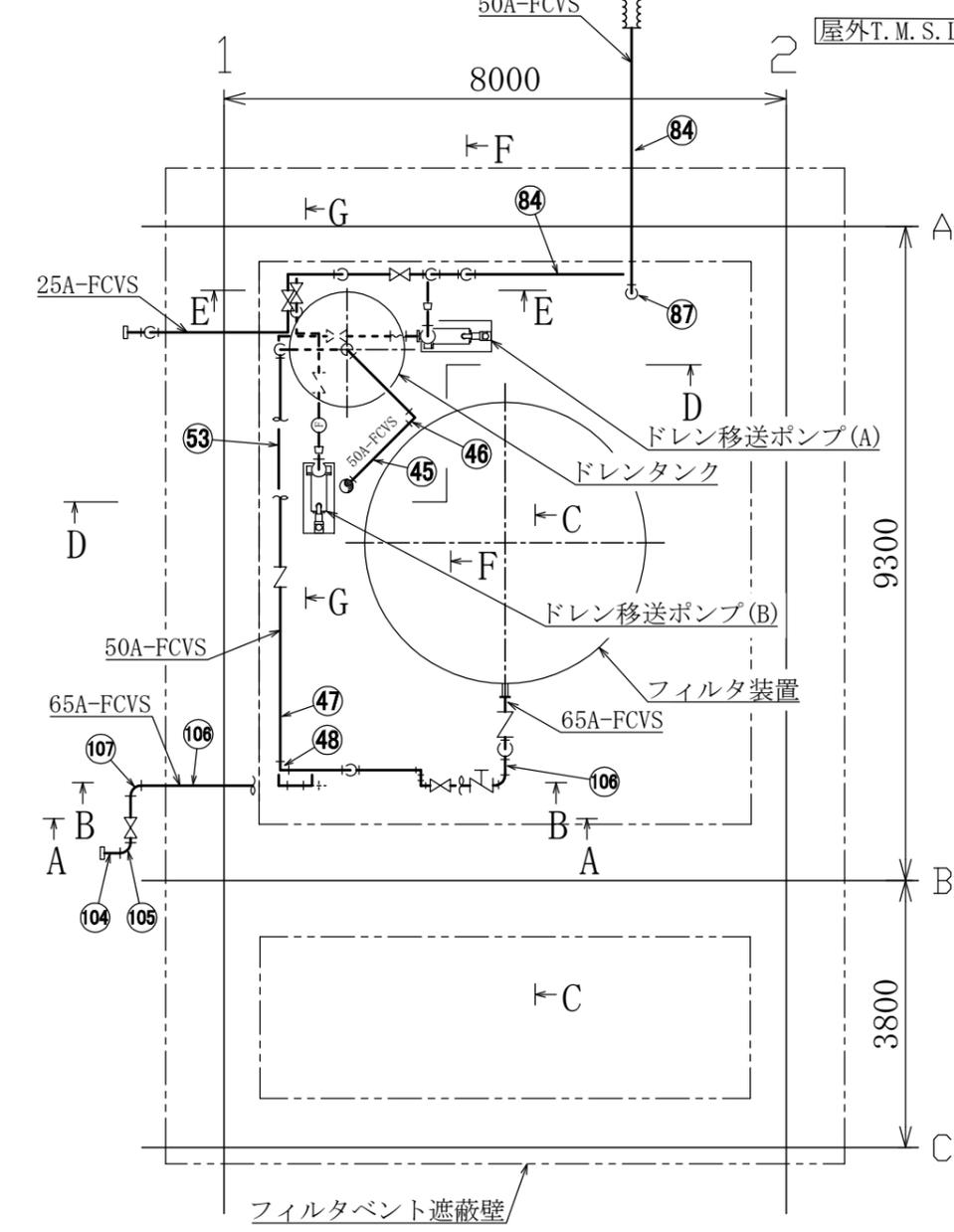
注1：寸法はmmを示す。
注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

第8-3-7-1-2-5図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その5）
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	3605

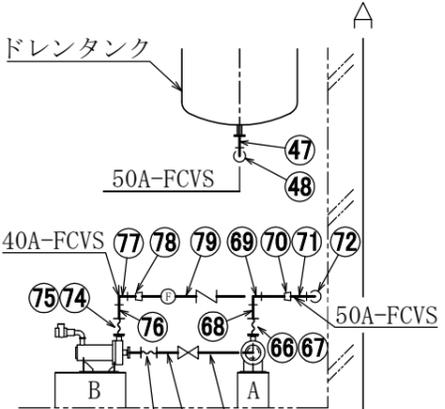
屋外



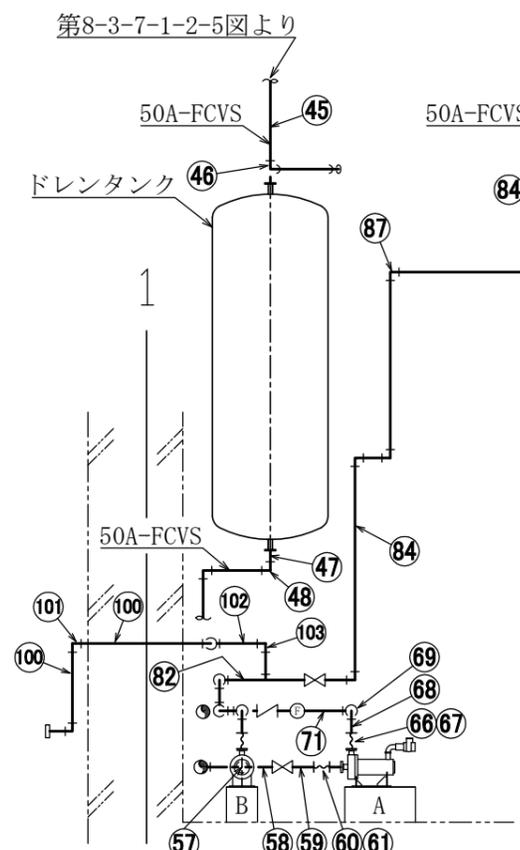
E~E矢視図



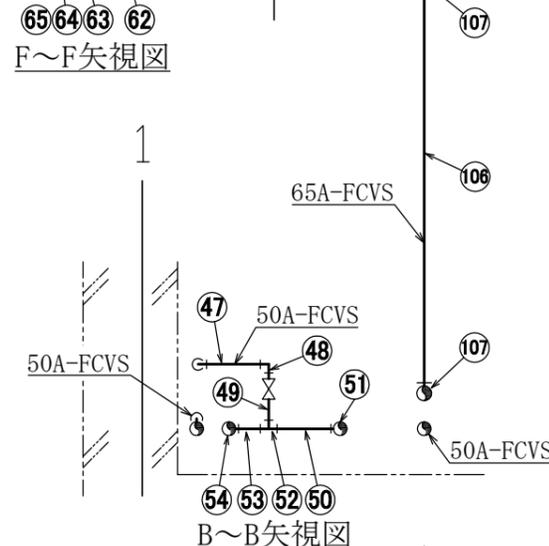
G~G矢視図



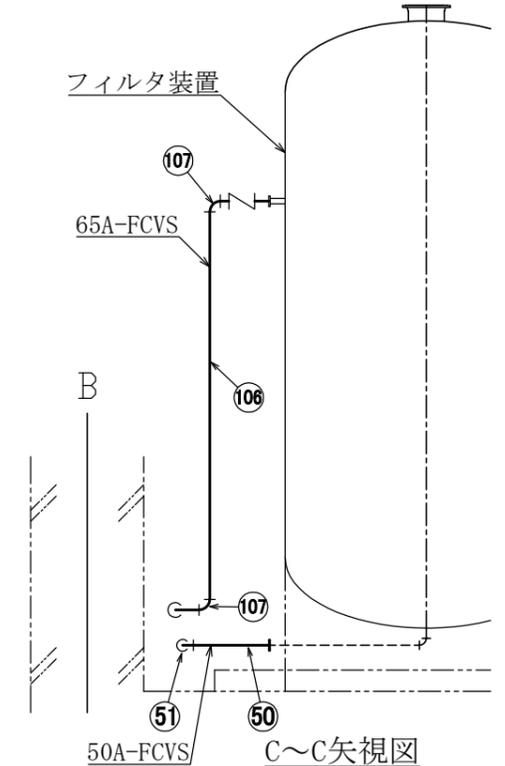
F~F矢視図



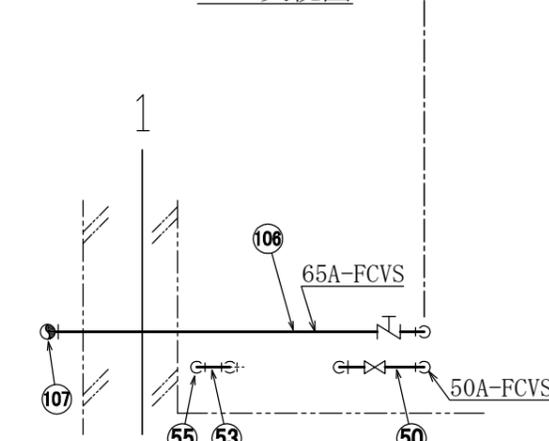
D~D矢視図



B~B矢視図



C~C矢視図

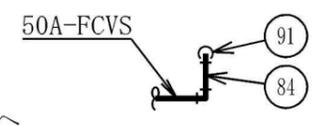
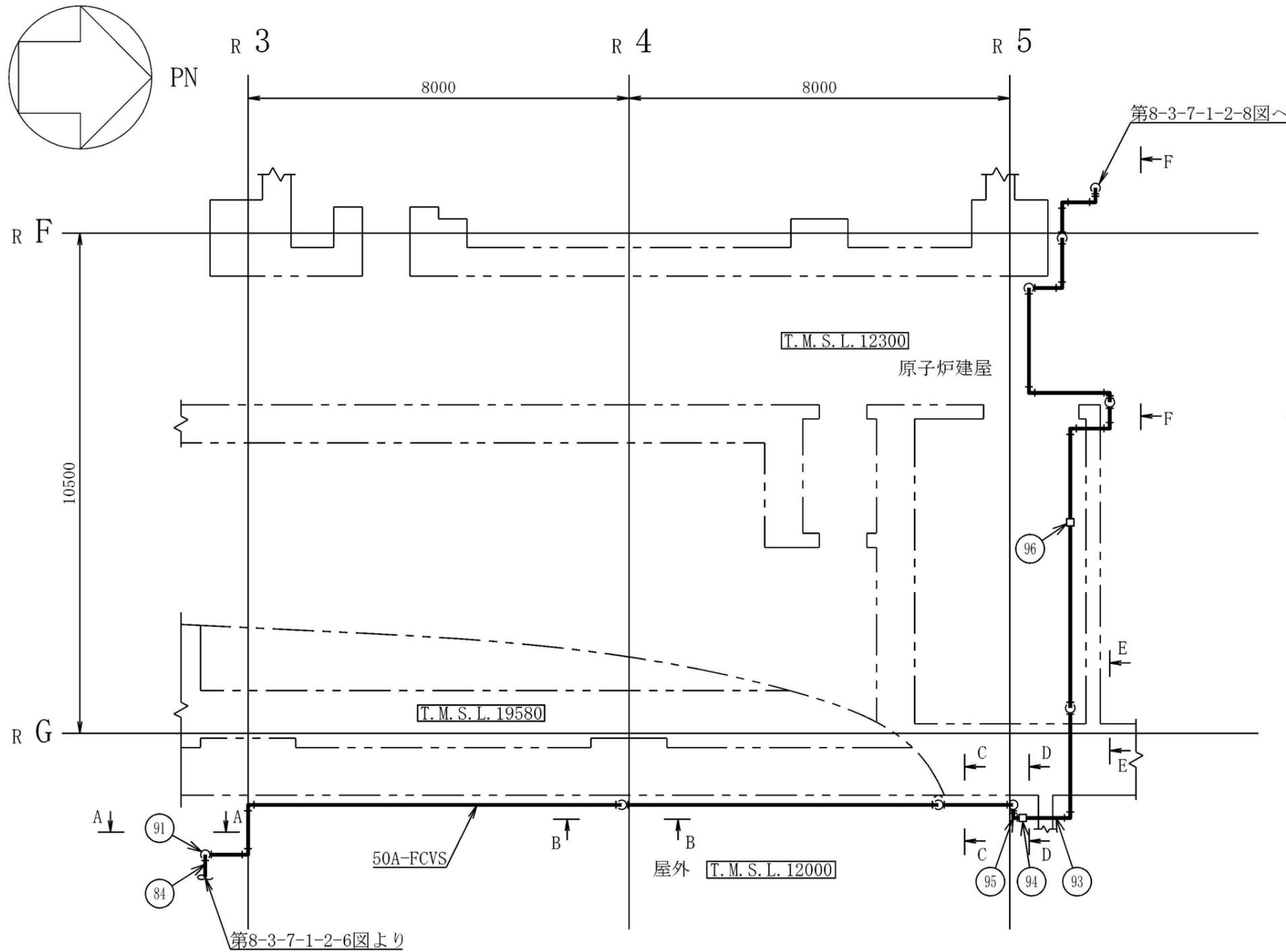


A~A矢視図

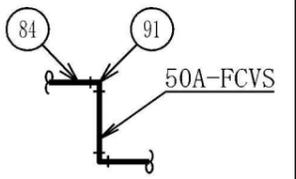
注1：寸法はmmを示す。
注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

屋外

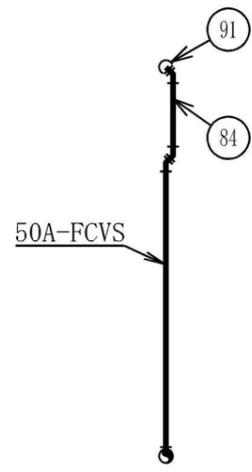
第8-3-7-1-2-6図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その6）
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	3607



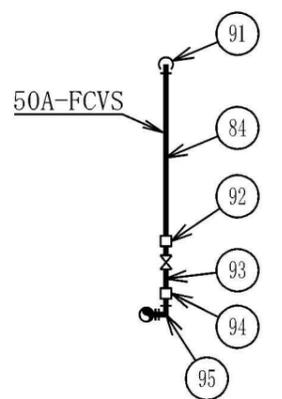
A~A矢視図



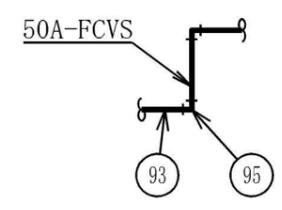
B~B矢視図



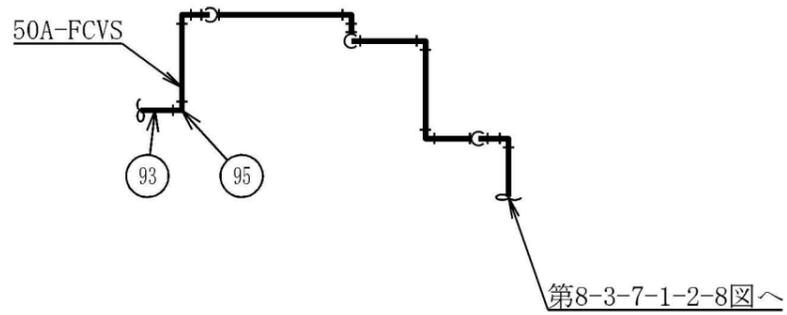
C~C矢視図



D~D矢視図



E~E矢視図

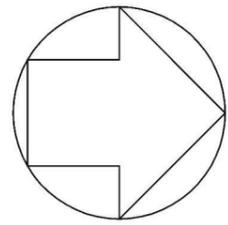


F~F矢視図

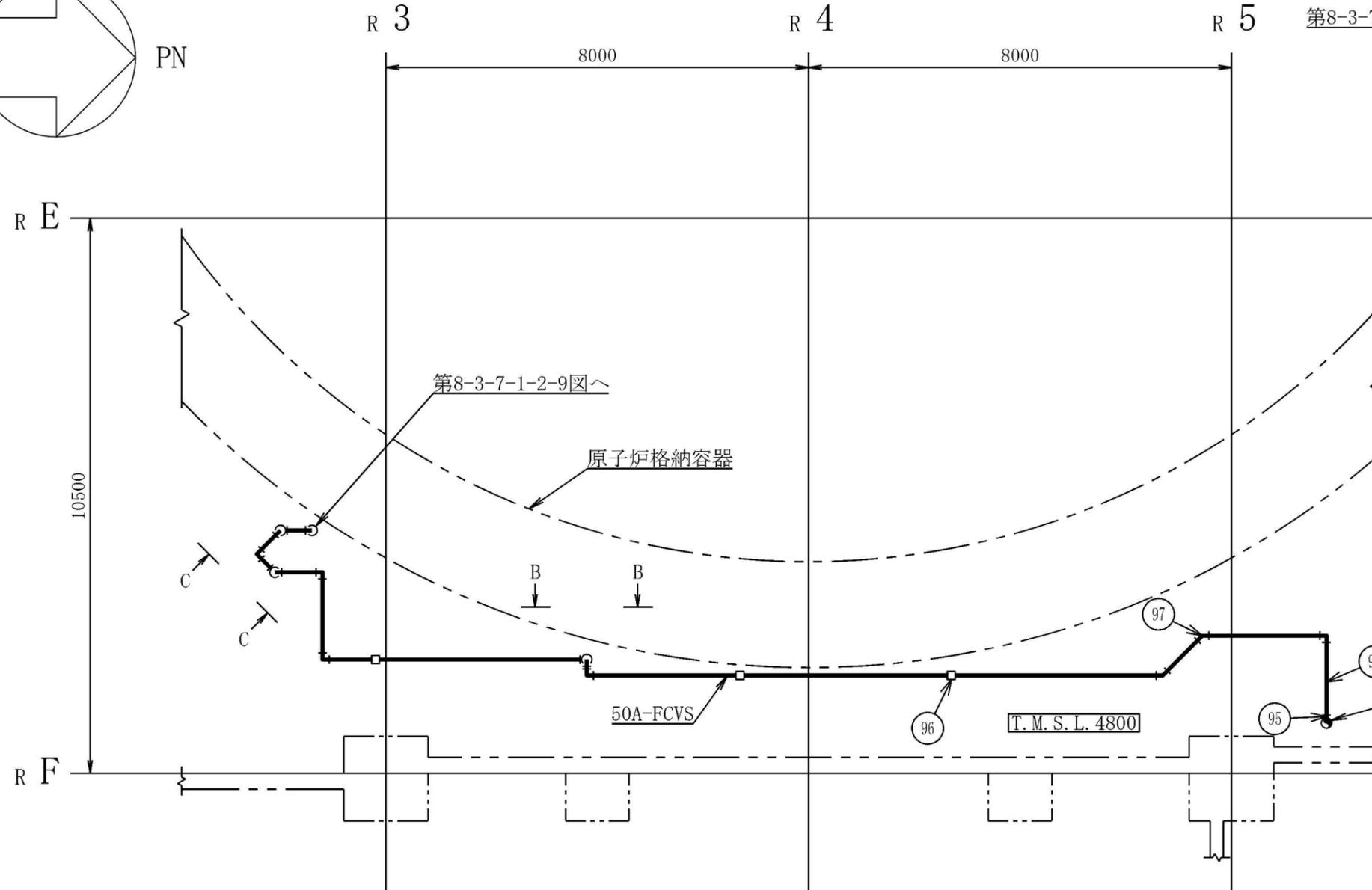
注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

屋外
 原子炉建屋

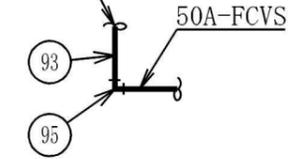
第8-3-7-1-2-7図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その7）
東京電力ホールディングス株式会社	



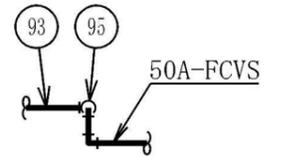
PN



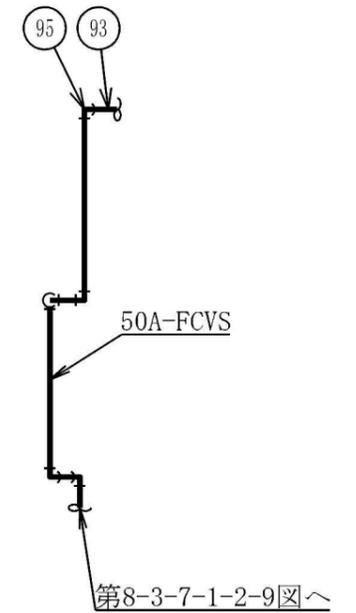
第8-3-7-1-2-7図より



A~A矢視図



B~B矢視図

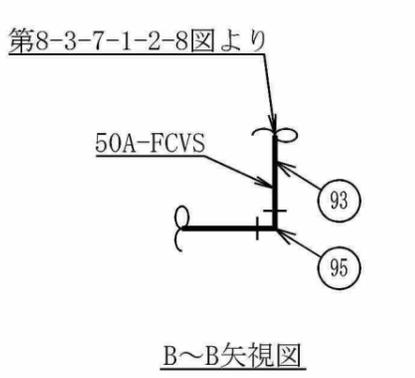
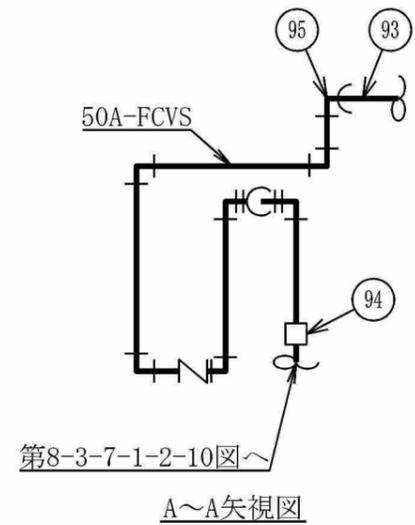
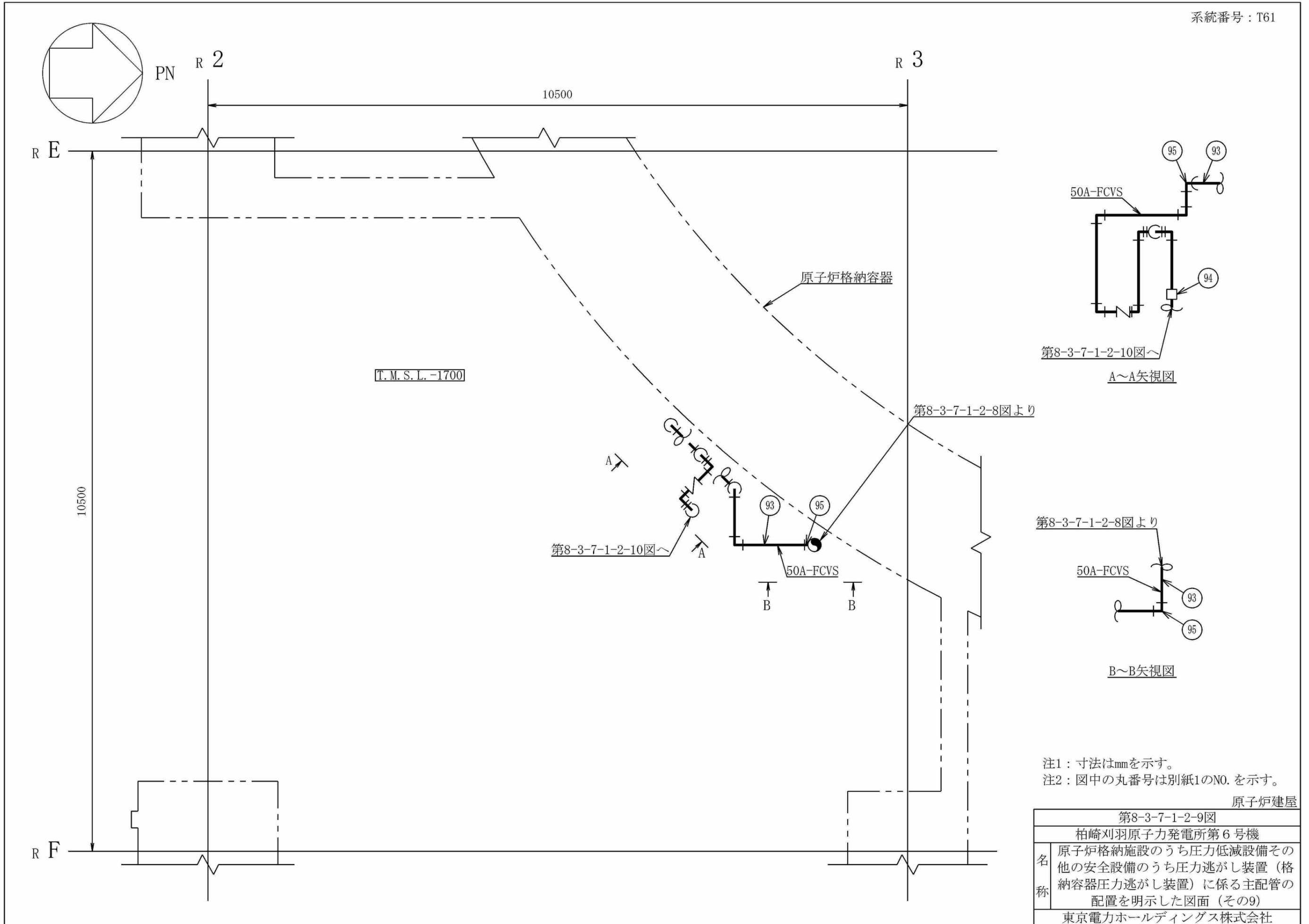


C~C矢視図

注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の丸番号は別紙1のN0.を示す。

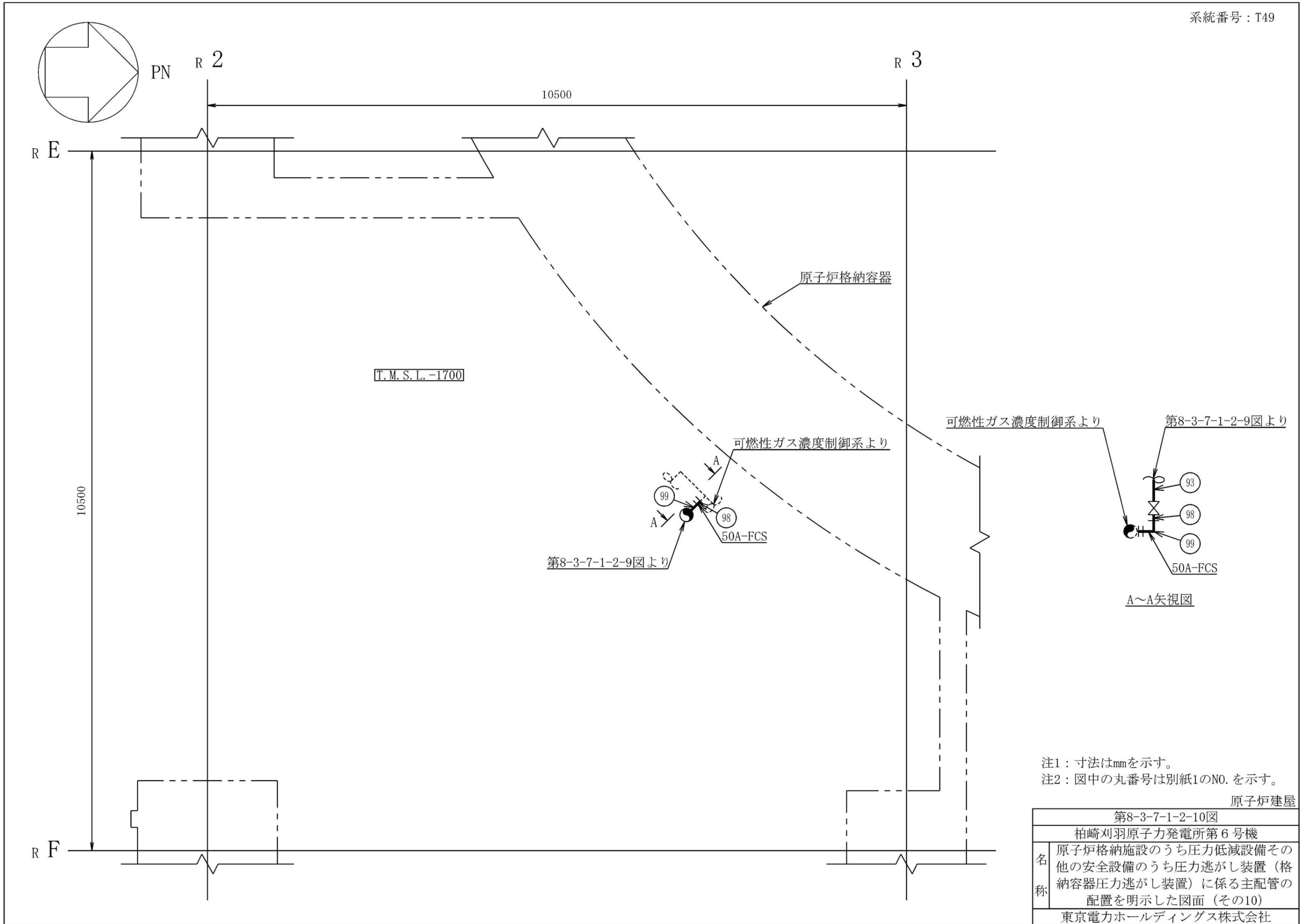
原子炉建屋

第8-3-7-1-2-8図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その8）
東京電力ホールディングス株式会社	



注1：寸法はmmを示す。
注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

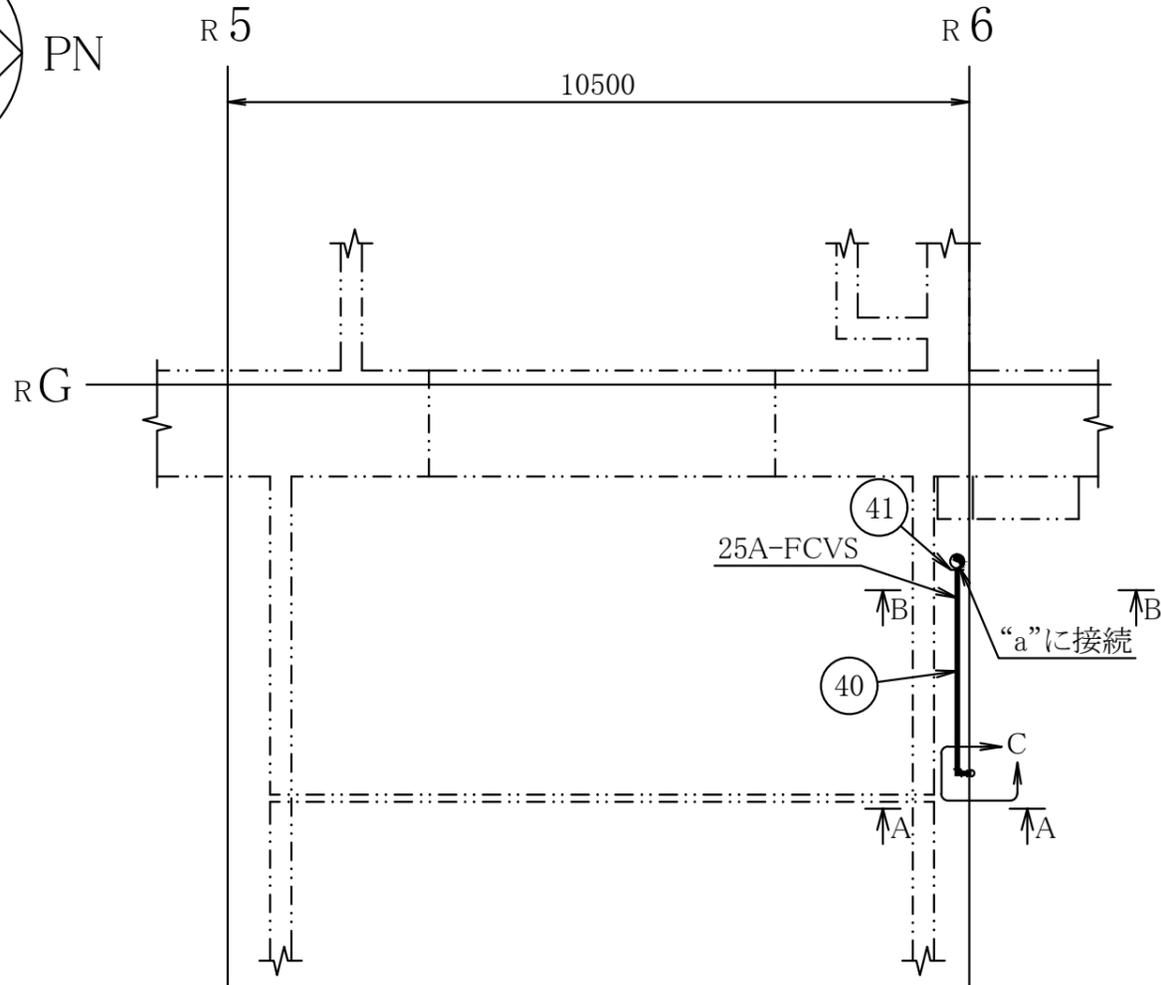
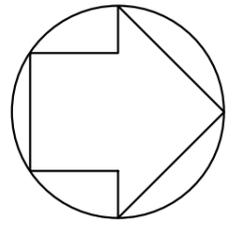
原子炉建屋	
第8-3-7-1-2-9図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その9）
東京電力ホールディングス株式会社	



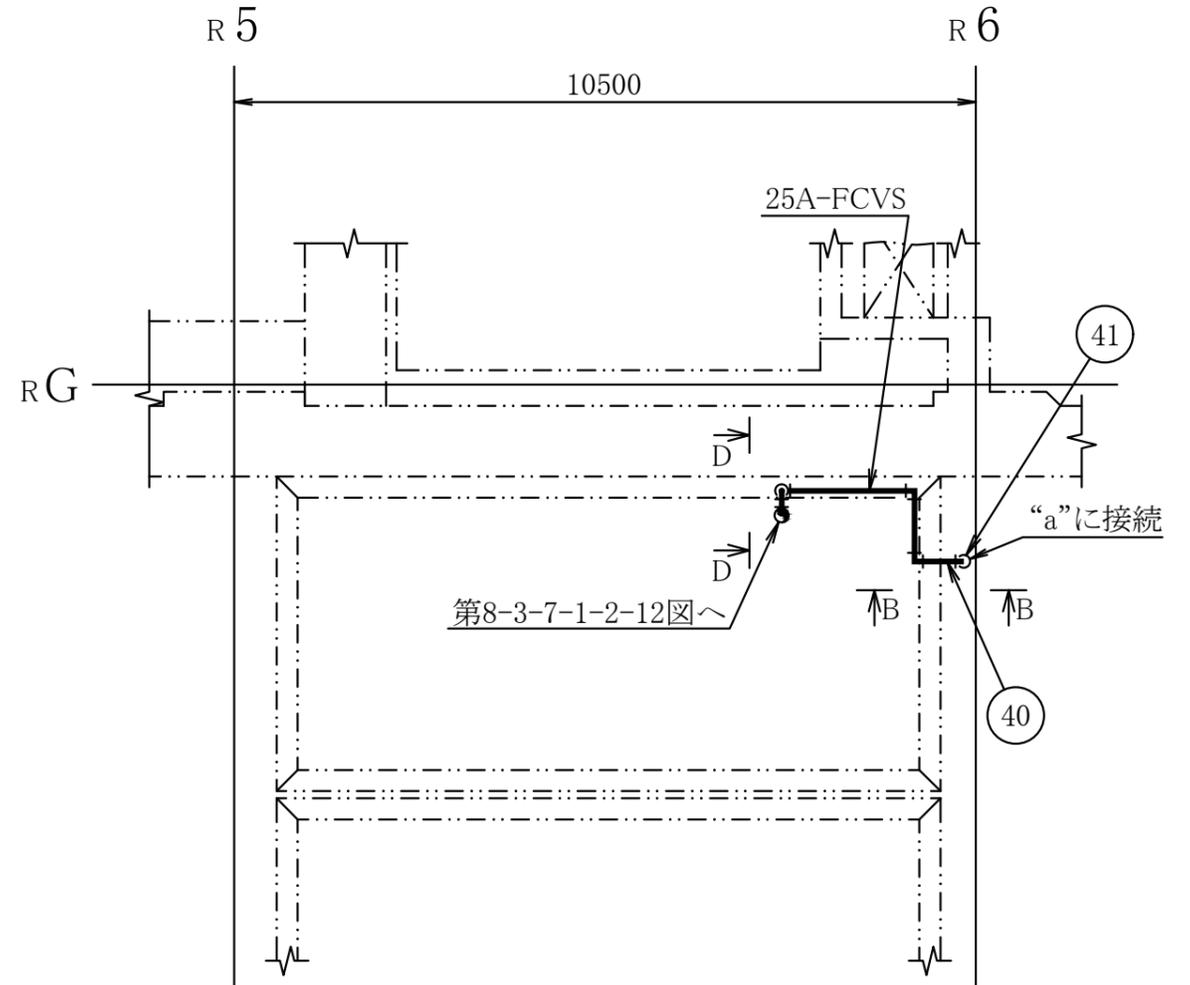
注1：寸法はmmを示す。
 注2：図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

第8-3-7-1-2-10図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面（その10）
東京電力ホールディングス株式会社	

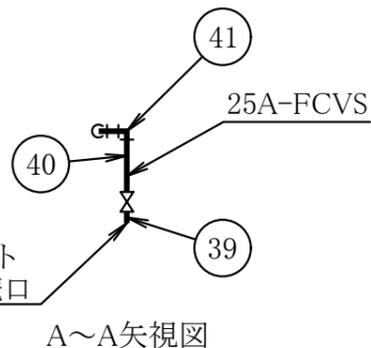


T.M.S.L.12300

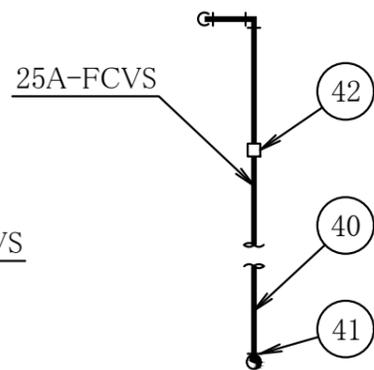


T.M.S.L.19600

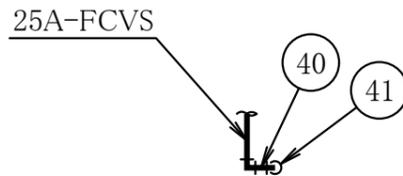
格納容器フィルタベント
窒素パージライン接続口



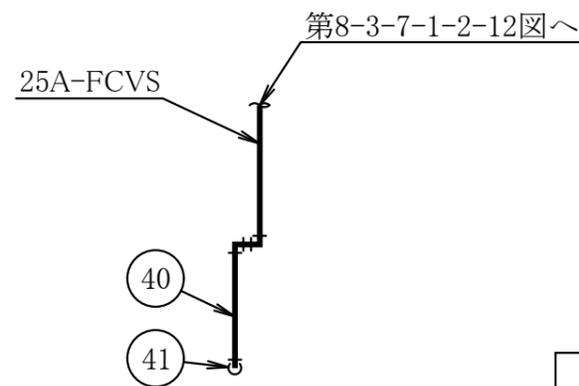
A~A矢視図



B~B矢視図



C部詳細図

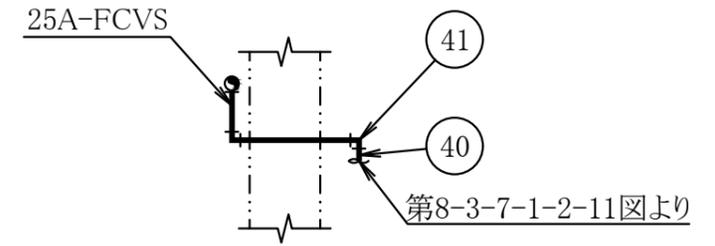
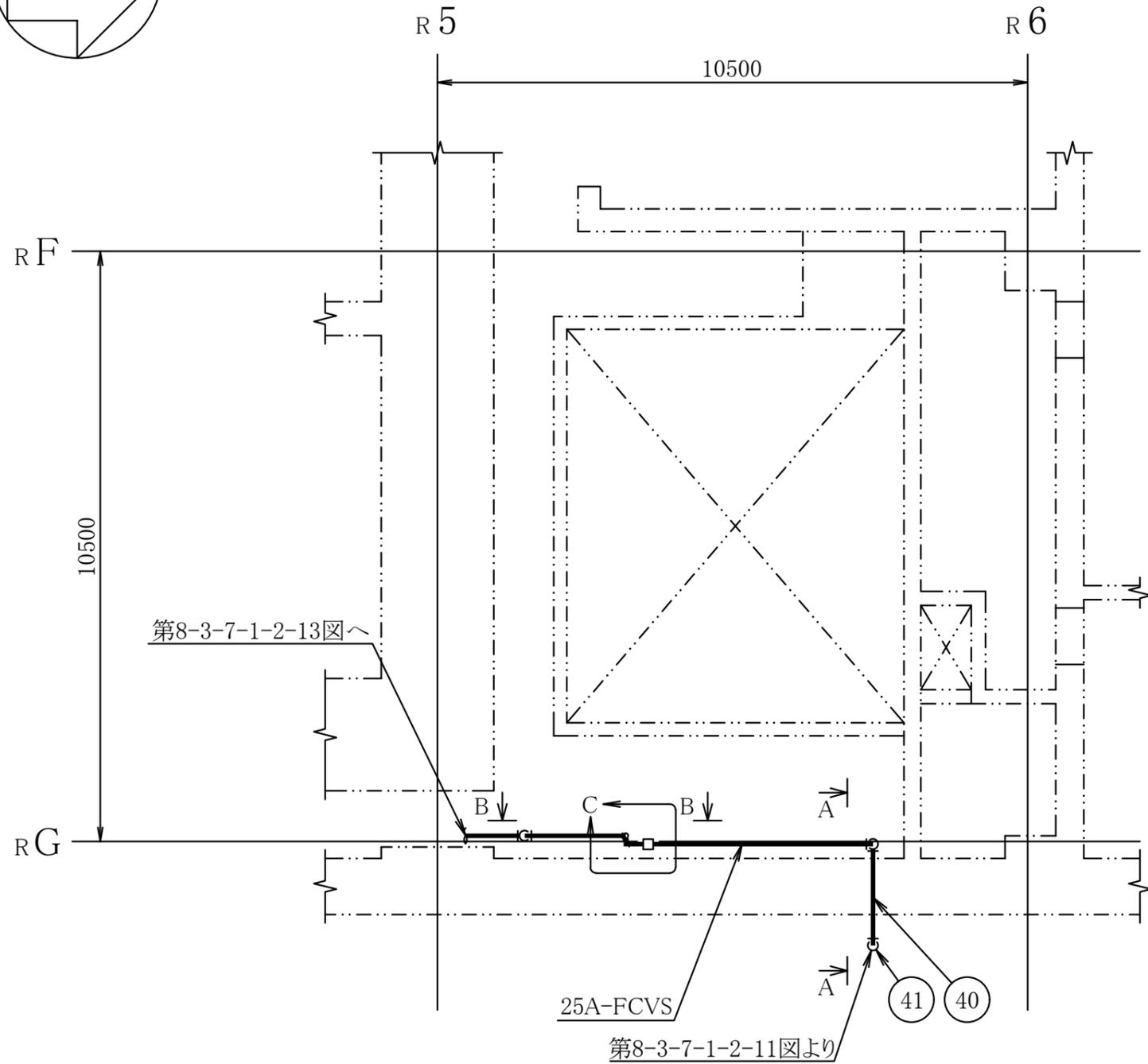
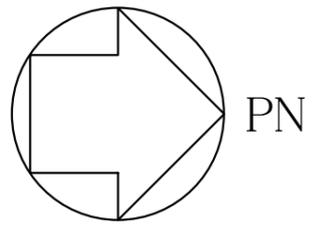


D~D矢視図

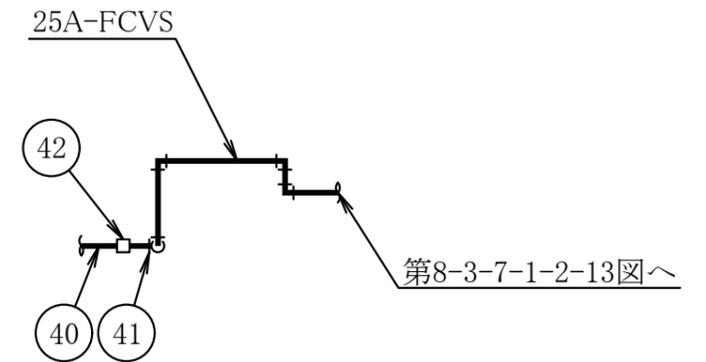
注1: 寸法はmmを示す。
注2: 図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

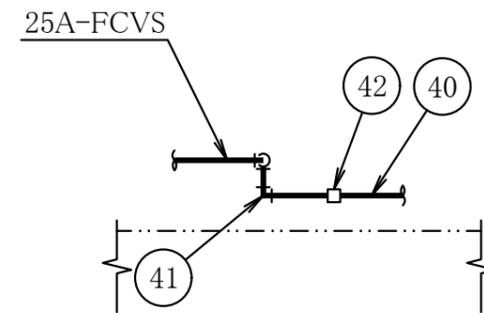
第8-3-7-1-2-11図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置(格納容器圧力逃がし装置)に係る主配管の配置を明示した図面(その11)
称	
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	3821



A~A矢視図



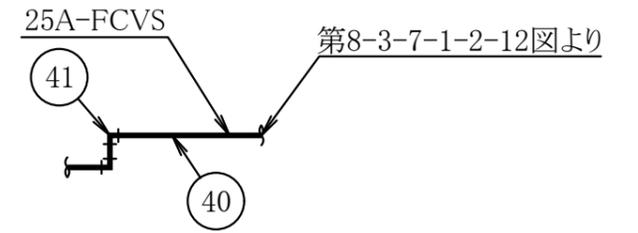
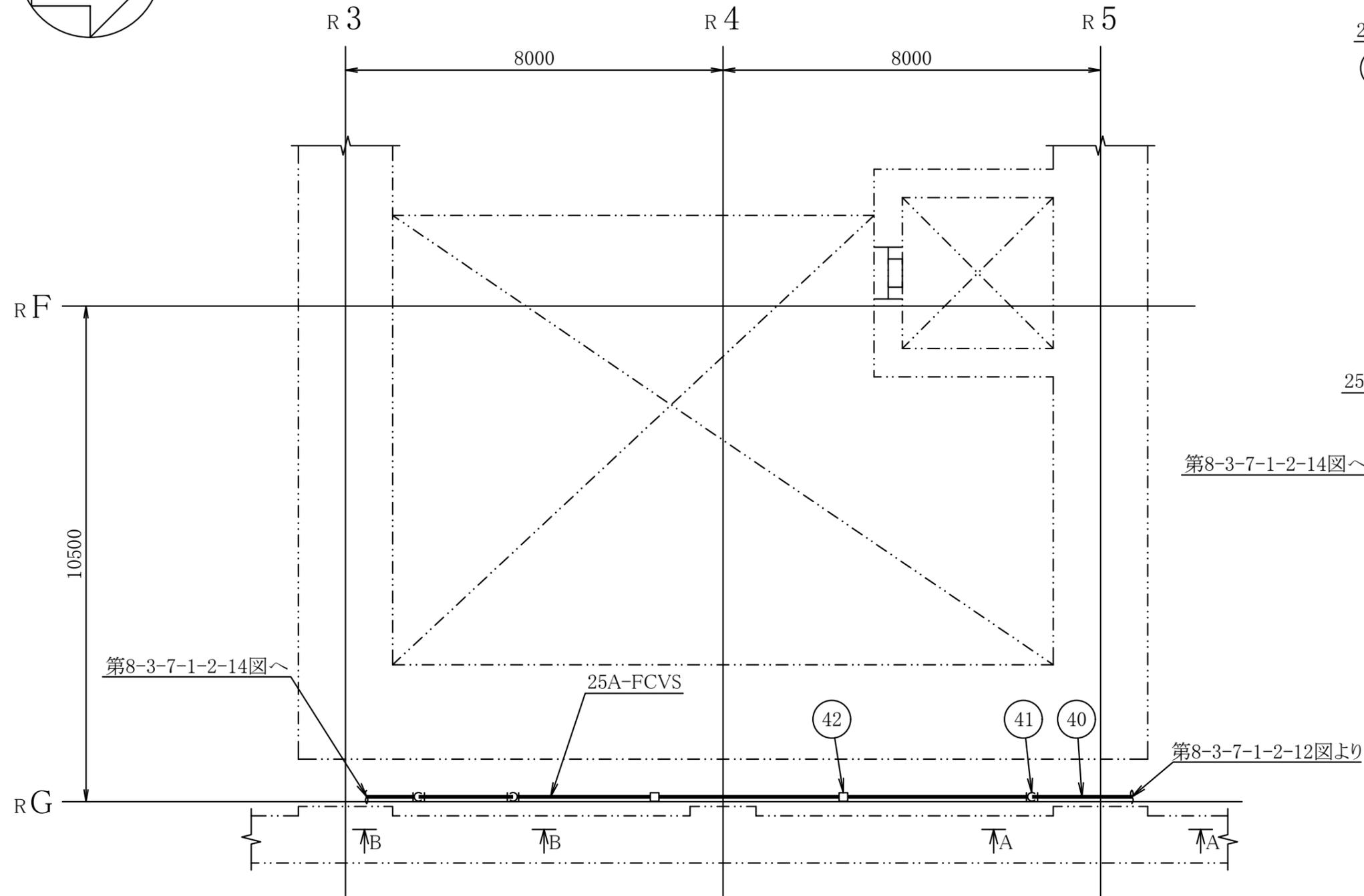
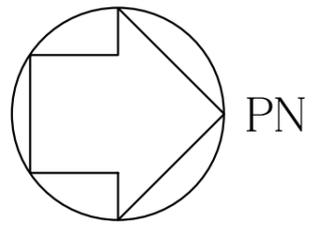
B~B矢視図



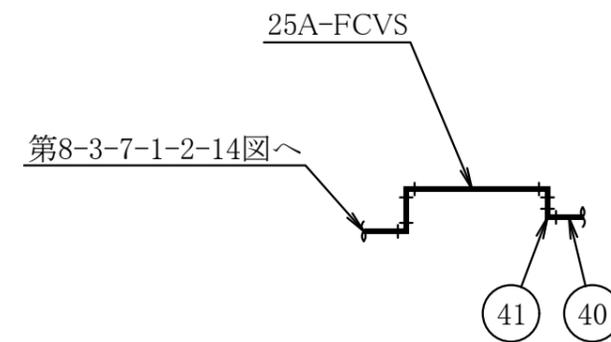
C部詳細図

注1: 寸法はmmを示す。
 注2: 図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋	
第8-3-7-1-2-12図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名 称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置(格納容器圧力逃がし装置)に係る主配管の配置を明示した図面(その12)
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	3821



A~A矢視図

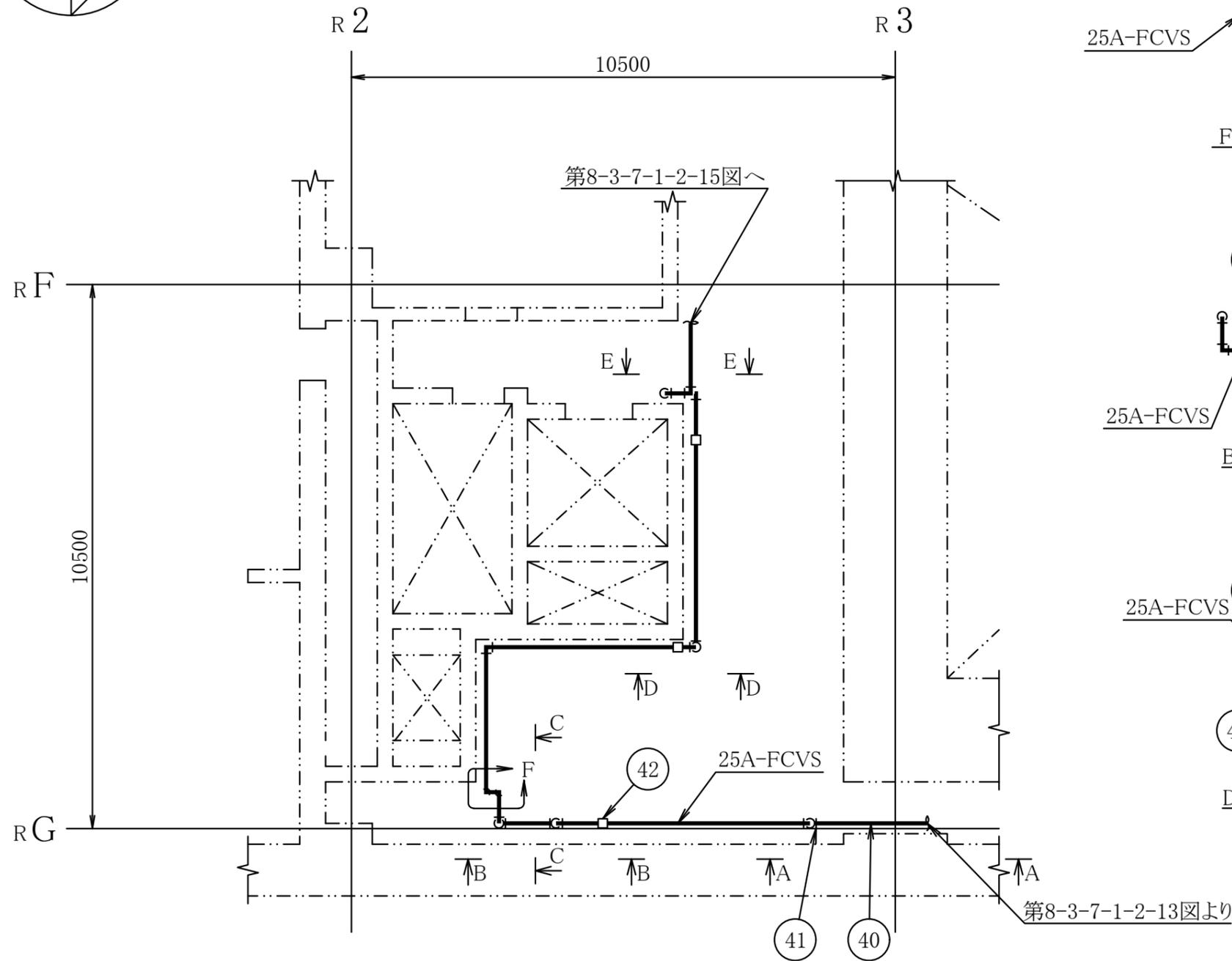
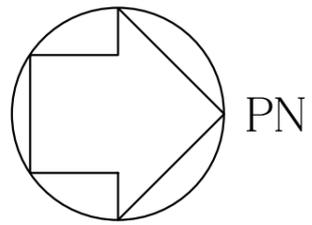


B~B矢視図

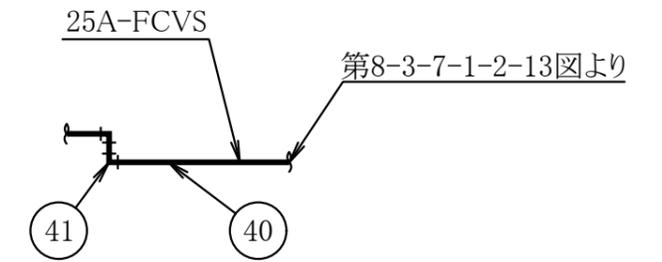
T.M.S.L.23500

注1:寸法はmmを示す。
注2:図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

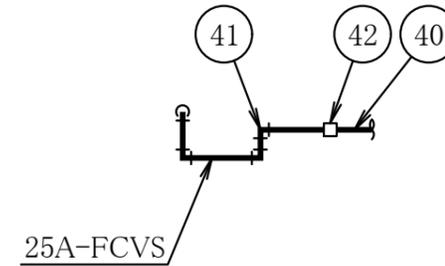
原子炉建屋	
第8-3-7-1-2-13図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置(格納容器圧力逃がし装置)に係る主配管の配置を明示した図面(その13)
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	3821



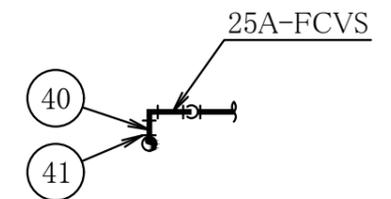
F部詳細図



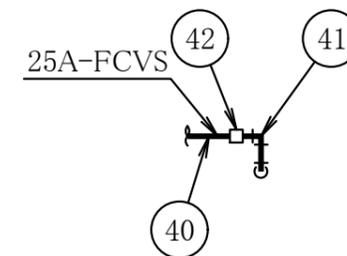
A~A矢視図



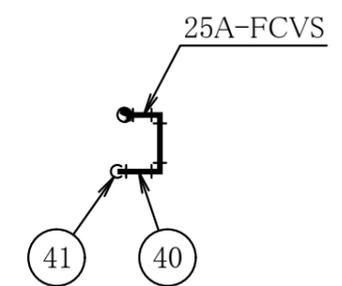
B~B矢視図



C~C矢視図



D~D矢視図



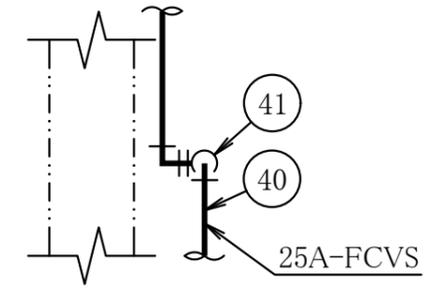
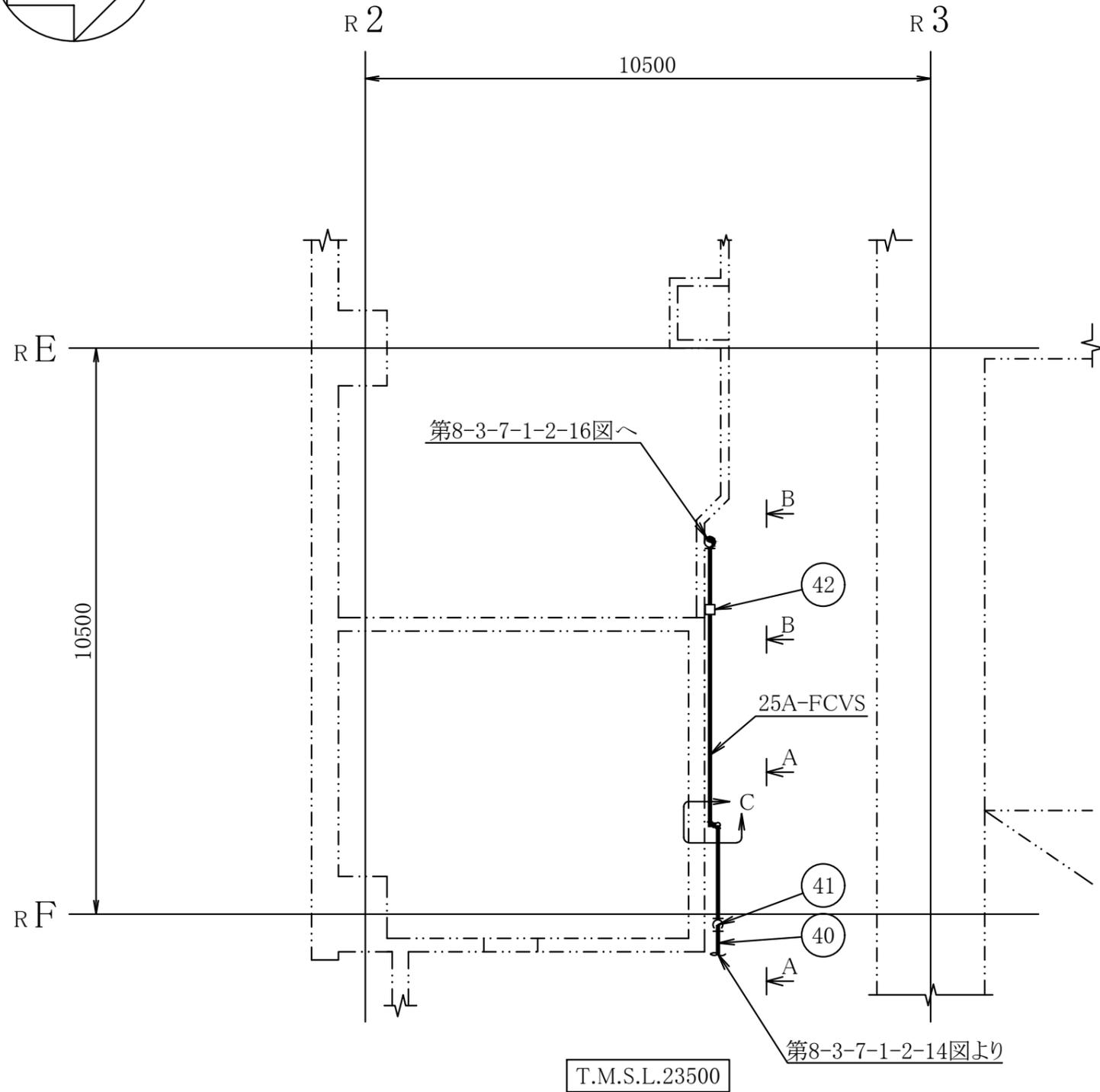
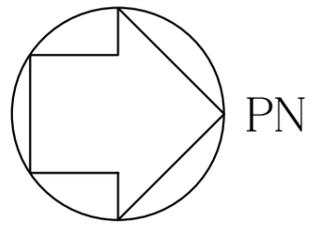
E~E矢視図

T.M.S.L.23500

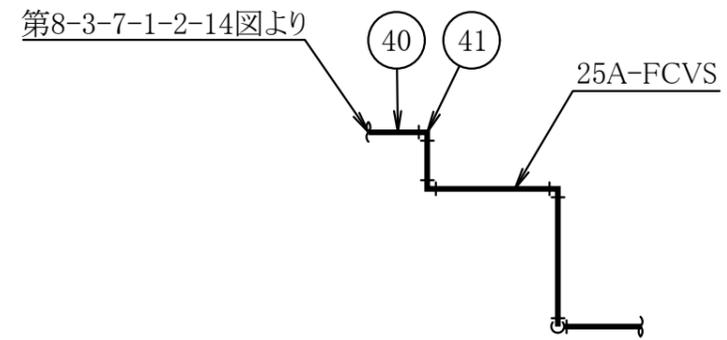
注1: 寸法はmmを示す。
注2: 図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

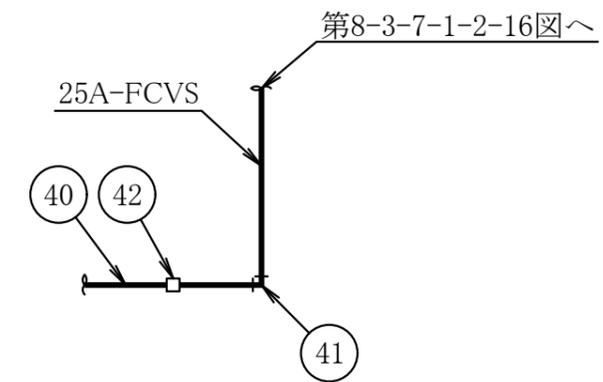
第8-3-7-1-2-14図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置(格納容器圧力逃がし装置)に係る主配管の配置を明示した図面(その14)
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	3821



C部詳細図



A~A矢視図



B~B矢視図

原子炉建屋

第8-3-7-1-2-15図
柏崎刈羽原子力発電所第6号機

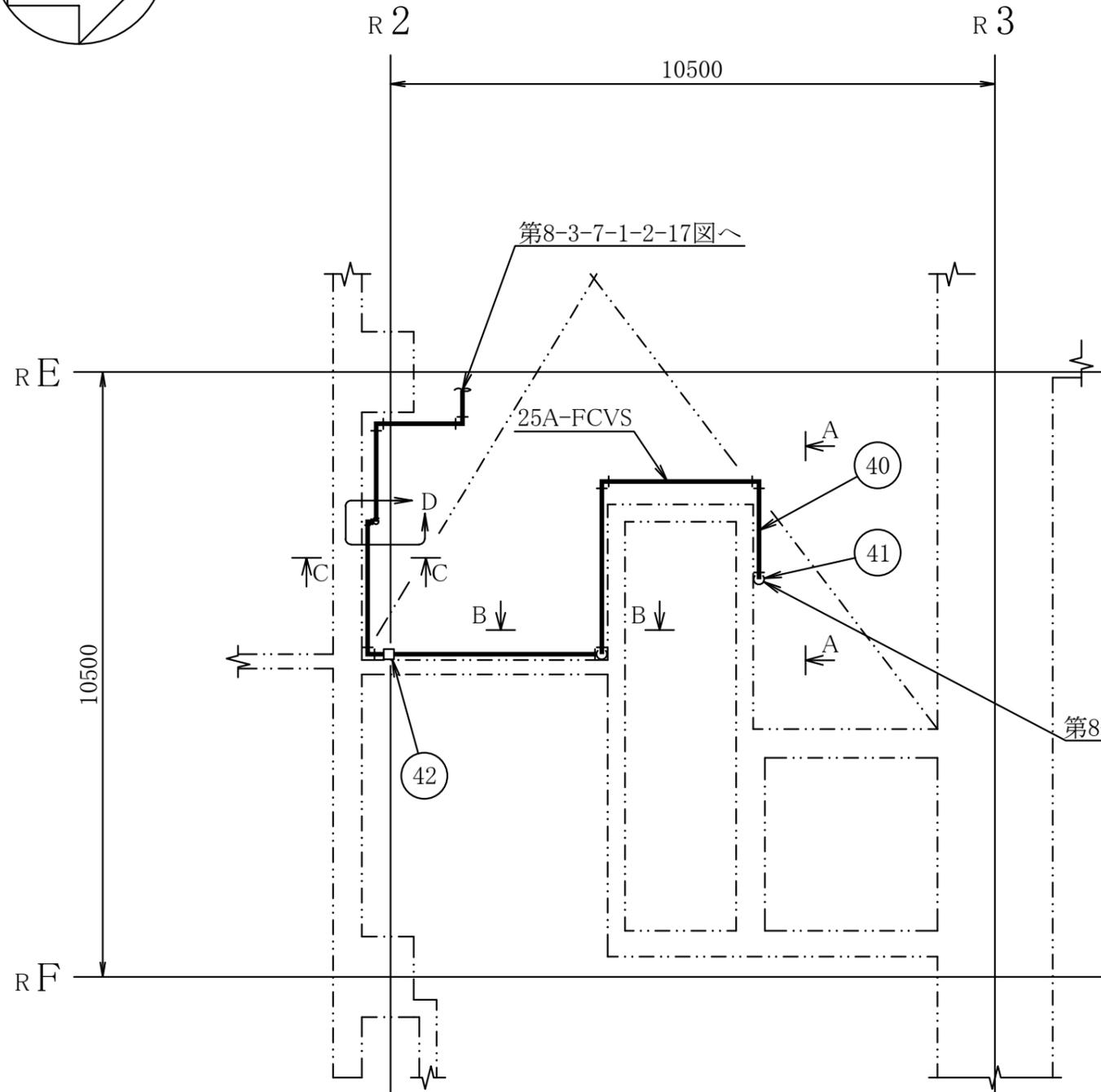
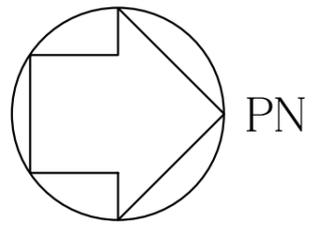
名 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備
称 のうち圧力逃がし装置(格納容器圧力逃がし装置)に係る
主配管の配置を明示した図面(その15)

東京電力ホールディングス株式会社

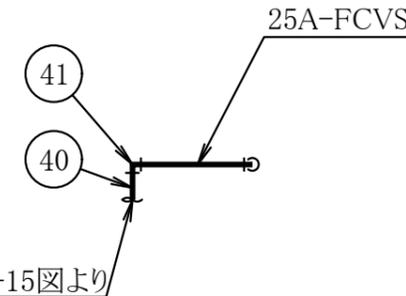
FCVS 3821

注1: 寸法はmmを示す。

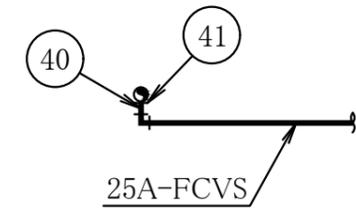
注2: 図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。



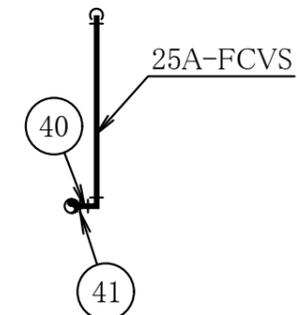
D部詳細図



A~A矢視図



B~B矢視図



C~C矢視図

第8-3-7-1-2-15図より

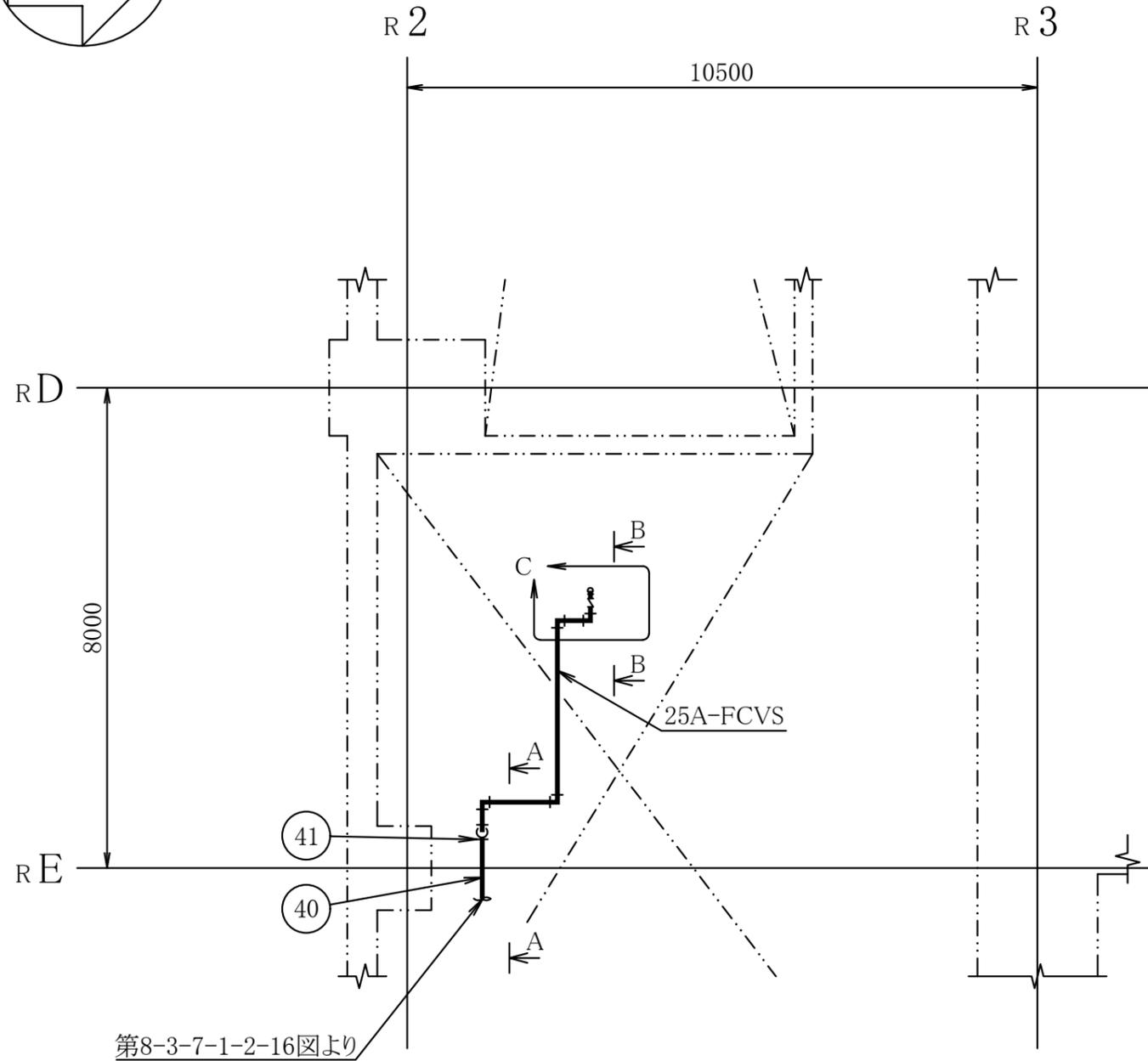
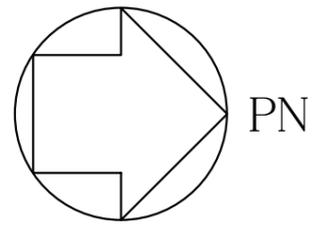
第8-3-7-1-2-15図より

T.M.S.L.27200

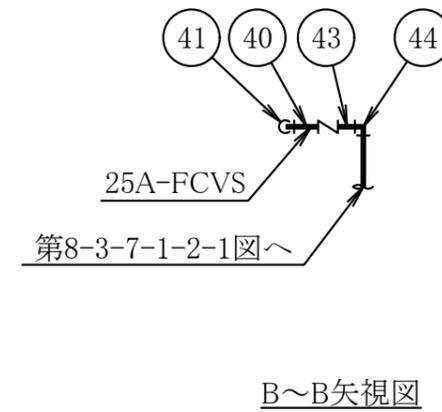
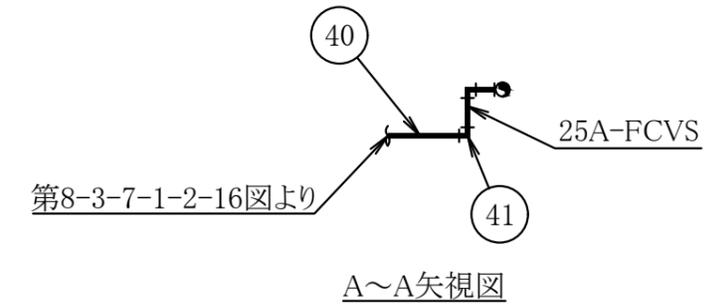
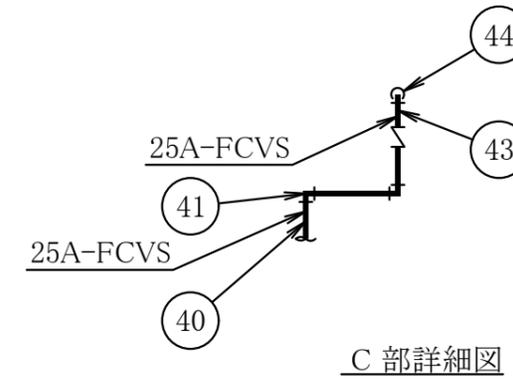
注1:寸法はmmを示す。
 注2:図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

原子炉建屋

第8-3-7-1-2-16図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置(格納容器圧力逃がし装置)に係る主配管の配置を明示した図面(その16)
称	
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	3821



T.M.S.L.27200



注1:寸法はmmを示す。
注2:図中の丸番号は別紙1のNO.を示す。

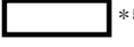
原子炉建屋	
第8-3-7-1-2-17図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名 称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置(格納容器圧力逃がし装置)に係る主配管の配置を明示した図面(その17)
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	3824

第 8-3-7-1-2-1~17 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面 別紙 1
 工事計画抜粋

変 更 前						変 更 後						No. *10
名 称	最高使用 圧 (kPa)	最高使用 温 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	名 称	最高使用 圧 (kPa)	最高使用 温 (℃)	外 径 (mm)	厚 さ (mm)	材 料	
格 納 容 器 圧 力 逃 が し 装 置	—					格納容器フィルタ ベントライン分岐部 ～ 格納容器フィルタ ベントライン窒素 パージライン合流部	620*2 (kPa)	200*2	406.4*3, *4	9.5*3, *4	STPT410*4	1
									406.4 /355.6	9.5 /11.1	STPT410	2
									355.6*3	11.1*3	STPT410	3
						格納容器フィルタ ベントライン窒素 パージライン合流部 ～ フィルタ装置入口 ノズル	620*2 (kPa)	200*2	46.0*3	<input type="text" value="(5.75*3)"/>	S25C	4
									46.0*3	<input type="text" value="(9.4*3)"/>	S25C	5
									355.6*3	11.1*3	STPT410	6
									355.6*3, *4	11.1*3, *4	STPT410*4	7
									406.4 /355.6	9.5 /11.1	STPT410	8
									406.4*3	9.5*3	STPT410	9
									406.4*3, *4	9.5*3, *4	STPT410*4	10
									406.4*3, *4	12.7*3, *4	STPT410*4	11
									406.4*3	12.7*3	STPT370	12
									488.0*3	<input type="text" value="(2.0*3)"/>	SUS316	13
									498.0*3	<input type="text" value="*5(1.2*3×2*5)"/>	SUS316	14
									406.4*3	12.7*3	SUS316LTP	15
									406.4*3, *4	12.7*3, *4	SUS316LTP*4	16

K6 ① 8-3-7-1-2-1~17 R0

変更前						変更後						No. *10	
名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
格納容器 圧力逃がし装置	—	—				格納容器 圧力逃がし装置	フィルタ装置出口 ノズル ～ よう素フィルタ 入口分岐部	620*2 (kPa)	200*2	508.0*3	 (9.53*3)	STPT410 相当 (ASTM A106B)	17
										508.0*3, *4	9.5*3, *4	STPT410*4	18
							よう素フィルタ 入口分岐部	250*2 (kPa)	200*2	508.0*3	 (9.53*3)	STPT410 相当 (ASTM A106B)	19
										508.0*3 /508.0 /508.0	9.5*3 /9.5 /9.5	STPT410	20
							よう素フィルタ 入口分岐部 ～ よう素フィルタ(A) 入口ノズル	250*2 (kPa)	200*2	508.0*3	 (9.53*3)	STPT410 相当 (ASTM A106B)	21
										508.0*3, *4	9.5*3, *4	STPT410*4	22
							よう素フィルタ 入口分岐部 ～ よう素フィルタ(B) 入口ノズル	250*2 (kPa)	200*2	508.0*3	 (9.53*3)	STPT410 相当 (ASTM A106B)	23
										508.0*3, *4	9.5*3, *4	STPT410*4	24
							よう素フィルタ(A) 出口ノズル ～ ベントガス放出ライン 合流部	250*2 (kPa)	200*2	508.0*3	 (9.53*3)	STPT410 相当 (ASTM A106B)	25
										508.0*3, *4	9.5*3, *4	STPT410*4	26
							よう素フィルタ(B) 出口ノズル ～ ドレンタンクライン 分岐部	250*2 (kPa)	200*2	508.0*3	 (9.53*3)	STPT410 相当 (ASTM A106B)	27
										508.0*3, *4	9.5*3, *4	STPT410*4	28
										75.0*3	 (11.15*3)	S25C	29
										75.0*3	 (6.95*3)	S25C	30

変更前						変更後						No. *10
名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
格納容器 圧力逃がし装置						ドレンタンクライン 分岐部 ～ ベントガス放出ライン 合流部	250*2 (kPa)	200*2	508.0*3	 (9.53*3)	STPT410 相当 (ASTM A106B)	31
						ベントガス放出ライン 合流部 ～ 原子炉建屋頂部放出口	250*2 (kPa)	200*2	508.0*3	9.5*3	STPT410	32
									508.0*3	 (9.53*3)	STPT410 相当 (ASTM A106B)	33
									508.0*3, *4	9.5*3, *4	STPT410*4	34
									508.0*3	 (9.5*3)	SM400C	35
									508.0*3	12.0*3	SM400B	36
									588.0*3	 (2.0*3)	SUS316	37
									598.0*3	 *5 (1.2*3×2*5)	SUS316	38
									格納容器フィルタ ベント窒素パージ ライン接続口 ～ 格納容器フィルタ ベントライン窒素 パージライン合流部	620*2 (kPa)	200*2	34.0*3
						34.0*3	3.4*3	SUS304TP				40
						34.5*3, *4, *7	5.0*4, *8	SUS304*4				41
						34.5*3, *7	5.0*8	SUS304				42
						34.0*3	3.4*3	STPT410				43
						34.5*3, *4, *7	5.0*4, *8	SFVC2A*4	44			
						ドレンタンクライン 分岐部 ～ ドレンタンク入口 ノズル	250*2 (kPa)	200*2	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP	45
					61.1*3, *4, *7				6.1*4, *8	SUSF316L*4	46	

変更前						変更後						No. *10
名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
格納容器 圧力逃がし装置	—					ドレンタンク出口 ノズル ～ ドレン移送ポンプ 入口ライン合流部	250*2 (kPa)	200*2	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP	47
							61.1*3, *4, *7		6.1*4, *8	SUSF316L*4	48	
							620*2 (kPa)	200*2	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP	49
						フィルタ装置 ～ ドレン移送ポンプ 入口ライン合流部	620*2 (kPa)		200*2	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP
								61.1*3, *4, *7		6.1*4, *8	SUSF316L*4	51
						ドレン移送ポンプ 入口ライン合流部 ～ ドレン移送ポンプ 分岐部	620*2 (kPa)	200*2	61.1 /61.1 /61.1	6.1 /6.1 /6.1	SUSF316L	52
									60.5*3	3.9*3	SUS316LTP	53
									61.1*3, *4, *7	6.1*4, *8	SUSF316L*4	54
									61.1*3, *4, *7	6.1*4, *8	SUS316L*4	55
									61.1*3, *7	6.1*8	SUS316L	56
									61.1 /61.1 /61.1	6.1 /6.1 /6.1	SUS316L	57
						ドレン移送ポンプ 分岐部 ～ ドレン移送ポンプ(A)	620*2 (kPa)	200*2	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP	58
									60.5*3	3.9*3	SUS316LTP	59
							620*2 (kPa)	150*2	60.5*3	<input type="text" value=""/> (3.9*3)	SUSF316L	60
									90.0*3	<input type="text" value=""/> (1.0*3)	SUS316L	61

変更前						変更後						No. *10	
名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料		
格納容器 圧力逃がし装置	—	—	—	—	—	ドレン移送ポンプ*1 分岐部 ～ ドレン移送ポンプ(B)	620*2 (kPa)	200*2	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP	62	
							620*2 (kPa)	150*2	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP	63	
									60.5*3	□(3.9*3)	SUSF316L	64	
							ドレン移送ポンプ*1 (A) ～ ドレン移送ポンプ 出口合流部	1.0*2 (MPa)	150*2	90.0*3	□(1.0*3)	SUS316L	65
										48.6*3	□(5.1*3)	SUSF316L	66
							ドレン移送ポンプ(B)*1 ～ ドレン移送ポンプ 出口合流部	1.0*2 (MPa)	150*2	60.0*3	□(0.8*3)	SUS316L	67
						48.6*3				3.7*3	SUS316LTP	68	
						49.1*3, *4, *7				5.6*4, *8	SUS316L*4	69	
						61.1*3, *7 /49.1				6.1*8 /5.6	SUS316L	70	
						60.5*3				3.9*3	SUS316LTP	71	
						61.1*3, *4, *7				6.1*4, *8	SUS316L*4	72	
						61.1*3, *7 /61.1 /—				6.1*8 /6.1 /—	SUS316L	73	
						(次頁へ続く)				1.0*2 (MPa)	150*2	48.6*3	□(5.1*3)
							60.0*3	□(0.8*3)	SUS316L			75	
							48.6*3	3.7*3	SUS316LTP			76	
							49.1*3, *4, *7	5.6*4, *8	SUS316L*4			77	
							61.1*3, *7 /49.1	6.1*8 /5.6	SUS316L			78	

変更前						変更後						No. *10
名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧 (MPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	
格納容器 圧力逃がし装置	—					(前頁からの続き)	1.0*2 (MPa)	150*2	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP	79
									61.1*3, *4, *7	6.1*4, *8	SUS316L*4	80
						ドレン移送ポンプ*1 出口合流部 ～ ドレン移送ポンプ窒素 パージライン合流部	1.0*2 (MPa)	150*2	61.1*3, *7	6.1*8	SUS316L	81
									/61.1	/6.1		
									/61.1	/6.1		
						ドレン移送ポンプ窒素 パージライン合流部 ～ T49-F020	1.0*2 (MPa)	150*2	60.5*3	3.9*3	SUS316LTP	82
									61.1*3, *4, *7	6.1*4, *8	SUS316L*4	83
									60.5*3	3.9*3	SUS316LTP	84
						(次頁へ続く)	1.0*2 (MPa)	150*2	46.0*3	 (5.75*3)	SUS316L	85
									46.0*3	 (9.4*3)	SUS316L	86
									61.1*3, *4, *7	6.1*4, *8	SUS316L*4	87
									60.5*3	5.5*3	SUS316LTP	88
									96.0*3	 *5 (0.6*3×2*5)	SUS316L	89
									96.0*3	 *9 (0.6*3×3*9)	SUS316L	90
									61.1*3, *4, *7	6.1*4, *8	SUSF316L*4	91
61.1*3, *7	6.1*8	SUSF316L	92									

変更前						変更後						No. *10				
名称	最高使用圧 (kPa)	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料	名称	最高使用圧	最高使用温度 (°C)	外径 (mm)	厚さ (mm)	材料					
格納容器圧力逃がし装置						格納容器圧力逃がし装置	(前頁からの続き)					93				
							60.5*3	3.9*3	SUS316LTP							
							61.1*3, *7	6.1*8	SUSF316L	94						
							61.1*3, *4, *7	6.1*4, *8	SUSF316L*4	95						
							61.1*3, *7	6.1*8	SUS316L	96						
61.1*3, *4, *7	6.1*4, *8	SUS316L*4	97													
可燃性ガス濃度制御系						可燃性ガス濃度制御系	T49-F020*1 ～ フィルタベントドレン 移送ライン合流部					98				
							60.5*3	3.9*3	STPT410							
格納容器圧力逃がし装置						格納容器圧力逃がし装置	ドレン移送ライン窒素 パージライン接続口*6 ～ ドレン移送ポンプ窒素 パージライン合流部					100				
							500*2 (kPa)	66*2	SUS316LTP							
							34.5*3, *4, *7	5.0*4, *8	SUS316L*4	101						
							1.0*2 (MPa)	150*2	SUS316LTP	102						
							34.5*3, *4, *7	5.0*4, *8	SUS316L*4	103						
							フィルタ装置補給用 接続口*1 ～ フィルタ装置					66*2	76.3*3	5.2*3	SUS316LTP	104
							2.0*2 (MPa)	76.3*3, *4	5.2*3, *4	SUS316LTP*4	105					
							620*2 (kPa)	200*2	SUS316LTP	106						
							76.3*3, *4	5.2*3, *4	SUS316LTP*4	107						

注記*1 : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）及び圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）と兼用。

- *2 : 重大事故等時における使用時の値。
- *3 : 公称値を示す。
- *4 : エルボを示す。
- *5 : 2層を示す。
- *6 : 圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）と兼用。
- *7 : 差込み継手の差込み部内径を示す。
- *8 : 差込み継手の最小厚さを示す。
- *9 : 3層を示す。
- *10 : 第 8-3-7-1-2-1～12 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面に記載の丸番号を示す。

第 8-3-7-1-2-1~17 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）に係る主配管の配置を明示した図面 別紙 2

工事計画記載の公称値の許容範囲

[主配管]

管 NO. 1*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	406.4	±0.8%	J I S G 3 4 5 6 による材料公差
厚さ	9.5	±12.5%	同上

管 NO. 1*¹ - 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	406.4	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 2 による材料公差
厚さ	9.5	+規定しない -12.5%	同上

管 NO. 2*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	355.6	±0.8%	J I S G 3 4 5 6 による材料公差
厚さ	11.1	±12.5%	同上

管 NO. 2*¹ - 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	355.6	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 2 による材料公差
厚さ	11.1	+規定しない -12.5%	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO.3*1

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	46.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	5.75	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

管NO.4*1

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	46.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	9.4	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

管NO.5*1- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	406.4	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 2 による材料公差
厚さ	12.7	+規定しない -12.5%	同上

管NO.6*1

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	406.4	±0.8%	J I S G 3 4 5 6 による材料公差
厚さ	12.7	±12.5%	同上

管NO.7*1

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	406.4	±1%	J I S G 3 4 5 9 による材料公差
厚さ	12.7	±12.5%	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO.7*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	406.4	+4.0mm -3.2mm	J I S B 2 3 1 2による材料公差
厚さ	12.7	+規定しない -12.5%	同上

管NO.8*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	508.0	+3.19mm -0.79mm	米国試験材料協会 高温配管継目無炭素鋼 鋼管 (ASTM A106B) による材料公差
厚さ	9.53	+規定しない -12.5%	同上

管NO.9*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	508.0	+6.4mm -4.8mm	J I S B 2 3 1 2による材料公差
厚さ	9.5	+規定しない -12.5%	同上

管NO.10*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	508.0	+3.19mm -0.79mm	米国試験材料協会 高温配管継目無炭素鋼 鋼管 (ASTM A106B) による材料公差
厚さ	9.53	+規定しない -12.5%	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO. 11*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	508.0	+6.4mm -4.8mm	J I S B 2 3 1 2による材料公差
厚さ	9.5	+規定しない -12.5%	同上

管NO. 12*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	75.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	11.15	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

管NO. 13*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	75.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	6.95	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

管NO. 14*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	508.0	<input type="text"/> %	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	9.5	<input type="text"/> % <input type="text"/> %	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO. 15*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	508.0	<input type="text"/> %	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	12.0	<input type="text"/> % <input type="text"/> %	同上

管NO. 16*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.0	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.4	±0.5mm	同上

管NO. 17*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.0	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.4	±0.5mm	同上

管NO. 18*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.5* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	5.0* ²	最小5.0mm	同上

管NO. 19*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.5* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	5.0* ²	最小5.0mm	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO.20*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.0	±0.5mm	J I S G 3 4 5 6による材料公差
厚さ	3.4	±0.5mm	同上

管NO.21*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.5* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	5.0* ²	最小 5.0mm	同上

管NO.22*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.9	±0.5mm	同上

管NO.23*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	6.1* ²	最小 6.1mm	同上

管NO.24*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.9	±0.5mm	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO.25*1- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1*2	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	6.1*2	最小 6.1mm	同上

管NO.26*1- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1*2	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	6.1*2	最小 6.1mm	同上

管NO.27*1- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1*2	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	6.1*2	最小 6.1mm	同上

管NO.28*1

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.9	±0.5mm	同上

管NO.29*1

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	60.5	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	3.9	<input type="text"/> <input type="text"/> %	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO. 30*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	48.6	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	5.1	<input type="text"/> <input type="text"/> %	同上

管NO. 31*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	48.6	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.7	±0.5mm	同上

管NO. 32*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	49.1* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	5.6* ²	最小 5.6mm	同上

管NO. 33*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	49.1* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	5.6* ²	最小 5.6mm	同上

管NO. 34*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	6.1	最小 6.1mm	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO. 35*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.9	±0.5mm	同上

管NO. 36*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	6.1* ²	最小 6.1mm	同上

管NO. 37*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	46.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	5.75	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

管NO. 38*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	46.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	9.4	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

管NO. 39*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	5.5	±12.5%	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO. 40*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6 による材料公差
厚さ	6.1* ²	最小 6.1mm	同上

管NO. 41*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6 による材料公差
厚さ	6.1* ²	最小 6.1mm	同上

管NO. 42*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 9 による材料公差
厚さ	3.9	±0.5mm	同上

管NO. 43*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6 による材料公差
厚さ	6.1* ²	最小 6.1mm	同上

管NO. 44*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6 による材料公差
厚さ	6.1* ²	最小 6.1mm	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO. 45^{*1}- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1 ^{*2}	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6 による材料公差
厚さ	6.1 ^{*2}	最小 6.1mm	同上

管NO. 46^{*1}- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1 ^{*2}	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6 による材料公差
厚さ	6.1 ^{*2}	最小 6.1mm	同上

管NO. 47^{*1}- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1 ^{*2}	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6 による材料公差
厚さ	6.1 ^{*2}	最小 6.1mm	同上

管NO. 48^{*1}

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	60.5	±1%	J I S G 3 4 5 6 による材料公差
厚さ	3.9	±0.5mm	同上

管NO. 49^{*1}- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	61.1 ^{*2}	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6 による材料公差
厚さ	6.1 ^{*2}	最小 6.1mm	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO. 50*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.0	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.4	±0.5mm	同上

管NO. 51*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.5* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	5.0* ²	最小 5.0mm	同上

管NO. 52*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.0	±0.5mm	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	3.4	±0.5mm	同上

管NO. 53*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	34.5* ²	+0.3mm 0mm	J I S B 2 3 1 6による材料公差
厚さ	5.0* ²	最小 5.0mm	同上

管NO. 54*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	76.3	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	5.2	±12.5%	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

管NO.54*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	76.3	+1.6mm -0.8mm	J I S B 2 3 1 2による材料公差
厚さ	5.2	+規定なし -12.5%	同上

管NO.55*¹

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	76.3	±1%	J I S G 3 4 5 9による材料公差
厚さ	5.2	±12.5%	同上

管NO.55*¹- 管継手

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	76.3	+1.6mm -0.8mm	J I S B 2 3 1 2による材料公差
厚さ	5.2	+規定なし -12.5%	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

伸縮継手NO. E1*3

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	488.0	<input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	2.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

伸縮継手NO. E2*3

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	498.0	<input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	1.2	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

伸縮継手NO. E3*3

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	588.0	<input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	2.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

伸縮継手NO. E4*3

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	598.0	<input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	1.2	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

伸縮継手NO. E5*3

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	90.0	<input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	1.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

伸縮継手NO. E6*3

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	60.0	<input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	0.8	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

伸縮継手NO. E7*3

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	96.0	<input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	0.6	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

伸縮継手NO. E8*3

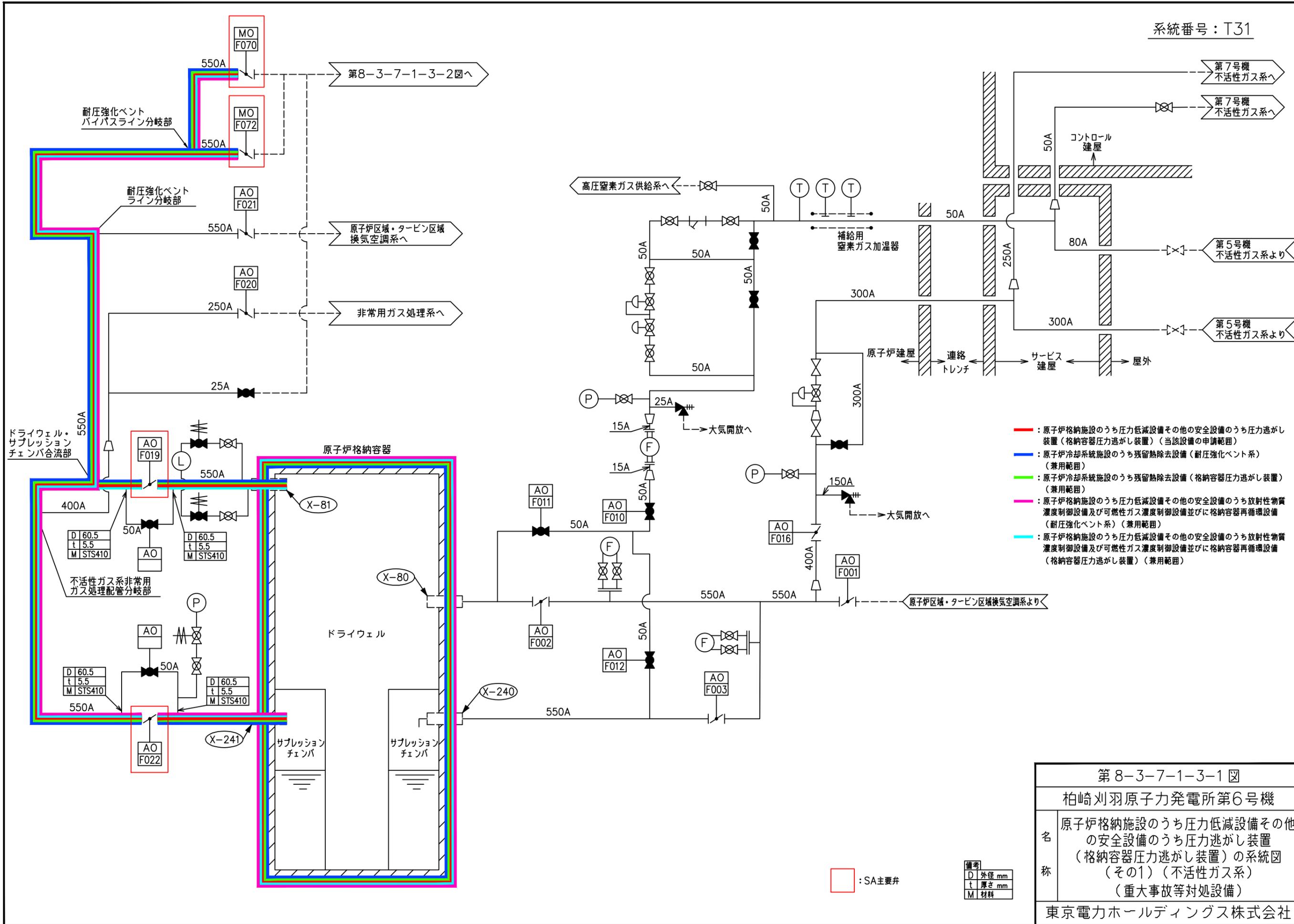
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
外径	96.0	<input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
厚さ	0.6	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

注：主要寸法は，工事計画記載の公称値

注記*1：管の基本板厚計算書のNO.を示す。

*2：差込み継手の差込み部内径及び最小厚さ。

*3：伸縮継手の強度計算書の伸縮継手NO.を示す。

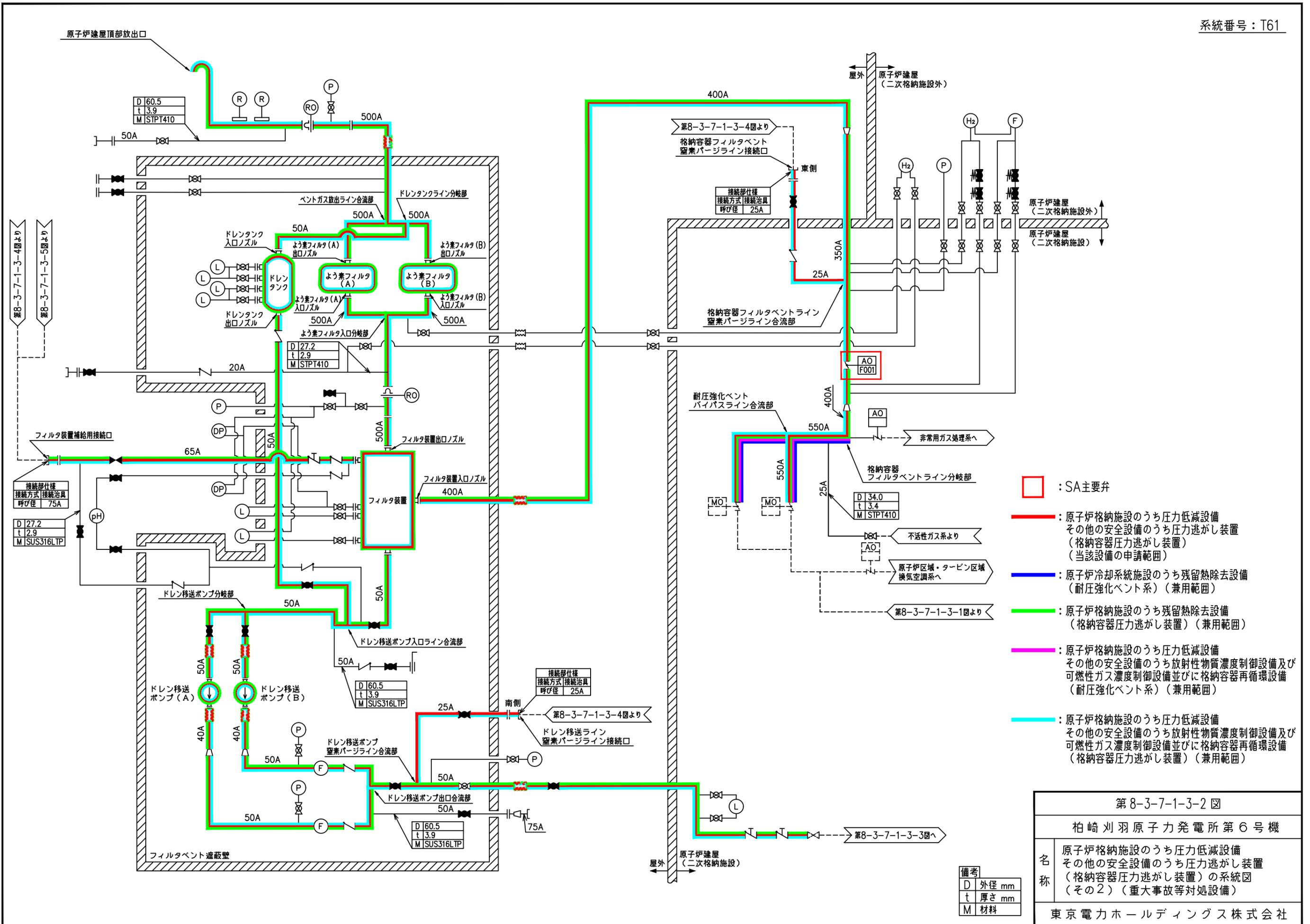


- 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）（当該設備の申請範囲）
- 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（耐圧強化ベント系）（兼用範囲）
- 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）
- 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（耐圧強化ベント系）（兼用範囲）
- 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）

第8-3-7-1-3-1 図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その1）（不活性ガス系）（重大事故等対処設備）
東京電力ホールディングス株式会社	

備考
 D 外径 mm
 t 厚さ mm
 M 材料

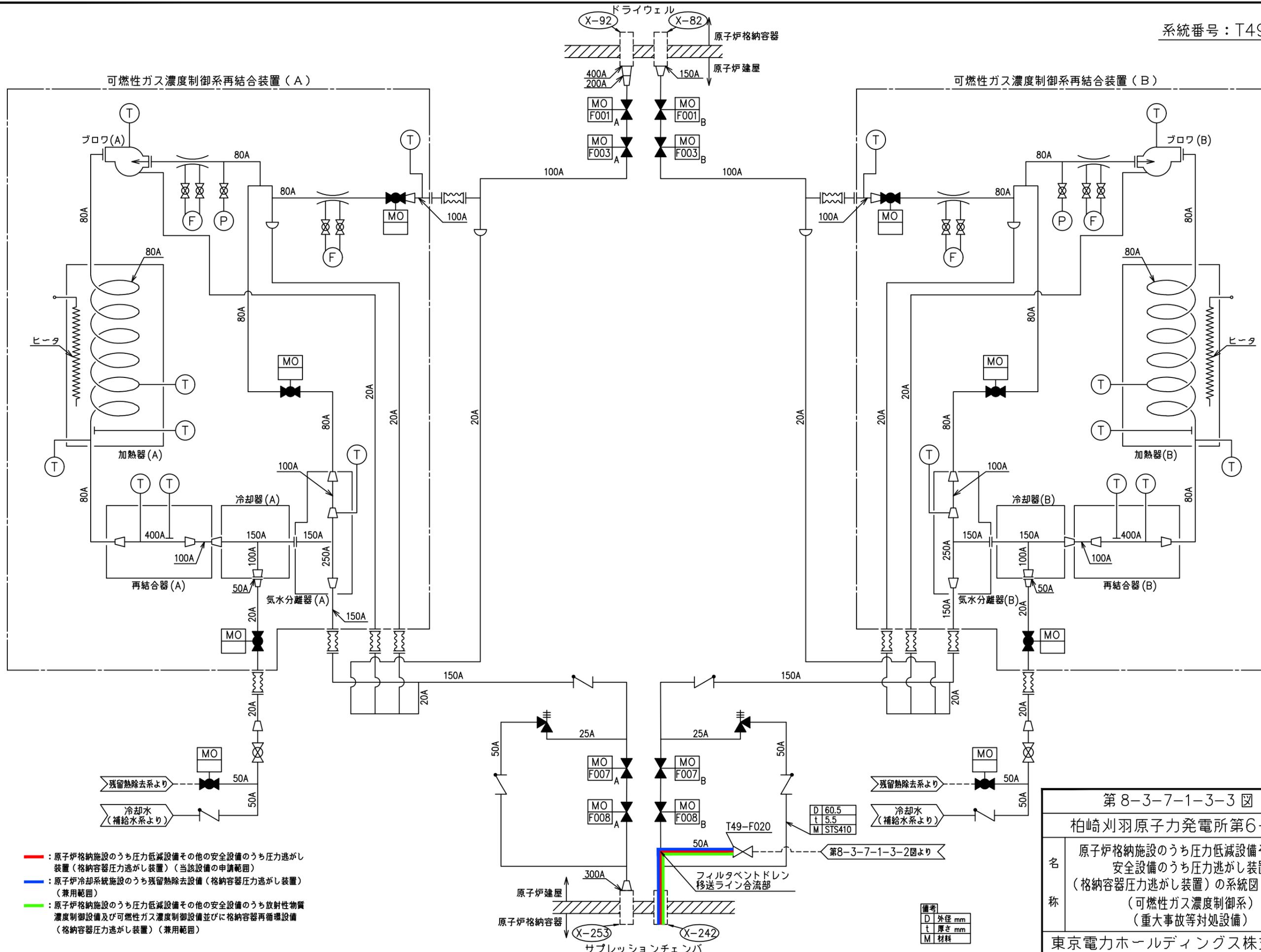
□ : SA主要弁



- : SA主要弁
- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち圧力逃がし装置
(格納容器圧力逃がし装置)
(当該設備の申請範囲)
- : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備
(耐圧強化ベント系) (兼用範囲)
- : 原子炉格納施設のうち残留熱除去設備
(格納容器圧力逃がし装置) (兼用範囲)
- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び
可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
(耐圧強化ベント系) (兼用範囲)
- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び
可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
(格納容器圧力逃がし装置) (兼用範囲)

第8-3-7-1-3-2 図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置)の系統図 (その2) (重大事故等対処設備)
東京電力ホールディングス株式会社	

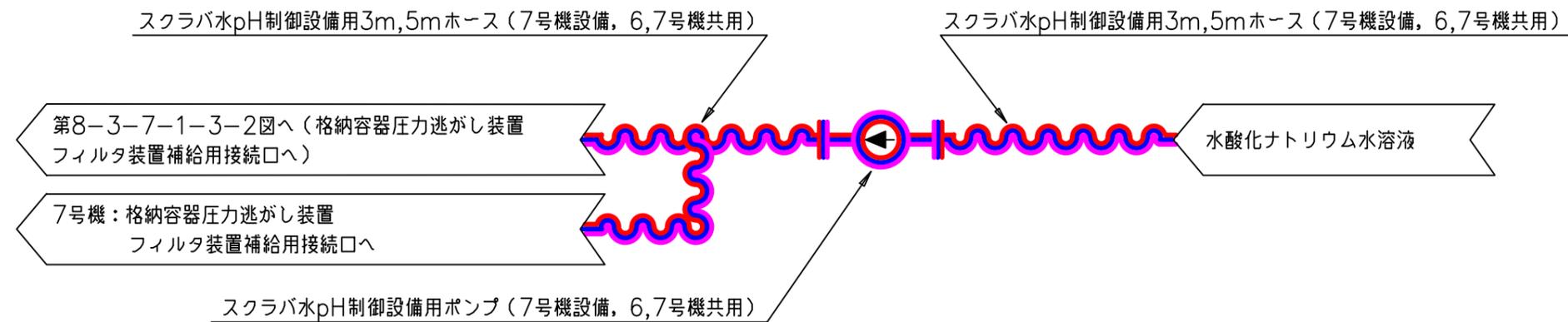
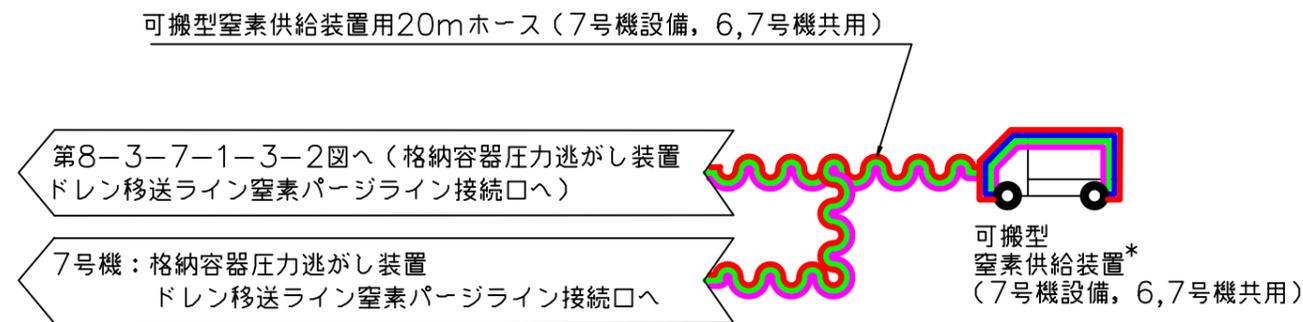
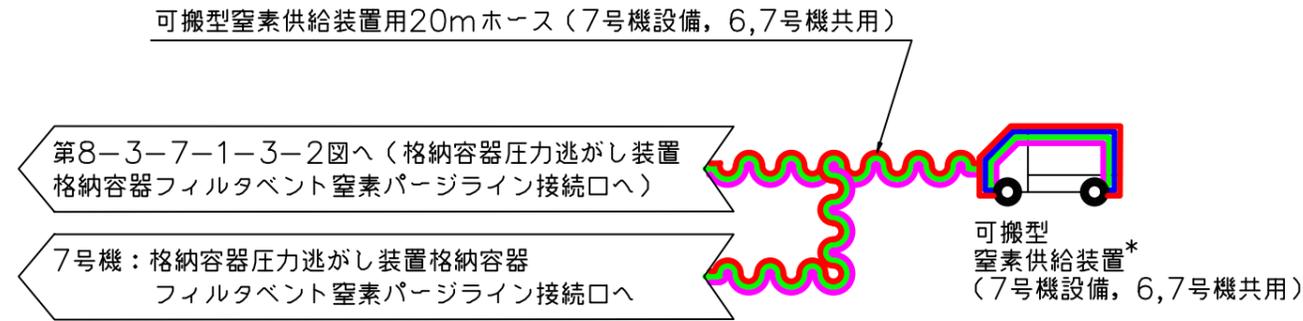
備考	
D	外径 mm
t	厚さ mm
M	材料



- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）（当該設備の申請範囲）
- : 原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）
- : 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）

備考	
D	外径 mm
t	厚さ mm
M	材料

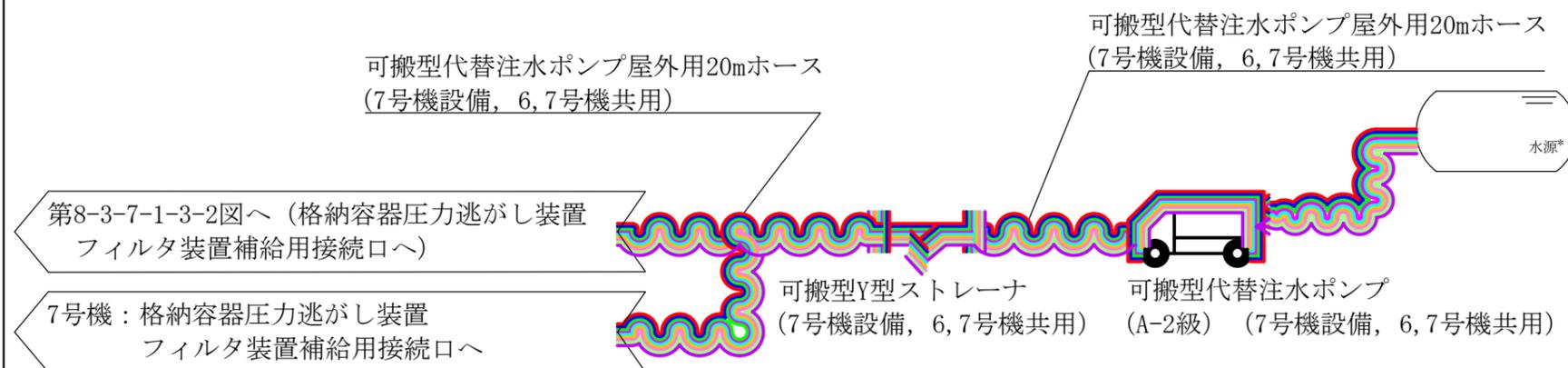
第 8-3-7-1-3-3 図
 柏崎刈羽原子力発電所第6号機
 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の系統図（その3）
 （可燃性ガス濃度制御系）
 （重大事故等対処設備）
 東京電力ホールディングス株式会社



- ：原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち圧力逃がし装置
（格納容器圧力逃がし装置）
（当該設備の申請範囲）
- ：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備
（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）
- ：原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び
可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
（耐圧強化ベント系）（兼用範囲）
- ：原子炉格納施設のうち圧力低減設備
その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び
可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備
（格納容器圧力逃がし装置）（兼用範囲）

第8-3-7-1-3-4 図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 （格納容器圧力逃がし装置）の系統図 （その4）（重大事故等対処設備）
東京電力ホールディングス株式会社	

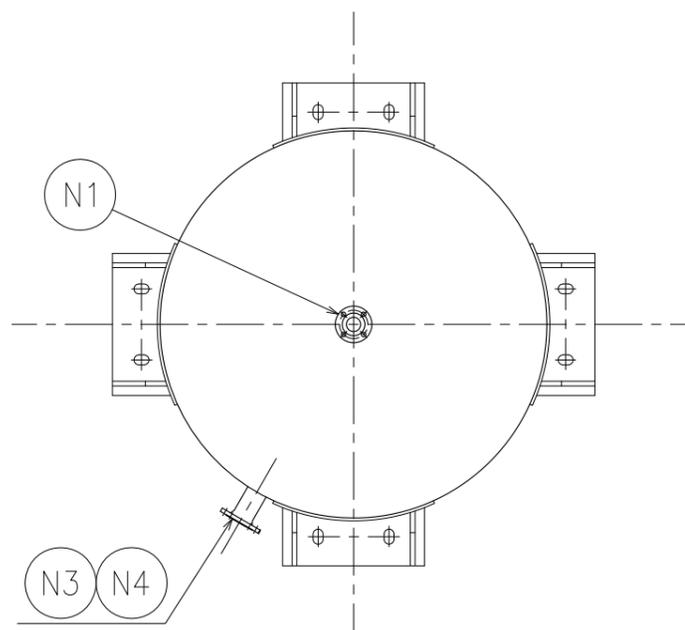
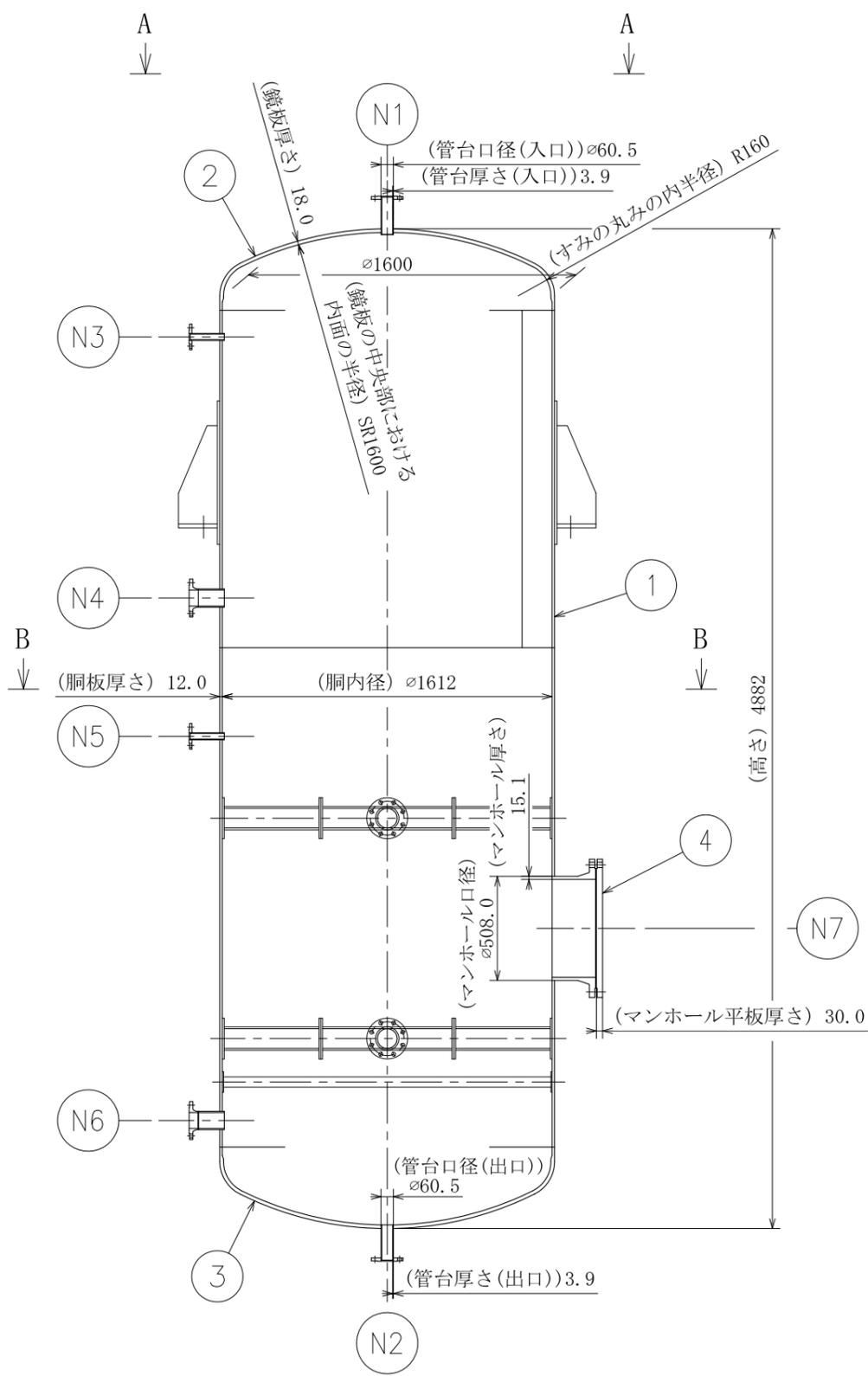
注記*：可搬型窒素供給装置（7号機設備，6,7号機共用） について、同一の機器を示す。



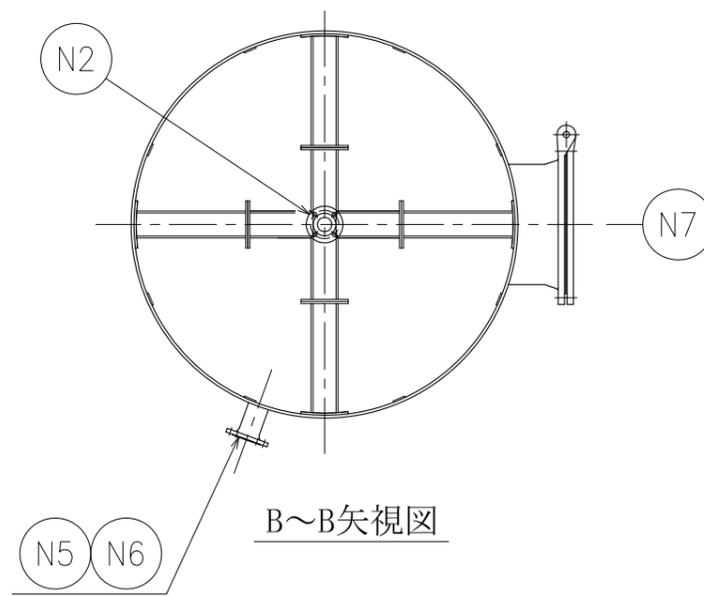
- ~~~~~：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置) (当該設備の申請範囲)
- ~~~~~：核燃料物質の取扱施設及び貯蔵施設のうち使用済燃料貯蔵槽冷却浄化設備 (燃料プール代替注水系) (兼用範囲)
- ~~~~~：原子炉冷却系統施設のうち残留熱除去設備 (格納容器圧力逃がし装置) (兼用範囲)
- ~~~~~：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (低圧代替注水系) (兼用範囲)
- ~~~~~：原子炉冷却系統施設のうち非常用炉心冷却設備その他原子炉注水設備 (水の供給設備) (兼用範囲)
- ~~~~~：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備 (格納容器下部注水系) (兼用範囲)
- ~~~~~：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備 (代替格納容器スプレイ冷却系) (兼用範囲)
- ~~~~~：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち原子炉格納容器安全設備 (低圧代替注水系) (兼用範囲)
- ~~~~~：原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち放射性物質濃度制御設備及び可燃性ガス濃度制御設備並びに格納容器再循環設備 (格納容器圧力逃がし装置) (兼用範囲)

注記*：防火水槽又は淡水貯水池を示す。

第8-3-7-1-3-5図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置) の系統図 (その
称	5) (代替給水設備) (重大事故等対処設備)
東京電力ホールディングス株式会社	



A~A矢視図



B~B矢視図

符号	名称	個数	呼び径
N7	マンホール	1	500A
N6	水位計ノズル (LL)	1	80A
N5	水位計ノズル (L)	1	25A
N4	水位計ノズル (H)	1	80A
N3	水位計ノズル (HH)	1	25A
N2	容器出口ノズル	1	50A
N1	容器入口ノズル	1	50A

管台一覧表

番号	品名	個数	材料
4	マンホール平板	1	SUSF316L
3	下部鏡板	1	SUS316L
2	上部鏡板	1	SUS316L
1	胴板	1	SUS316L

部品表

番号	名称	備考
1	ドレンタンク	

ドレンタンク一覧表

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。
 注3：断面図示では管台の構造を模式的に示している。

第8-3-7-1-4-1図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の構造図
称	ドレンタンク
東京電力ホールディングス株式会社	

第 8-3-7-1-4-1 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置
(格納容器圧力逃がし装置) の構造図 ドレンタンク 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

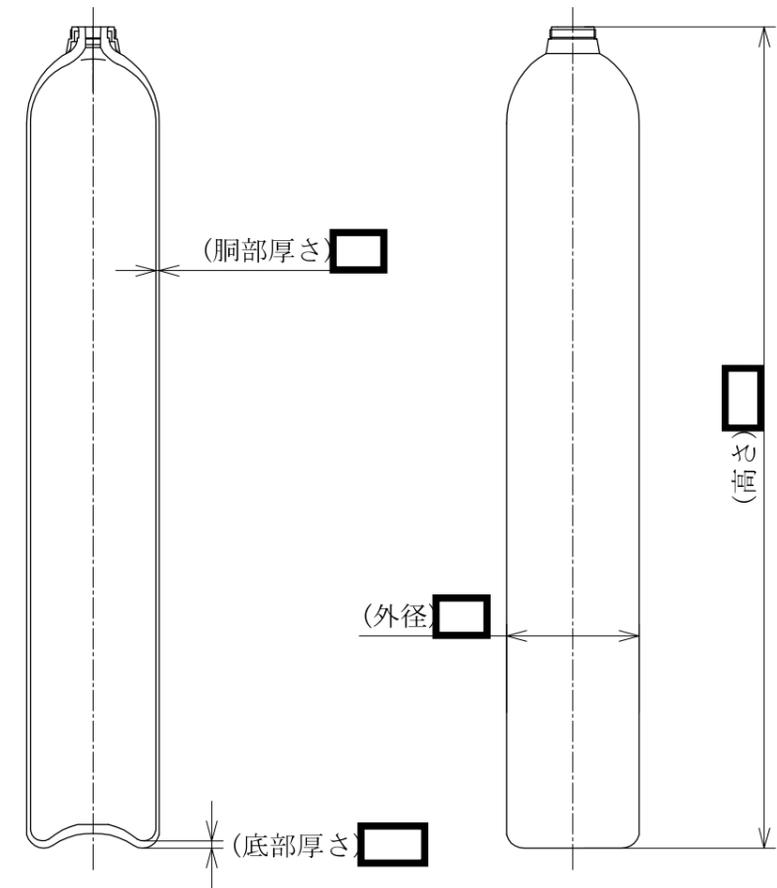
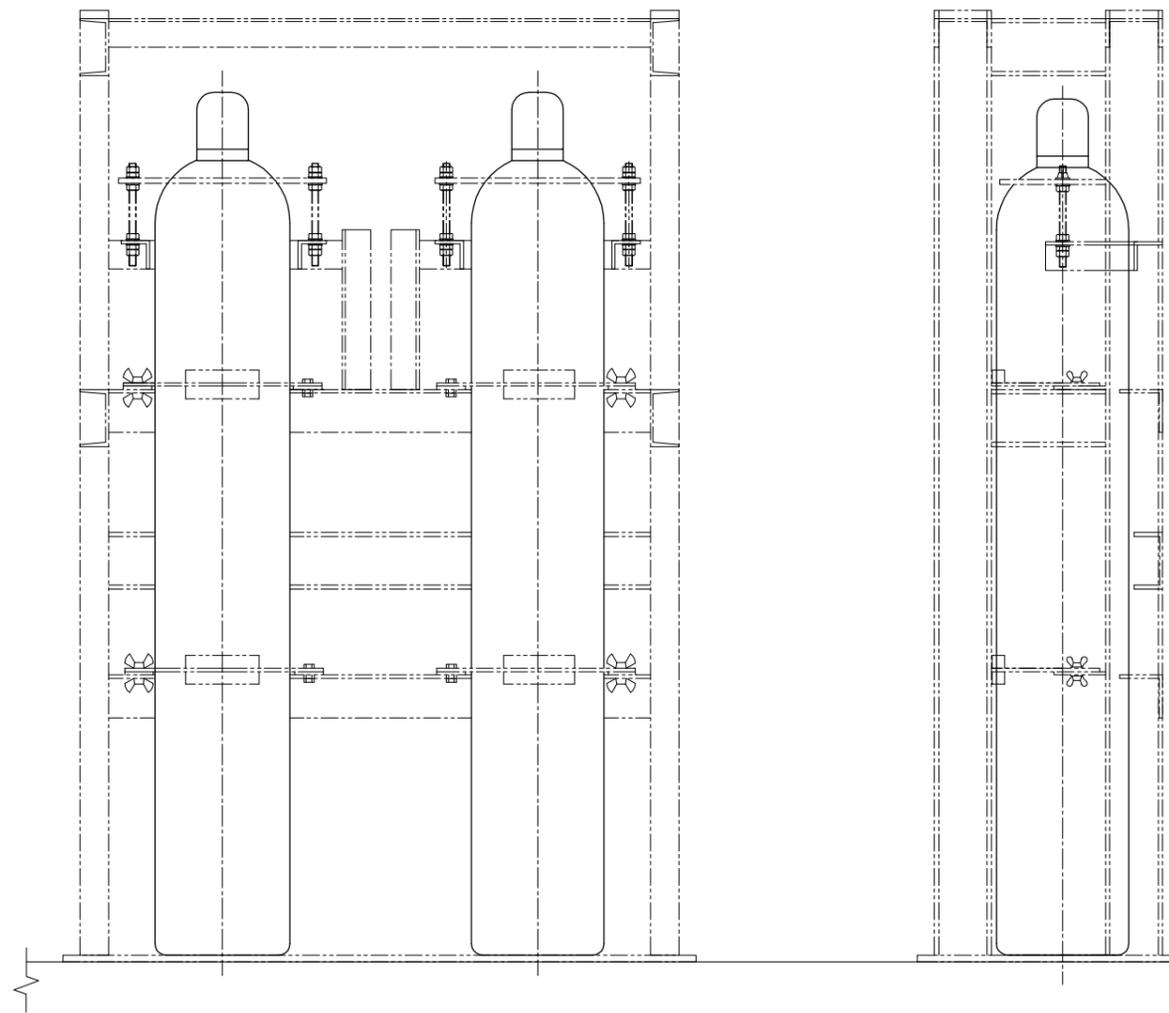
[ドレンタンク]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
胴内径	1612	(<input type="text"/> mm) <input type="text"/> mm	設計・建設規格 P V C - 4 1 1 0 より, 同一断面における最大内径と最小内径の差は 1% 以下。 製造能力, 製造実績を考慮したメーカ基準
胴板厚さ	12.0	±1.2mm	J I S G 4 3 0 4 による材料公差
鏡板厚さ	18.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカ基準
鏡板の形状に係る寸法 鏡板の中央部における 内面の半径	1600	+20mm -10mm	J I S B 8 2 4 7 による製造公差
鏡板の形状に係る寸法 すみの丸みの内半径	160	+20mm 0mm	同上
管台口径 (入口)	60.5	±0.6mm	J I S G 3 4 5 9 による材料公差
管台厚さ (入口)	3.9	±0.5mm	同上
管台口径 (出口)	60.5	±0.6mm	同上
管台厚さ (出口)	3.9	±0.5mm	同上
マンホール口径	508.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカ基準
マンホール厚さ	15.1	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上
マンホール平板厚さ	30.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上
高さ	4882	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

注 1 : 主要寸法は, 工事計画記載の公称値

注 2 : () 付公差は最大と最小の差

4	ポンペ	T31-F022用
3	ポンペ	T31-F019用
2	ポンペ	T61-F002用
1	ポンペ	T61-F001用
番号	名称	備考
ポンペ一覧表		



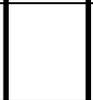
- 注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。
 注3：遠隔空気駆動弁操作ポンペは1（予備1）個をポンペラック1台に保管する。

第8-3-7-1-4-2図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の構造図 遠隔空気駆動弁操作ポンペ
東京電力ホールディングス株式会社	
RCS	1820

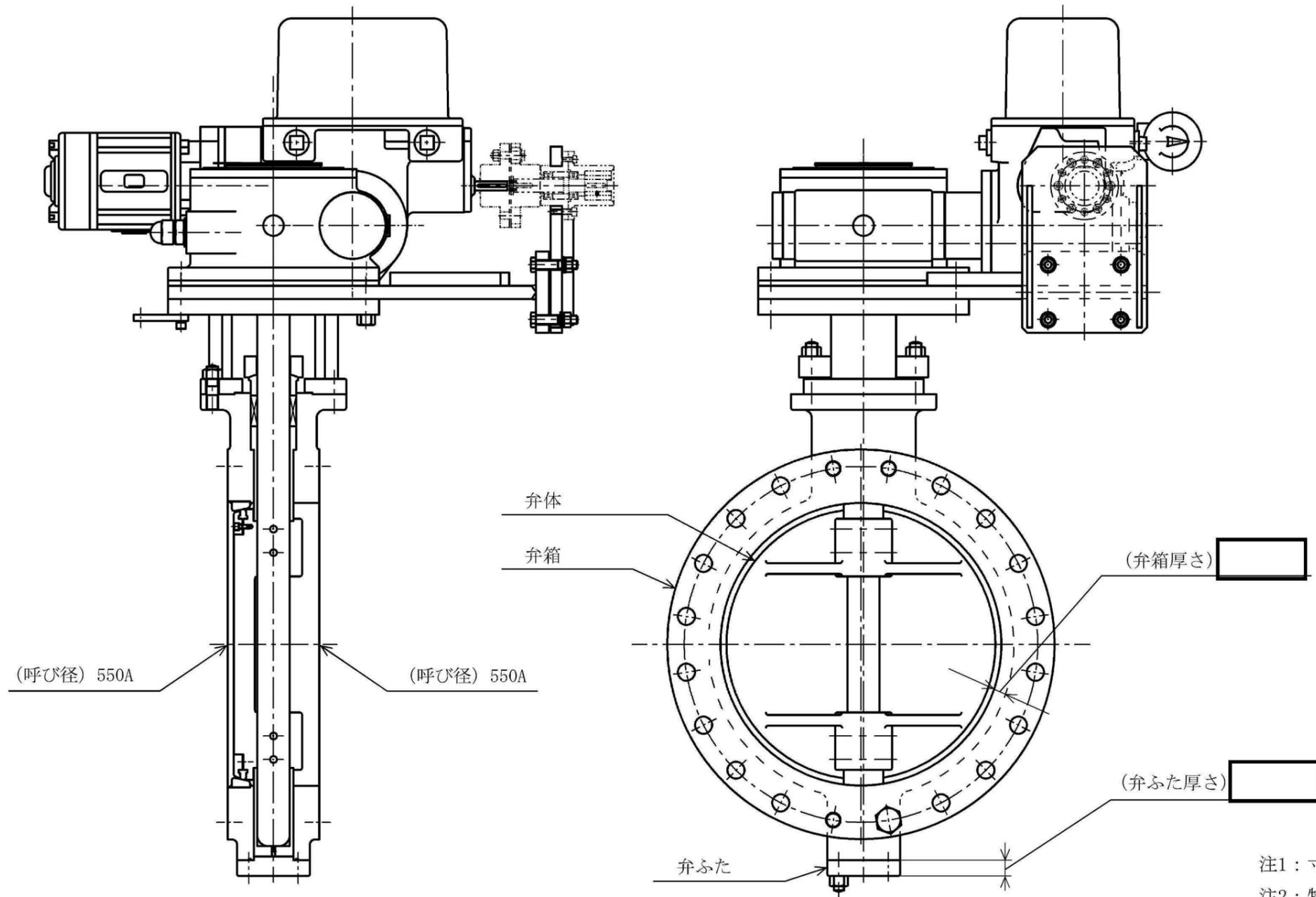
第 8-3-7-1-4-2 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置
 (格納容器圧力逃がし装置) の構造図 遠隔空気駆動弁操作ポンベ 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[遠隔空気駆動弁操作ポンベ]

主要寸法 (mm)	許容範囲	根拠
外径	 mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	 mm	同上
胴部厚さ	 mm	同上
底部厚さ	 mm	同上

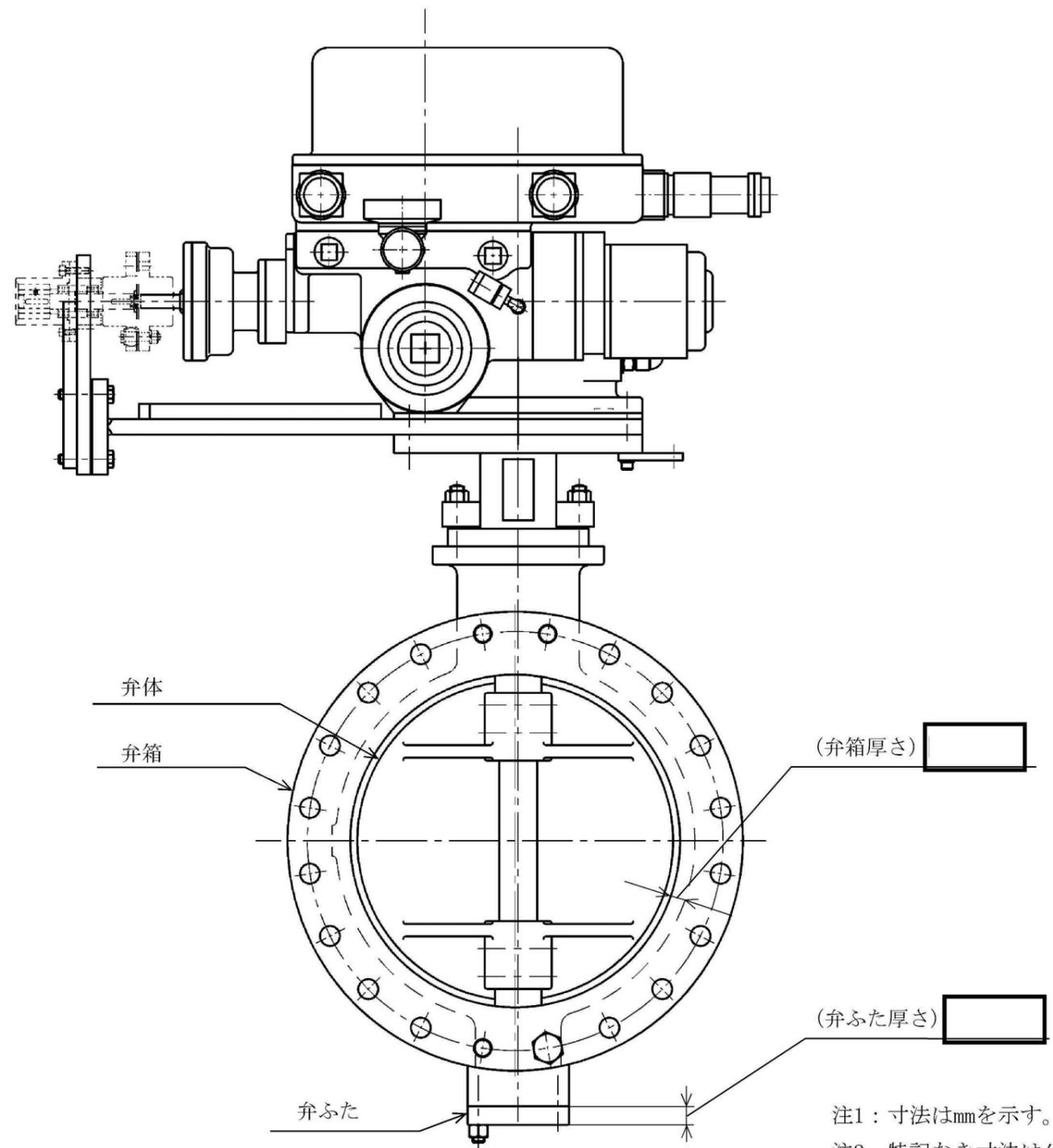
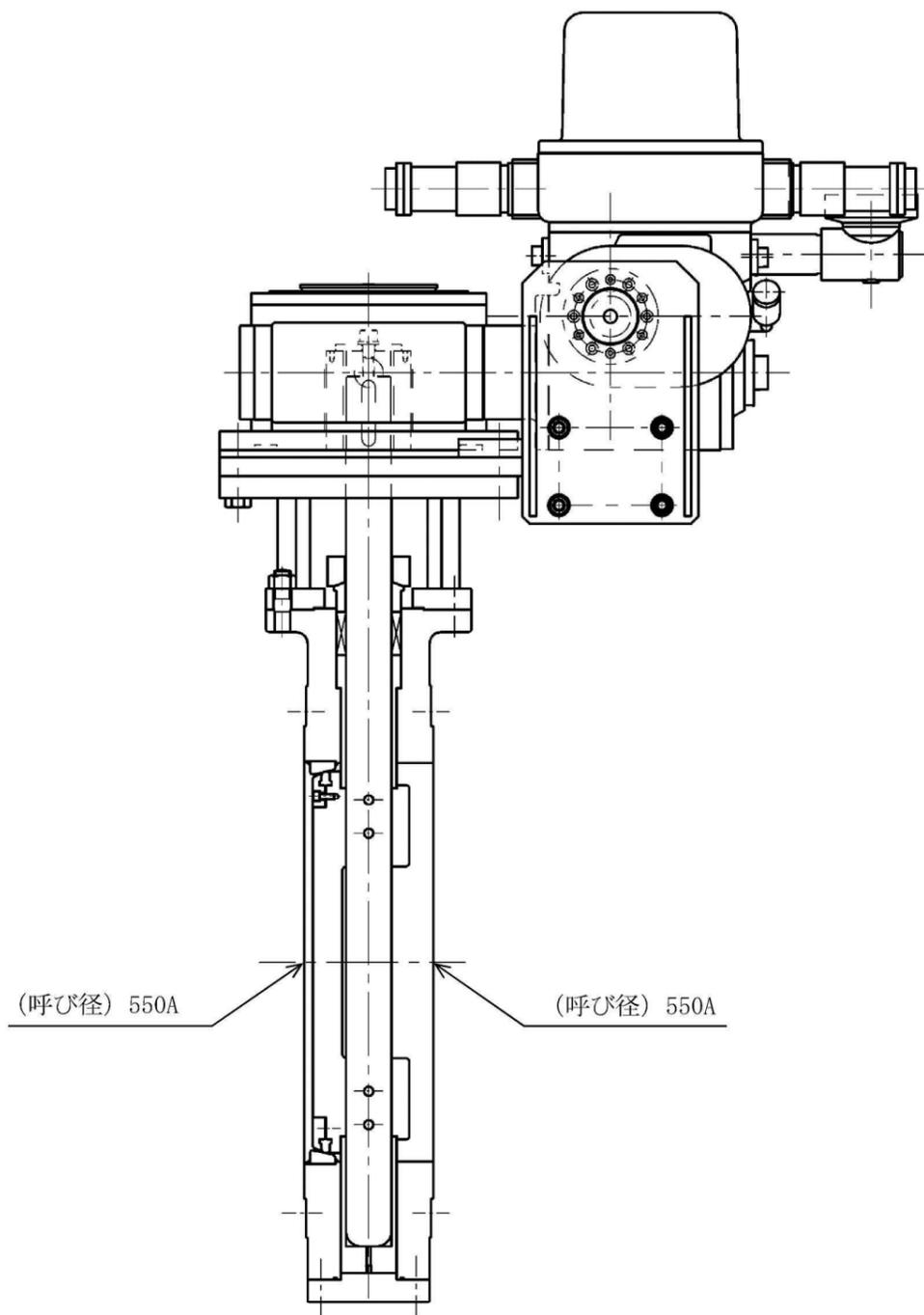
注: 主要寸法は, 工事計画記載の公称値



注1：寸法はmmを示す。

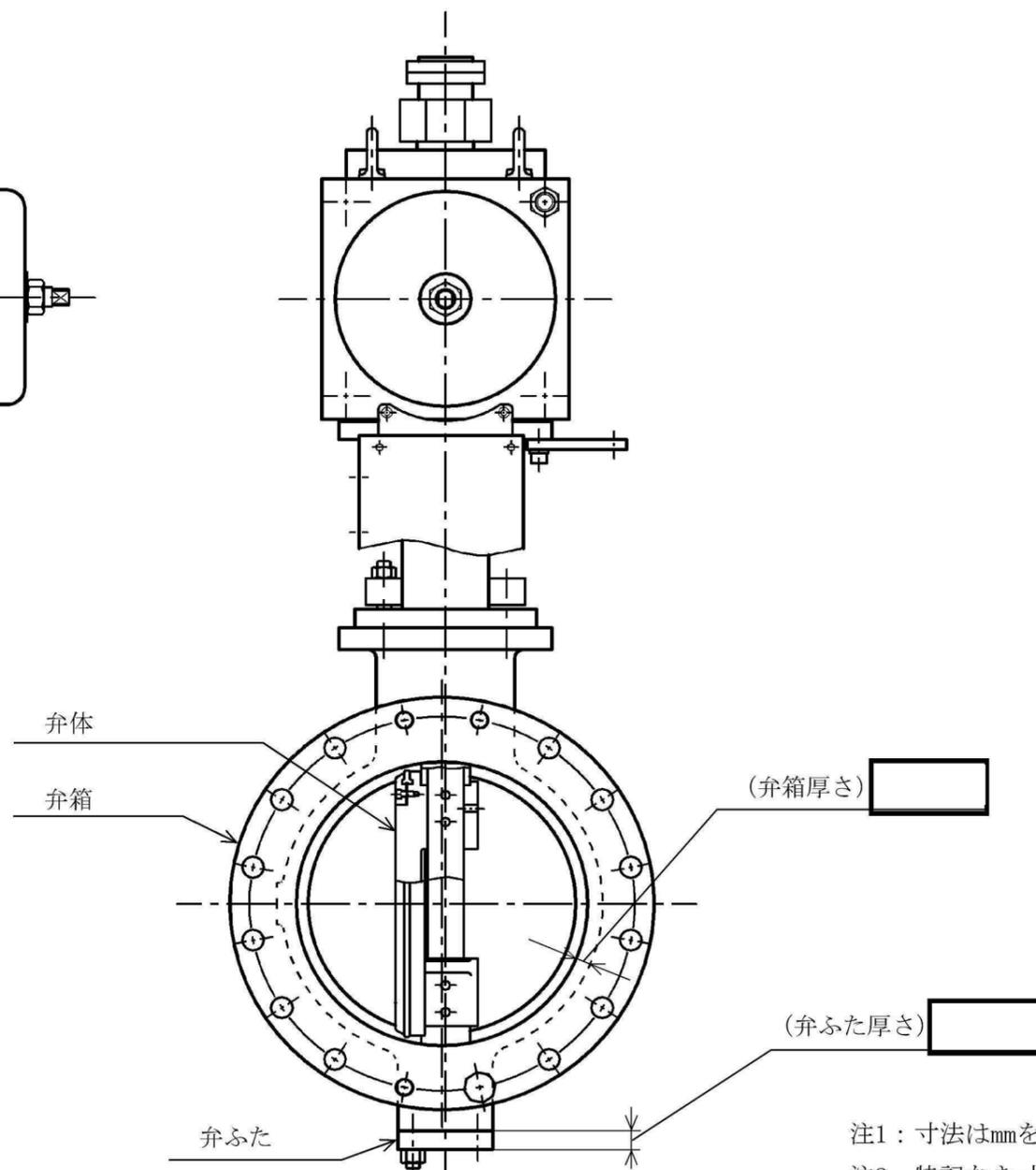
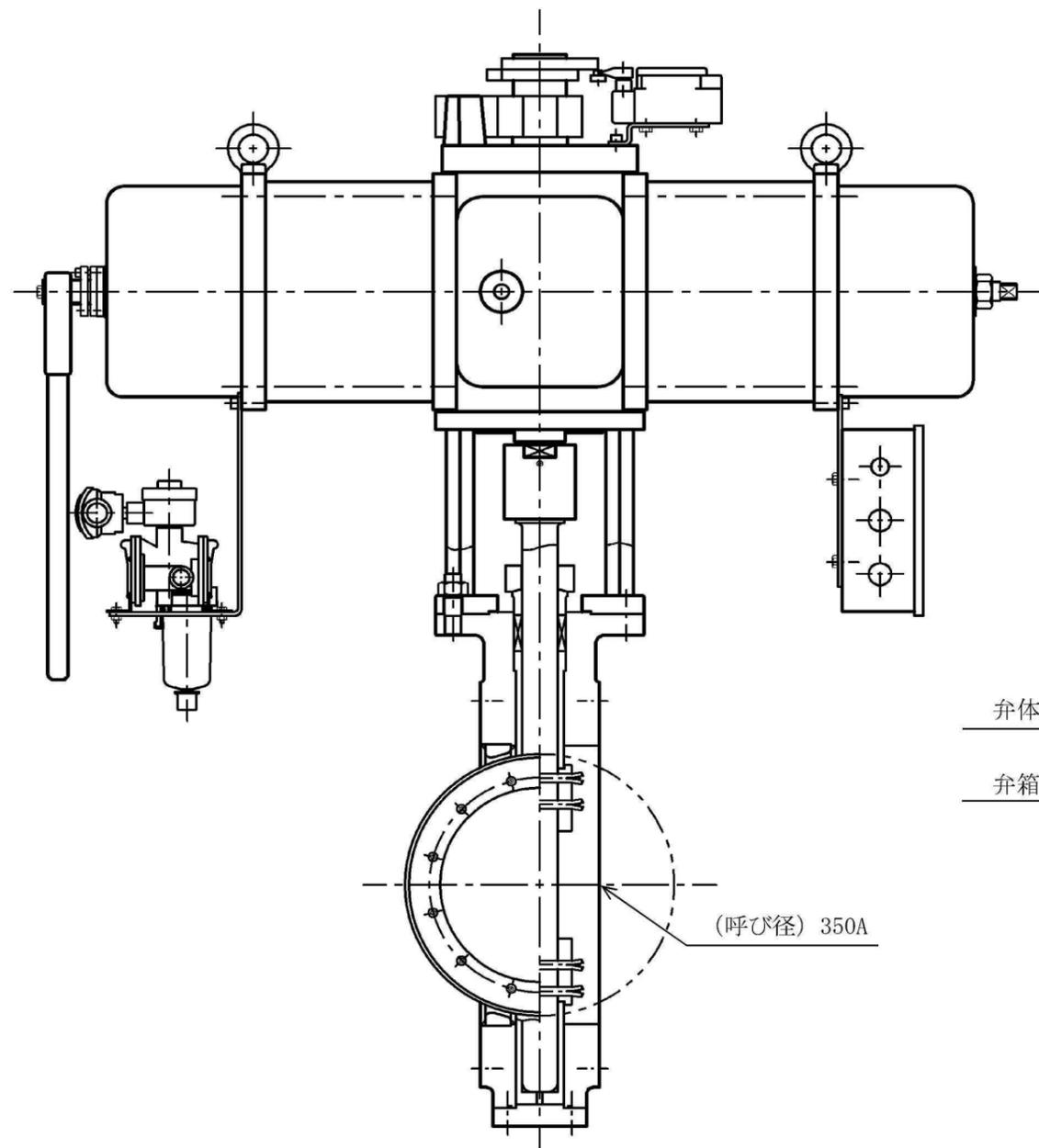
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

第8-3-7-1-4-3図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置)の構造図 T31-F070
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	1705



注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。

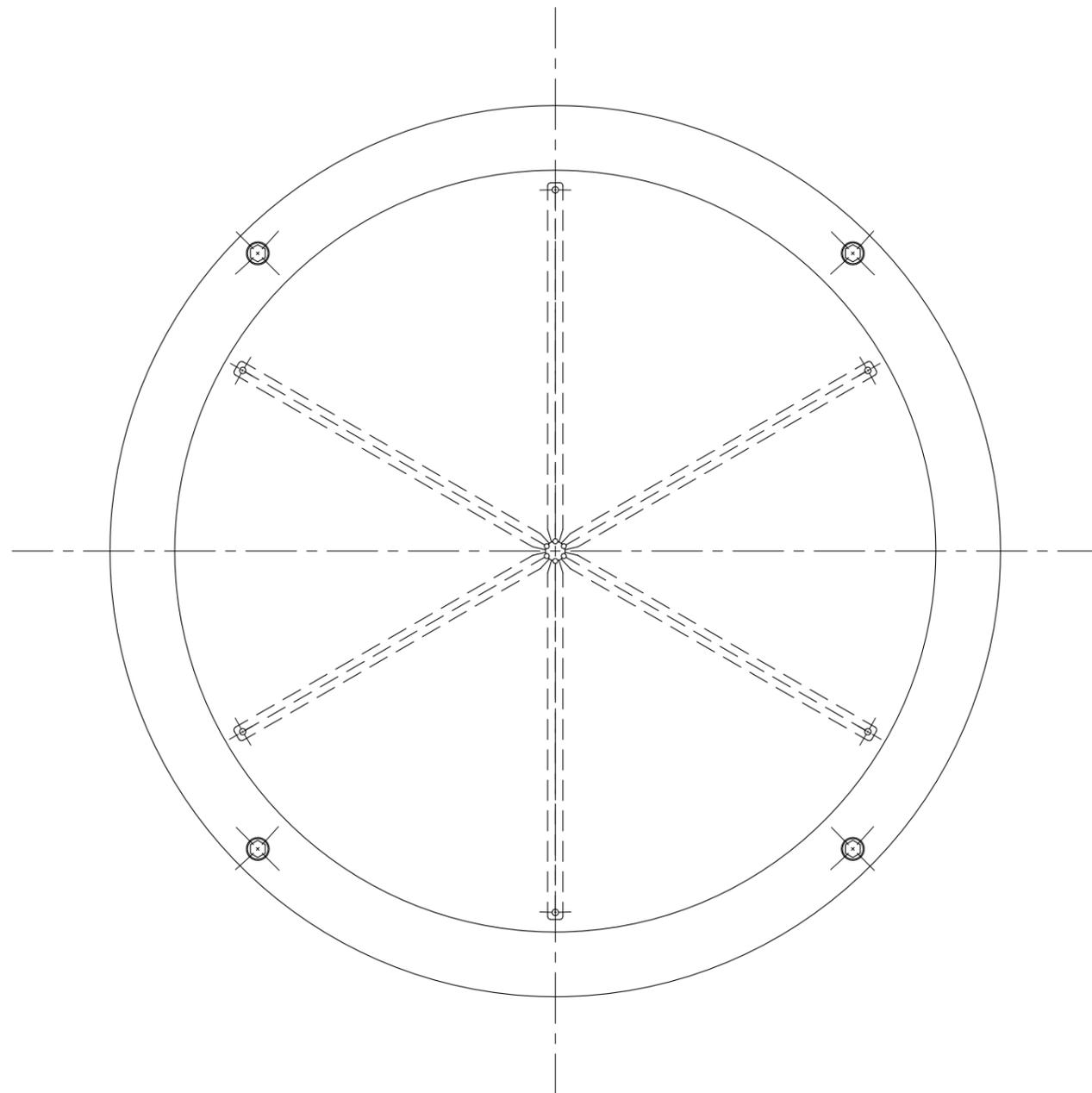
第8-3-7-1-4-4図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置)の構造図 T31-F072
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	1705



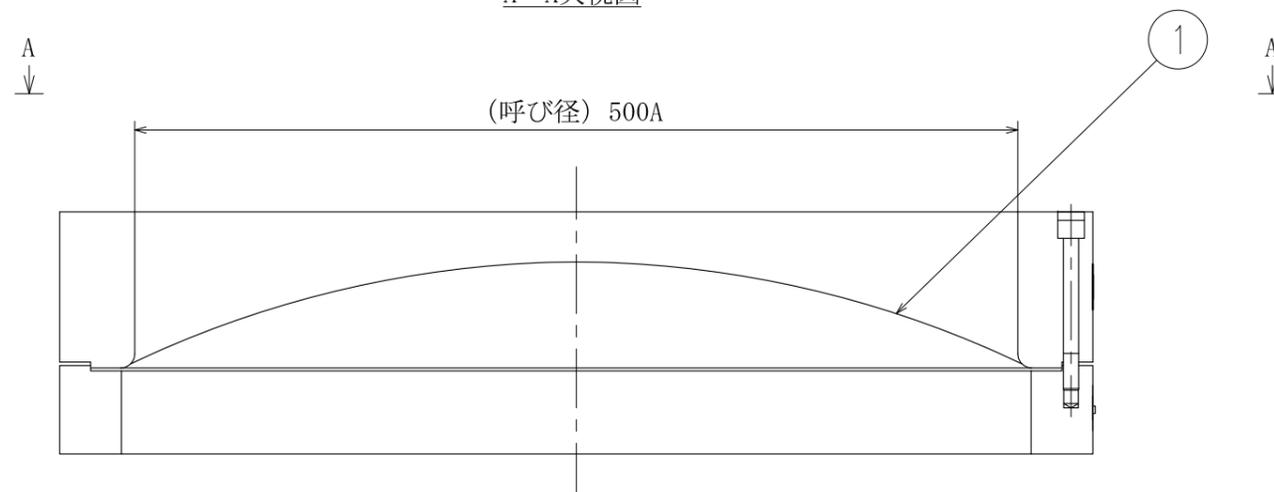
注1：寸法はmmを示す。

注2：特記なき寸法は公称値を示す。

第8-3-7-1-4-5図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備 その他の安全設備のうち圧力逃がし装置 (格納容器圧力逃がし装置)の構造図 T61-F001
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	1705



A~A矢视图



1	スリットディスク	1	SUS316L
番号	品名	個数	材料
部品表			

2	ラプチャーディスク(よう素フィルタ出口側)	
1	ラプチャーディスク(フィルタ装置出口側)	
番号	名称	備考
ラプチャーディスク一覧表		

注1：寸法はmmを示す。
注2：特記なき寸法は公称値を示す。

第8-3-7-1-4-6図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置(格納容器圧力逃がし装置)の構造図 ラプチャーディスク
称	
東京電力ホールディングス株式会社	
FCVS	1527

第 8-3-7-1-4-6 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置
 (格納容器圧力逃がし装置) の構造図 ラプチャーディスク 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[ラプチャーディスク (フィルタ装置出口側)]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
呼び径	500A	<input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

[ラプチャーディスク (よう素フィルタ出口側)]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
呼び径	500A	<input type="text"/> mm	製造能力, 製造実績を考慮したメーカー基準

注: 主要寸法は, 工事計画記載の公称値

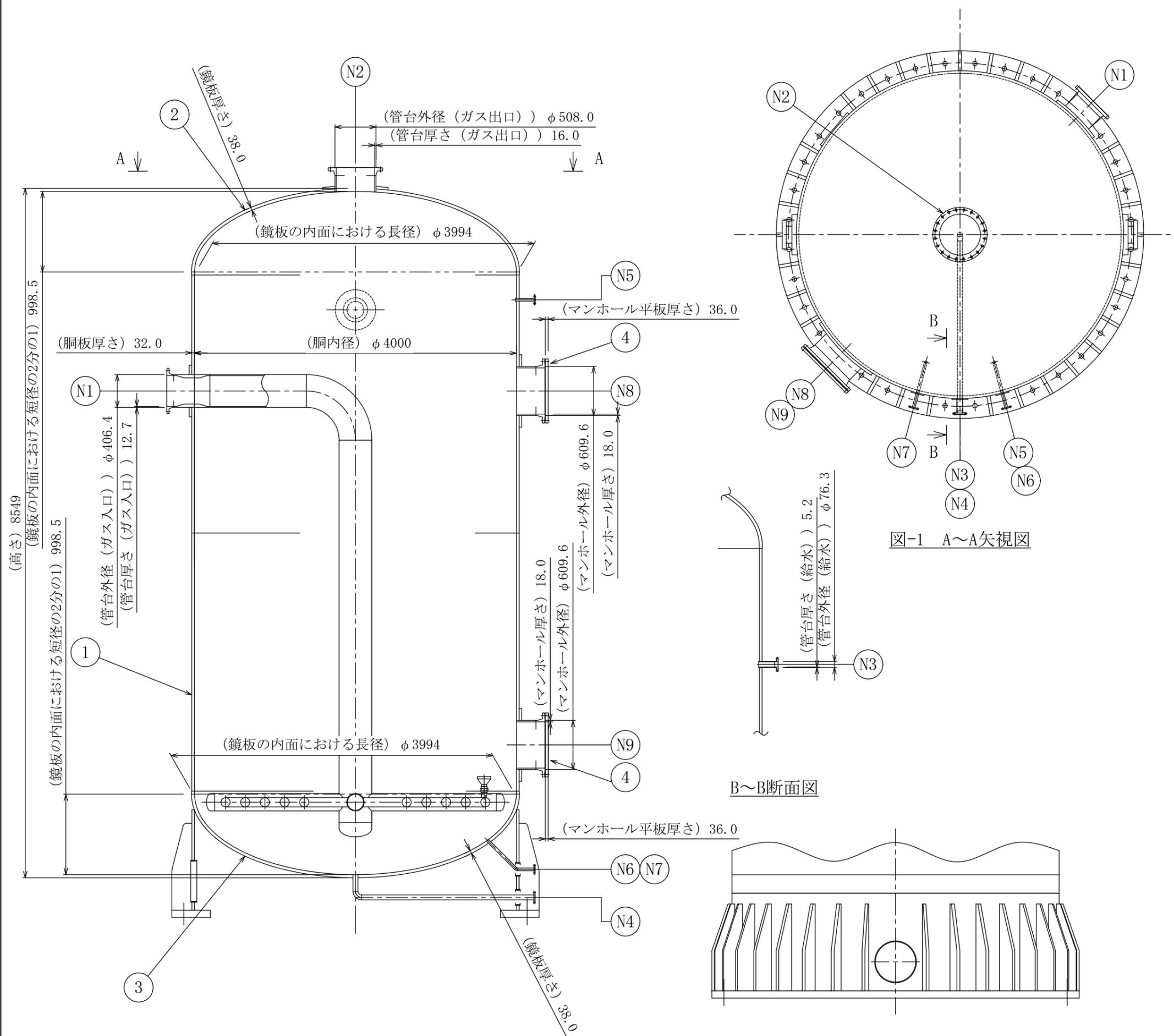


図-1 A~A矢視図

B~B断面図

スカート部詳細

N9	マンホール	1	600A
N8	マンホール	1	600A
N7	液面計	1	25A
N6	液面計	1	25A
N5	液面計	1	25A
N4	ドレン	1	50A
N3	給水	1	65A
N2	ガス出口	1	500A
N1	ガス入口	1	400A
符号	名 称	個数	呼び径
管 台 一 覧 表			

4	マンホール平板	2	SUS316L
3	下部鏡板	1	SUS316L
2	上部鏡板	1	SUS316L
1	胴 板	1	SUS316L
番号	品 名	個数	材 料
部 品 表			

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。
 注3：断面図示では管台の構造を模式的に示している。

第8-3-7-1-4-7図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名 称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の構造図 フィルタ装置
東京電力ホールディングス株式会社	

第 8-3-7-1-4-7 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置
(格納容器圧力逃がし装置) の構造図 フィルタ装置 別紙

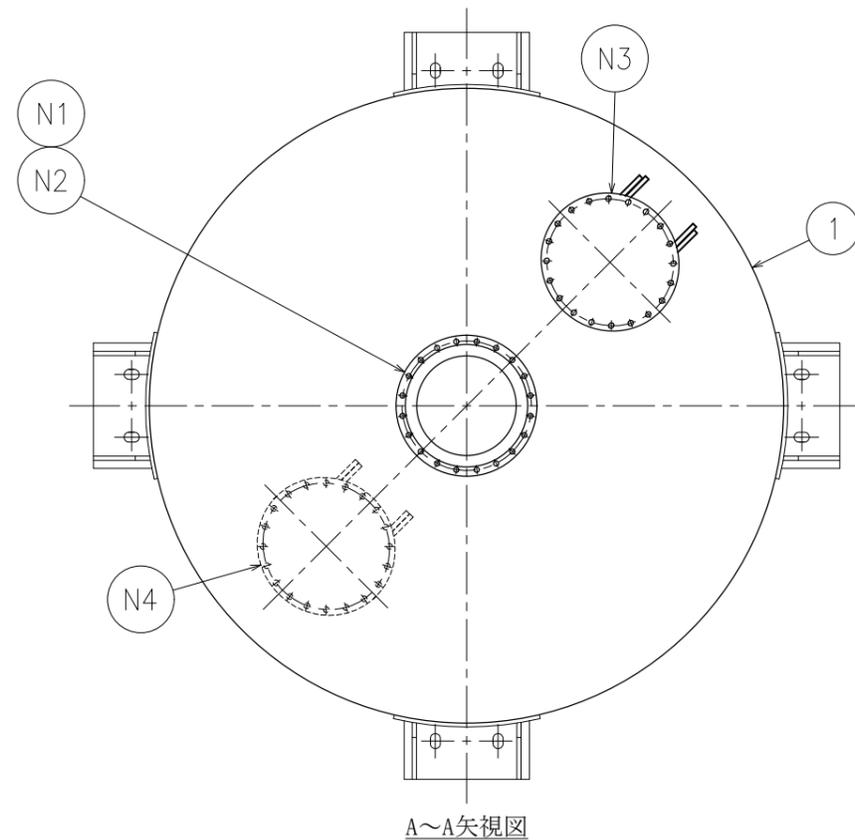
工事計画記載の公称値の許容範囲

[フィルタ装置]

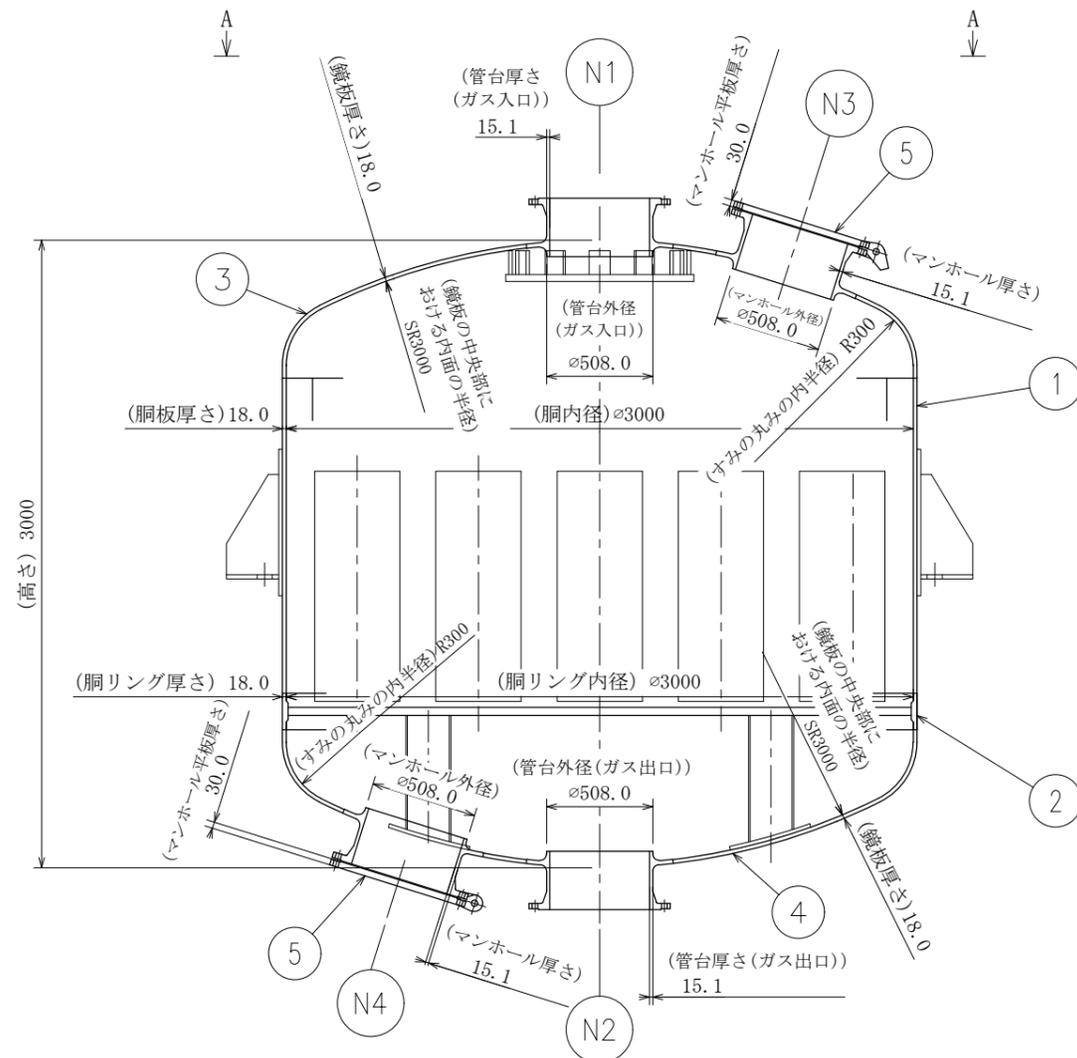
主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
胴内径	4000	(<input type="text"/> mm) <input type="text"/> mm	設計・建設規格PVC-4110より、同一断面における最大内径と最小内径の差は1%以下。 製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
胴板厚さ	32.0	±1.6mm	J I S G 4304による材料公差
鏡板厚さ	38.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
鏡板の形状に係る寸法 鏡板の内面における長径	3994	+6.0mm -4.0 mm	J I S B 8247による製造公差
鏡板の形状に係る寸法 鏡板の内面における短径 の2分の1	998.5	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
管台外径 (ガス入口)	406.4	<input type="text"/> mm	同上
管台厚さ (ガス入口)	12.7	<input type="text"/> mm	同上
管台外径 (ガス出口)	508.0	<input type="text"/> mm	同上
管台厚さ (ガス出口)	16.0	±1.3mm	J I S G 4304による材料公差
管台外径 (給水)	76.3	±0.7mm	J I S G 3459による材料公差
管台厚さ (給水)	5.2	±0.65mm	同上
マンホール外径	609.6	<input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
マンホール厚さ	18.0	±1.5mm	J I S G 4304による材料公差
マンホール平板厚さ	36.0	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準
高さ	8549	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	同上

注1：主要寸法は，工事計画記載の公称値

注2：()付公差は最大と最小の差



A~A矢視図



符号	名称	個数	呼び径
N4	下部マンホール	1	500A
N3	上部マンホール	1	500A
N2	容器出口ノズル	1	500A
N1	容器入口ノズル	1	500A

管台一覧表

番号	品名	個数	材料
5	マンホール平板	2	SUSF316L
4	下部鏡板	1	SUS316L
3	上部鏡板	1	SUS316L
2	胴リング	1	SUSF316L
1	胴板	1	SUS316L

部品表

注1：寸法はmmを示す。
 注2：特記なき寸法は公称値を示す。
 注3：断面図示では管台の構造を模式的に示している。

第8-3-7-1-4-8図	
柏崎刈羽原子力発電所第6号機	
名称	原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置（格納容器圧力逃がし装置）の構造図 よう素フィルタ
東京電力ホールディングス株式会社	

第 8-3-7-1-4-8 図 原子炉格納施設のうち圧力低減設備その他の安全設備のうち圧力逃がし装置
(格納容器圧力逃がし装置) の構造図 よう素フィルタ 別紙

工事計画記載の公称値の許容範囲

[よう素フィルタ]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根拠
胴内径	3000	() mm () mm	設計・建設規格PVC-4110より、同一断面における最大内径と最小内径の差は1%以下。 製造能力、製造実績を考慮したメーカー基準
胴板厚さ	18.0	±0.8mm	JIS G 4304による材料公差
胴リング内径	3000	() mm () mm	設計・建設規格PVC-4110より、同一断面における最大内径と最小内径の差は1%以下。 製造能力、製造実績を考慮したメーカー基準
胴リング厚さ	18.0	() mm	製造能力、製造実績を考慮したメーカー基準
鏡板厚さ	18.0	() mm	同上
鏡板の形状に係る寸法 鏡板の中央部における 内面の半径	3000	+37mm -18mm	JIS B 8247による製造公差
鏡板の形状に係る寸法 すみの丸みの内半径	300	+37mm 0mm	同上
管台外径 (ガス入口)	508.0	() mm () mm	製造能力、製造実績を考慮したメーカー基準
管台厚さ (ガス入口)	15.1	() mm () mm	同上
管台外径 (ガス出口)	508.0	() mm () mm	同上
管台厚さ (ガス出口)	15.1	() mm () mm	同上
マンホール外径	508.0	() mm () mm	同上
マンホール厚さ	15.1	() mm () mm	同上
マンホール平板厚さ	30.0	() mm () mm	同上

工事計画記載の公称値の許容範囲（続き）

[よう素フィルタ（続き）]

主要寸法 (mm)		許容範囲	根 拠
高さ	3000	<input type="text"/> mm <input type="text"/> mm	製造能力，製造実績を考慮したメーカー基準

注1：主要寸法は，工事計画記載の公称値

注2：（ ）付公差は最大と最小の差